

平成29年度
木城町男女共同参画基本計画策定のための
町民意識調査
結果報告書

平成29年8月

目次

○目的・調査方法等	1
○調査結果のまとめ	2
○ご自身について教えてください。	13
・性別、年代	13
・職業	14
・住んでいる地区	16
○調査の結果	17
1. 男女平等意識について	17
問1. 次の分野で、男女の地位は平等であると思いますか。	19
問2. 今後、男女があらゆる分野でもっと平等になるために、最も重要だと思うこと。	27
問3. 「男は仕事、女は家庭」という考え方について、あなたはどのように思いますか。	29
2. 家庭生活について	30
問4. あなたのご家庭では、次のような家庭内の仕事を主にどなたがしていますか。	33
問5. 家庭生活での夫婦の理想とする役割分担をどのように考えていますか。	42
問6. あなたは、子どものしつけや教育について、どのように考えていますか。	51
3. 就業について	55
問7. あなたが働いている理由を教えてください。(現在働いている人)	57
問8. 現在の仕事と家庭生活・地域活動のバランスを教えてください。(現在働いている人)	59
問9. 仕事と家庭生活・地域活動のバランスで望ましいものを教えてください。	61
問10. 男性も女性も仕事と家庭生活や地域活動を両立させるためには、必要なこと。	63
問11. 女性の就業について、あなたはどのように考えますか。	66
問12. あなたの職場では次のような分野で、性別によって差があると思いますか。	68
問13. 女性が結婚・出産後も職業を持ち、働き続けるために必要なこと。	75
問14. 男性の育児休業取得率が低い理由は何だと思えますか。	78
4. 地域活動について	80
問15. あなたは日頃から地域活動に参加(この1年間程度)していますか。	81
問16. 地域社会の慣習等について、あなたの地域では次のようなことはありますか。	83

5. 政策決定への参画 ～女性の参画が少ない理由～(問17)	87
問17. 政策の企画や方針決定の過程に女性が少ない理由は何だと思えますか。	87
6. 男女共同参画社会を形成するために必要な施策(問18)	90
問18. 「男女共同参画社会」を形成するために、町(役場)が力を入れるべき施策。	90
7. 男女共同参画に関する言葉の認知状況(問19)	93
問19. 男女共同参画に関する言葉で、あなたが見たり、聞いたりしたことがある言葉。	93
8. DV防止・人権への配慮について	96
問20. あなたの夫や妻、または恋人が、次のようなことをした場合、それを暴力だと思えますか。 .	98
問21. あなたは、あなたの夫や妻、または恋人から暴力を受けた経験はありますか。	107
問22. 受けた暴力の内容を教えてください。	108
問23. 夫や妻、または恋人から暴力を受けた際、誰かに打ちあげたり、相談しましたか。	111
問24. どこ(誰)にも相談しなかった理由を教えてください。	114
問25. あなたは、あなたの夫や妻、または恋人に暴力をふるったことがありますか。	116
問26. ふるった暴力の内容を教えてください。	117
問27. メディアにおける性・暴力表現について、どのように考えていますか。	119
問28. 女性が生涯にわたり健康であるために、特にどのようなことが大事だと思えますか。	121
問29. 性別により権利を侵害する言葉で、あなたが見たり、聞いたりしたことがある言葉。	123

○目的・調査方法等

1. 調査の目的

木城町男女共同参画基本計画」策定に向けての基礎資料とするため、町民意識調査を実施。

2. 調査対象

木城町内在住の18歳以上1,000人(男女各500人)

3. 調査期間

平成29年6月22日～平成29年7月10日

4. 調査方法

郵送法

5. 回収率

31.4%(314人/1,000人)

6. 回答者の属性

・性別

	男性	女性	無回答	合計
回答者数	106	177	31	314
(構成比)	(33.8%)	(56.4%)	(9.9%)	(100.0%)

・年齢

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答	合計
回答者数	1	25	50	44	34	76	75	9	314
(構成比)	(0.3%)	(8.0%)	(15.9%)	(14.0%)	(10.8%)	(24.3%)	(23.9%)	(2.8%)	(100.0%)

○調査結果のまとめ

1. 男女平等意識について

(1)分野別(問1)

ア. 家庭生活(P19)

男性優遇と思っている人(「男性の方が非常に優遇」と「どちらかといえば男性が優遇」の計…以下同じ)が半数(45.9%)に近い。その中で60歳代以上の女性の58.3%が男性優遇と思っている。

イ. 職場(P20)

男性優遇と思っている人は4割(41.7%)である。その中で、30歳代以下の女性の47.7%が男性優遇と思っている。

ウ. 学校教育(P21)

半数以上が男女平等とっており、40・50歳代の男性では75.0%となっている。

エ. 地域社会(自治公民館)(P22)

男性優遇と思っている人は36.6%で、県(37.0%)と同程度となっている。その中で40歳代以上の女性の約半数が男性優遇と思っている。

オ. 政治の場(P23)

男性優遇と思っている人が57.7%となっている。
また、男性優遇と思っている女性(68.4%)は、男性(44.4%)を24ポイント上回っている。

カ. 法律や制度の上(P24)

男性の半数(50.0%)は平等と思っているが、女性の4割(44.1%)は男性優遇と思っている。

キ. 社会通念、慣習、しきたり(P25)

男性優遇と思っている人は61.5%で県(64.3%)と同程度となっている。

ク. 社会全体(P26)

男性優遇と思っている人は56.0%となっている。男女別で見ると、男性優遇と思っている女性の割合は63.9%で、男性よりも20.5ポイント上回っている。

(2) 男女が各分野で男女平等になるための対策(問2)(P27)

・「女性を取り巻く様々な偏見や固定的な社会通念、慣習、しきたりを改める」(30.9%)が県(38.9%)と同様に第1位となっている。

これは、40・50歳代の女性で46.3%となっている。

(3)「男は仕事、女は家庭」という考え方(問3)(P29)

・「賛成」の人(「賛成」と「どちらかといえば賛成」の計…以下同じ)は、男性で23.6%、女性で20.9%となっている。

男性では、年代が上がるにつれて「賛成」の割合が高くなっている。

2. 家庭生活について

(1) 家庭内の仕事の役割分担(問4:結婚している人の回答)(P33~41)

ア. 家計を支える(P33)

主に夫の担当(「主に夫が行っている」と「主に夫が行い、妻が一部を分担している」の計…以下同じ)が 59.5%となっている。

イ. 家事をする(P34)

78.9%が妻の担当(「主に妻が行っている」と「主に妻が行い、夫が一部を分担している」の計…以下同じ)となっているが、40・50 歳代の男性の 29.4%では、同程度分担しているとなっている。

ウ. 家計の管理(P35)

すべての年代で妻が担当している割合が6割以上である。

エ. 育児・子どものしつけ(P36)

主に妻が担当している割合が高いが、若い世代ほど同程度で分担している人が多い。

オ. 学校行事への参加(P37)

主に妻が担当しているが、40・50 代女性では、女性の分担が 8 割近くとなっている。

カ. 地域行事への参加(P38)

夫と妻が同程度に分担している割合が 25.0%となっている。全体的には夫(38.3%)の分担割合が高くなっている。

キ. 親の世話・介護(P39)

60 歳以上の女性では、妻が担当している割合が半数を超えており、他の年代よりも高くなっている。

ク. 高額商品や不動産の購入(P40)

夫と妻が同程度の分担が 37.1%となっている。

ケ. 家庭の問題についての最終決定(P41)

夫が担当している割合(51.3%)が高くなっている。

(2) 夫婦の理想的な役割分担(問5)(P42~50)

ア. 家計を支える(P42)

夫の役割と思っている人が 51.0%となっている。

イ. 家事をする(P43)

夫と妻が同程度の分担が 39.2%であるが、60 歳以上の男女では6割以上が妻の分担を希望している。

ウ. 家計の管理(P44)

40・50 歳代男性、30 歳以下女性では、半数が同程度分担と思っている。

エ. 育児・子どものしつけ(P45)

全世代とも夫と妻が同程度に分担すると思っている人(59.9%)が多いが、県(64.9%)を5ポイント下回っている。

オ. 学校行事への参加(P46)

全世代とも夫と妻が同程度に分担すると思っている人が多い。

カ. 地域行事への参加(P47)

夫と妻が同程度に分担すると思っている人が全世代とも多いものの、60 歳以上男性では約4割が夫の役割だと考えている。

キ. 親の世話・介護(P48)

夫と妻が同程度に分担すると思っている人が全世代とも多い。

ク. 高額商品や不動産の購入(P49)

夫と妻が同程度に分担すると思っている人が全世代とも多いものの、60 歳以上男性では約4割が夫の役割だと考えている。

ケ. 家庭の問題についての最終決定(P50)

夫と妻が同程度に分担すると思っている人が全世代とも多いものの、60 歳以上男性では約4割が夫の役割だと考えている。

(3)子どものしつけや教育に対する考え(問6)(P51~54)

ア 女の子も男の子も同様に経済的に自立できるよう職業人としての教育が必要(P51)

「賛成」と考える人(「賛成」と「どちらかといえば賛成」の計…以下同じ)の割合が8割を超えている。

イ 男の子も女の子も炊事・掃除・洗濯など、生活に必要な技術を身につけさせる方がよい(P52)

「賛成」と考える人の割合が8割を超えている。

ウ 男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てた方がよい(P53)

「賛成」と考える人の割合が4割を超えている。30歳代以下では、男女とも「どちらともいえない」の割合が3割を超えている。

エ 男の子は理科系、女の子は文化系に進んだ方がよい(P54)

「どちらともいえない」の割合が45.5%となっている。

3. 就業について

(1)働いている理由(問7)(P57) ※現在働いている人

- ・「生計を維持するため」の割合が最も高く、7割となっている。女性では「家計の足しにするため」の割合(40.2%)が男性(18.7%)よりも高い。

(2)仕事と家庭生活・地域活動のバランス(問8～問10)(P59～63) ※現在働いている人

①現状(問8)(P59)

- ・仕事を優先させている人が50.8%であり、特に男性はその割合が大きくなっている。

②希望(問9)(P61)

- ・男女とも仕事と家庭生活・仕事を両立させたいと思っている人が3分の1程度となっている。

③両立のために必要な対策(問10)(P63)

- ・第1位は「労働時間の短縮及び休暇制度の充実・普及」(37.3%)で、次いで「育児休業・介護休業制度を利用しやすい職場環境の整備(代替要員の確保など)」(36.0%)となっている。このことは、男女別でもほぼ同じ傾向を示している。

(3)女性の就業(問11)(P66～74)

①希望(問11)(P66)

- ・「子どもができて、ずっと仕事を続ける方がよい」(43.0%)、「子どもができたなら仕事を辞め、子育てが終わったら再び持つ方がよい」(31.8%)の割合が高い。
- ・また、この考え方は男女ともほぼ同じとなっている。

②現状(問12)(P68) ※現在働いている人

ア. 募集・採用 : 男女とも「平等」と思っている人の割合が高い。

イ. 賃金・給与 : 男性は「平等」と思っているが45.3%であるが、女性は「男性優遇」と思っている人(「男性の方が非常に優遇」と「どちらかといえば男性が優遇」の計…以下同じ)が33.7%で男女間に差がある。

ウ. 仕事の内容 : 「平等」が男女ともほぼ同じ割合になっている。

エ. 昇進・昇格 : 「男性優遇」と思っている人が 34.6%となっている。

オ. 能力評価 : 「平等」と思っている人の割合は4割となっている。

カ. 研修の機会や内容 : 男女とも約半数が「平等」と回答している。

キ. 育児・介護休暇の取りやすさ : 「女性優遇」と思っている人(「女性の方が非常に優遇」と「どちらかといえば女性が優遇」の計…以下同じ)が 32.4%となっており(県は 34.1%)、「平等」は 26.7%(県は 29.4%)である。

③女性が結婚・出産後も就業するために必要な対策(問13)(P75)

- ・第1位は「残業や休日出勤ができないことで不利益な扱いをしない」(43.9%)、次いで「家族や夫の理解・協力」(40.1%)となっている。
- ・女性では、「残業や休日出勤ができないことで不利益な扱いをしない」(47.5%)、「家族や夫の理解・協力」(45.2%)の割合が高い。
- ・なお、県は「育児休業や短時間制度などの仕事と家庭の両立ができる制度を充実する」「結婚・出産・介護などの都合でいったん退職した女性のための再雇用制度を普及、促進する」の2つがそれぞれ6割を超えており、他の項目よりも高いのが目立つ。

(4)男性の育児休業取得率の低い理由(問14)(P78)

- ・男女とも「職場に取りやすい雰囲気がないから」が4割を超えている。また、理由の傾向は県とほぼ同じ結果となっている。

4. 地域活動について

(1) 地域活動への参加状況(問15) (P81)

- ・この1年間に地域活動に参加した人は 72.0%となっている。
(参加していない人は 28.0%)
そのうち、「自治公民館等の活動に参加している」(40.8%)の割合が最も多くなっている。
- ・年代別では、「参加していない人」の割合は世代が若いほど多くなっている。

(2) 地域社会の慣習(問16) (P83)

ア. 役員・責任者(P83)

「男性が多い」の割合が 50.6%となっている。

イ. 行事・催し物の企画・運営の中心(P84)

「男性が中心」の割合が 46.8%となっている。

ウ. 地域の作業への参加は主に女性か(P85)

「主に参加するのは女性か」の間に「いいえ」の人の割合(41.7%)が最も高くなっている。
特に 40・50 歳代の男性は「いいえ」が 56.3%となっている。

エ. 安全安心活動(防災・防犯・交通事故防止活動)は主に女性か(P86)

主に参加するのは男性か女性か「どちらとも言えない」(45.2%)の割合が高くなっている。

5. 政策決定への参画 ～女性の参画が少ない理由～(問17) (P87)

- ・「女性側の積極性が不足している」(37.9%)の割合が最も高く、次いで「役員・委員の就任、選任に際して、男性優先の慣例・しきたりがある」(36.6%)となっている。
- ・県とほぼ同じ傾向を示しているが、その中で「女性の参画を積極的に進めようという機運が高まらない」が県(41.8%)を 13.8 ポイント下回っている。

6. 男女共同参画社会を形成するために必要な施策(問18) (P90)

- ・第1位は「女性が働きやすい職場環境の整備」(47.1%)、第2位「保育・介護などの分野で女性の負担を軽減する施策の充実」(37.6%)となっている。これは、男女ともほぼ同じ割合となっている。

7. 男女共同参画に関する言葉の認知状況(問19)(P93)

- ・男女共同参画に関する言葉の認知状況は県と比べて全体的に低くなっている。
- ・「男女共同参画社会基本法」については、他の法律(「男女雇用機会均等法」「育児・介護休業法」「DV 防止法」)よりも認知度が低くなっている。また、「女性活躍推進法」は15.3%となっている。
- ・言葉の認知状況については、男女ともほぼ同じとなっている。

8. DV 防止・人権への配慮について

(1)DV についての認識状況(問20)(P98)

ア. 大声で怒鳴る(P98)

「暴力にあたるとは思わない」の割合が14.3%となっている。

「どんな場合も暴力にあたると思う」の割合は、男性(28.3%)が女性(16.4%)を上回っている。

イ. 「誰のおかげで生活できるんだ」「甲斐性なし」などと言う(P99)

男女とも半数以上が「どんな場合も暴力にあたると思う」と回答している。

ウ. 交友関係や電話・メールを細かく監視する(P100)

男女とも4割が「どんな場合も暴力にあたると思う」と回答している。

エ. 生活費を渡さない(P101)

「どんな場合も暴力にあたると思う」が65.3%となっており、男女とも同様の傾向となっている。

オ. 何でも勝手に決め、命令する(P102)

「どんな場合も暴力にあたると思う」が半数を超えている。

カ. 何を言っても無視し続ける(P103)

「どんな場合も暴力にあたると思う」が半数を超えている。

キ. 見たくないのにポルノビデオやポルノ雑誌を見せる(P104)

「どんな場合も暴力にあたると思う」の割合が6割を超えている。

ク. いやがっているのに性的行為を強要する(P105)

「暴力の場合と、そうでない場合がある」(13.7%)と「暴力にあたらぬ」(4.1%)をあわせると17.8%となる。

ケ. 医師の治療が必要とならぬ程度の暴行をする(P106)

男性は「暴力の場合と、そうでない場合がある」(9.2%)と「暴力にあたらぬ」(2.2%)をあわせると11.4%になる。

(2)DVの経験の有無(問21)(P107)

- ・「ない」が78.0%で県の56.3%を上回っている。
- ・男女別では、女性の22.0%が「ある」と回答している。女性はいずれの年代も「ある」が2割程度となっている。

(3)DVの内容(問22)(P108)

- ・第1位は「大声で怒鳴られた」(57.1%)となっている。
- ・女性は「医師の治療が必要とならぬ程度の暴力を受けた」が第2位で43.6%となっている。

(4)相談の有無(問23)(P111)

- ・「どこ(誰)にも相談しなかつた」が38.8%となっている。
- ・相談した人の相手は「友人・知人」(34.7%)が第1位となっている。

(5)相談しなかつた理由(問24)(P114)

- ・第1位は「恥ずかしくて誰にも言えなかつたから」「自分さえ我慢すれば、このままなんとかやっていけると思つたから」「他人を巻き込みたくなかつたから」(ともに42.1%)となっている。

(6)配偶者等への暴力の経験～加害者の立場～(問25)(P116)

- ・男性の15.1%が「ある」と回答している。

↓

暴力の内容(問26)(P117)

- 第1位は「大声で怒鳴つた」(70.0%)となっている。

(7)メディアにおける性・暴力表現(問27)(P119)

- ・「そのような表現を望まない人や子どもの目に触れないように配慮が足りない」の割合が高く、41.4%となっている。

(8) 女性が生涯にわたり健康であるために大事なこと(問28)(P121)

- ・第 1 位は「女性の医師が診察を行う「女性専用外来」を充実させる」で、44.9%となっている。

(9) 性別により権利を侵害する言葉の認知度(問29)(P123)

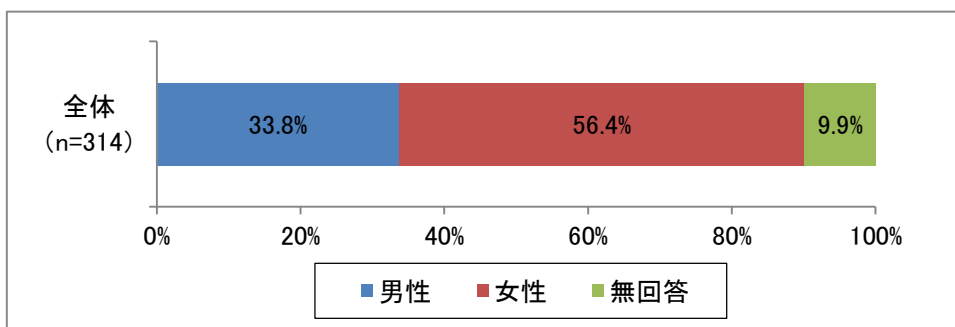
- ・全体的に認知度は高いものの、「マタニティ・ハラスメント(マタハラ)」は 74.8%であり、他の言葉よりも割合が低い。

○ご自身について教えてください。

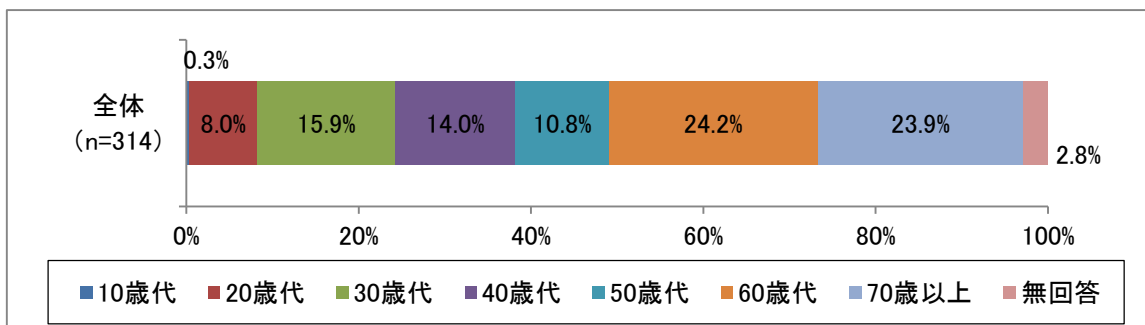
・性別、年代

- ・回答者のうち男性が 33.8%、女性が 56.4%で、女性が 22.6 ポイント上回っている。
- ・年代別では、若い世代(30代以下)が 24.2%、壮年代(40・50代)が 24.8%、老年代(60代以上)が 48.1%となっている。
- ・女性は約半数(51.4%)が 60 代以上である。

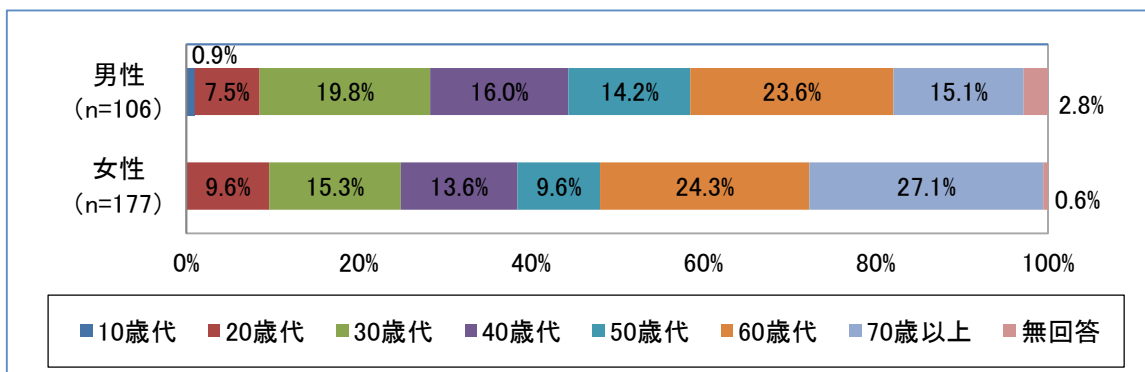
■性別



■年代



・男女別

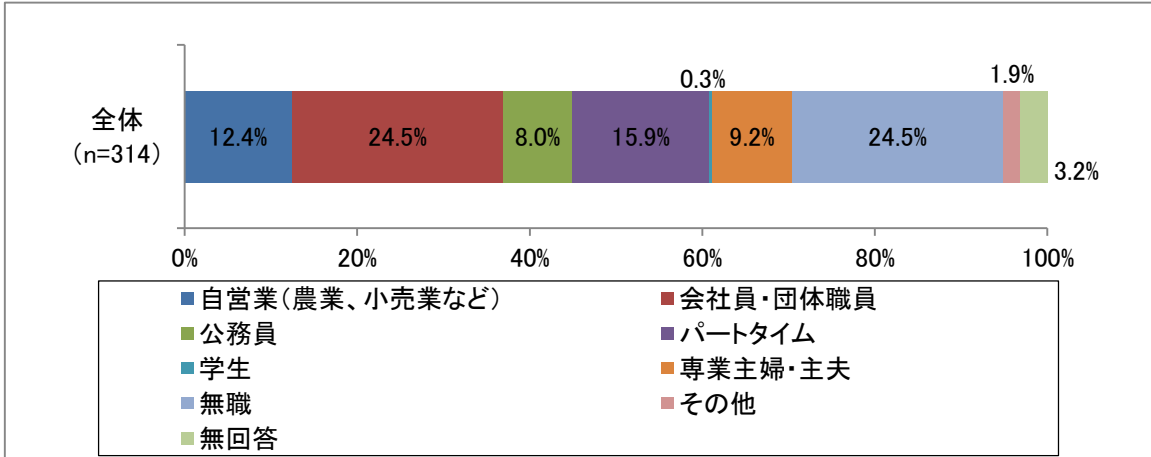


・職業

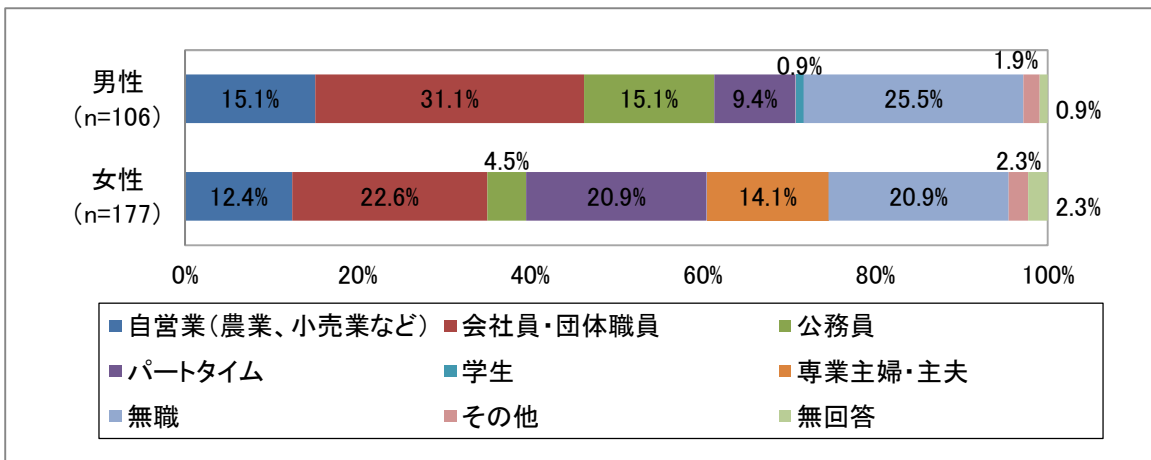
・働いている人の割合は 60.8%となっている。

・男女別では、男性の 70.7%、女性の 60.4%が働いている。

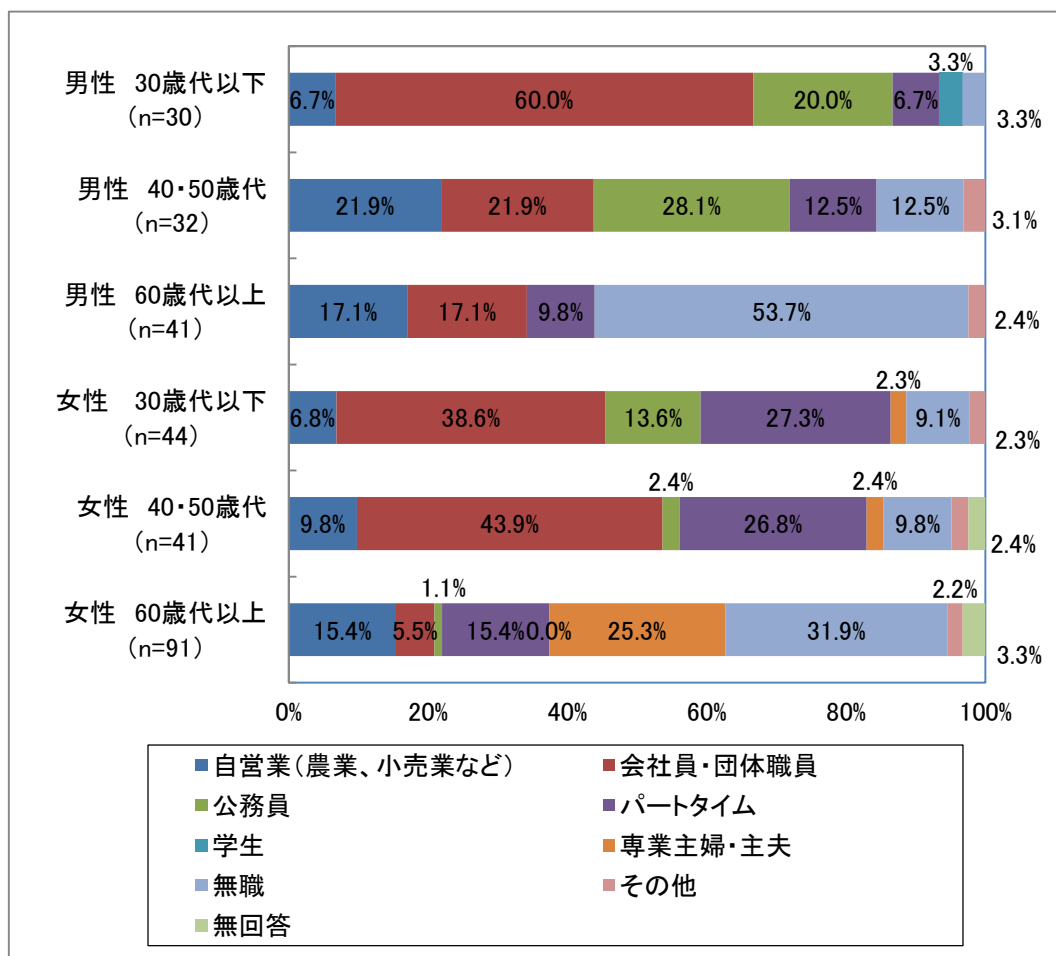
■職業



・男女別



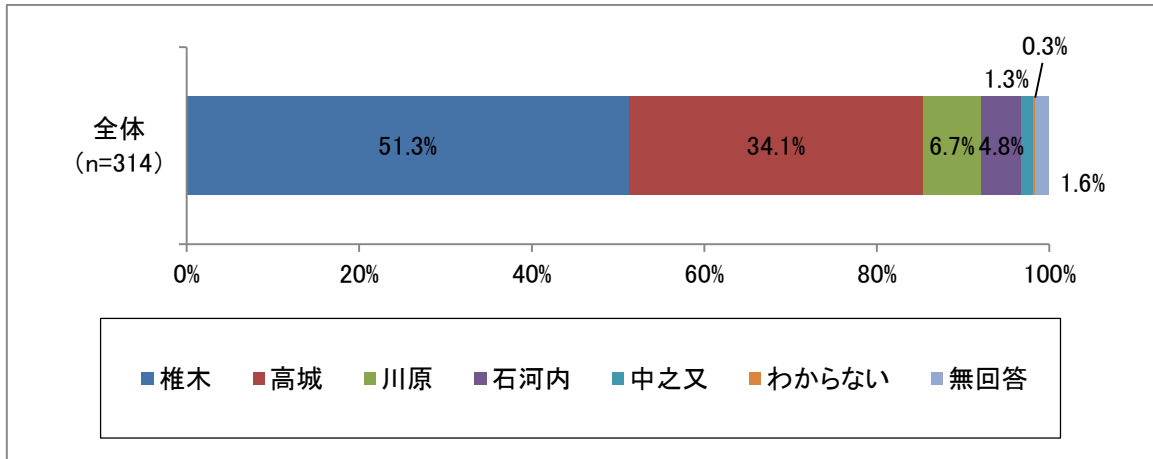
・男女・年齢別



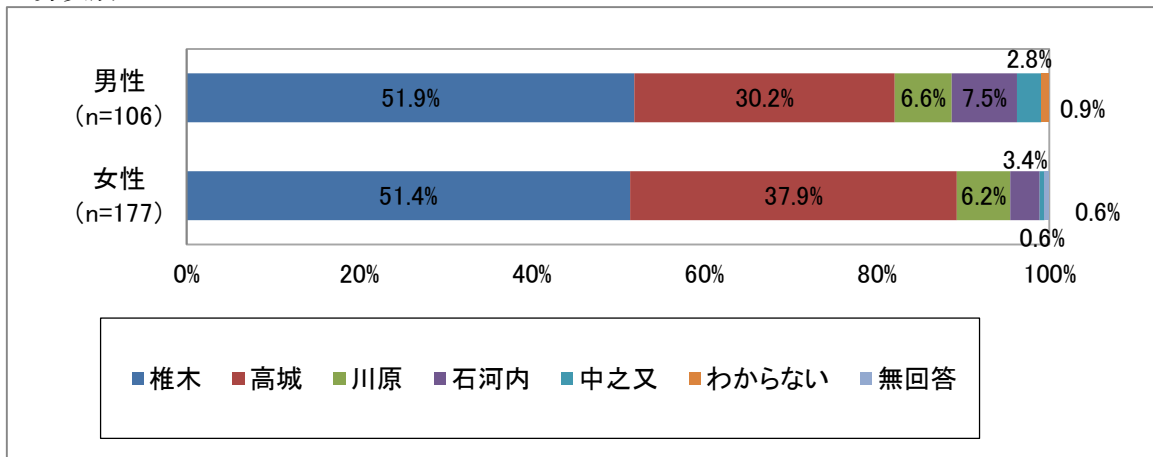
・住んでいる地区

・「椎木」が51.3%で最も多く、「中之又」が1.3%で最も少ない。

■お住まいの地区



・男女別



○調査の結果

1. 男女平等意識について

(1)分野別(問1)

ア. 家庭生活(P19)

男性優遇と思っている人(「男性の方が非常に優遇」と「どちらかといえば男性が優遇」の計…以下同じ)が半数(45.9%)に近い。その中で60歳代以上の女性の58.3%が男性優遇と思っている。

イ. 職場(P20)

男性優遇と思っている人は4割(41.7%)である。その中で、30歳代以下の女性の47.7%が男性優遇と思っている。

ウ. 学校教育(P21)

半数以上が男女平等とっており、40・50歳代の男性では75.0%となっている。

エ. 地域社会(自治公民館)(P22)

男性優遇と思っている人は36.6%で、県(37.0%)と同程度となっている。その中で40歳代以上の女性の約半数が男性優遇と思っている。

オ. 政治の場(P23)

男性優遇と思っている人が57.7%となっている。
また、男性優遇と思っている女性(68.4%)は、男性(44.4%)を24ポイント上回っている。

カ. 法律や制度の上(P24)

男性の半数(50.0%)は平等と思っているが、女性の4割(44.1%)は男性優遇と思っている。

キ. 社会通念、慣習、しきたり(P25)

男性優遇と思っている人は61.5%で県(64.3%)と同程度となっている。

ク. 社会全体(P26)

男性優遇と思っている人は56.0%となっている。男女別で見ると、男性優遇と思っている女性の割合は63.9%で、男性よりも20.5ポイント上回っている。

(2) 男女が各分野で男女平等になるための対策(問2)(P27)

・「女性を取り巻く様々な偏見や固定的な社会通念、慣習、しきたりを改める」(30.9%)が県(38.9%)と同様に第1位となっている。

これは、40・50歳代の女性で46.3%となっている。

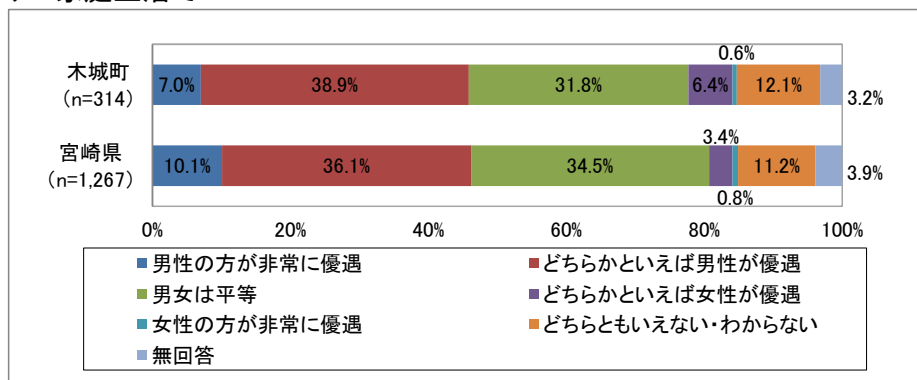
(3)「男は仕事、女は家庭」という考え方(問3)(P29)

・「賛成」の人(「賛成」と「どちらかといえば賛成」の計…以下同じ)は、男性で23.6%、女性で20.9%となっている。

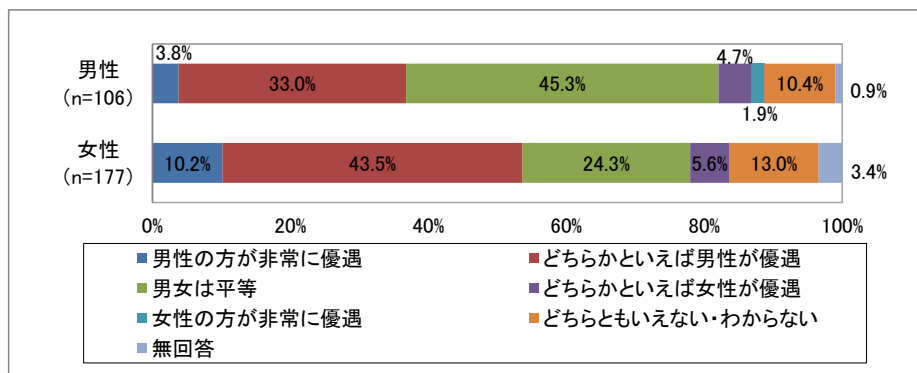
男性では、年代が上がるにつれて「賛成」の割合が高くなっている。

問1. 次の分野で、男女の地位は平等だと思いますか。

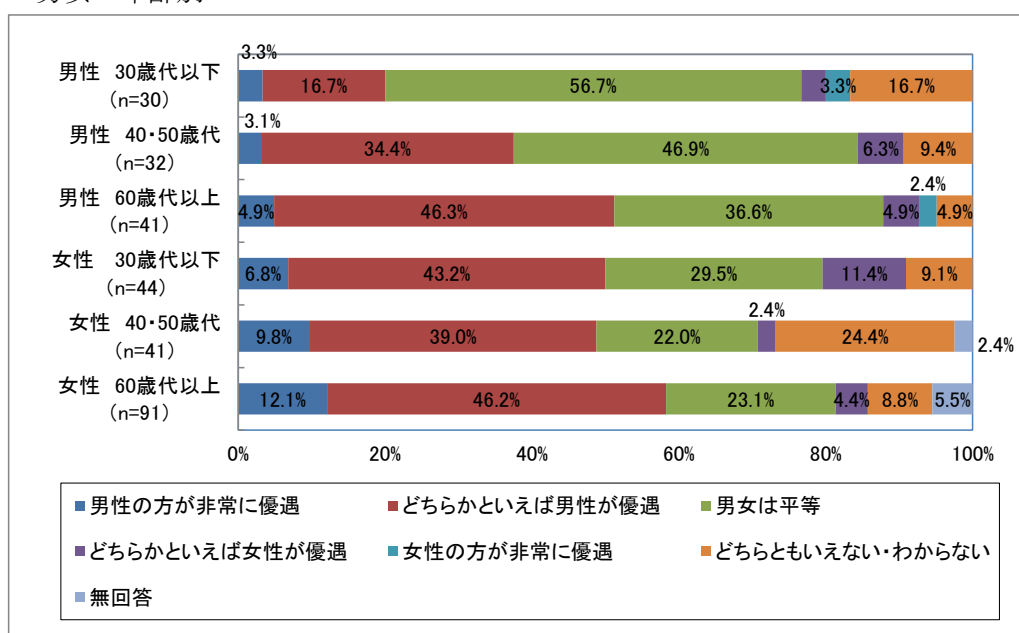
ア 家庭生活で



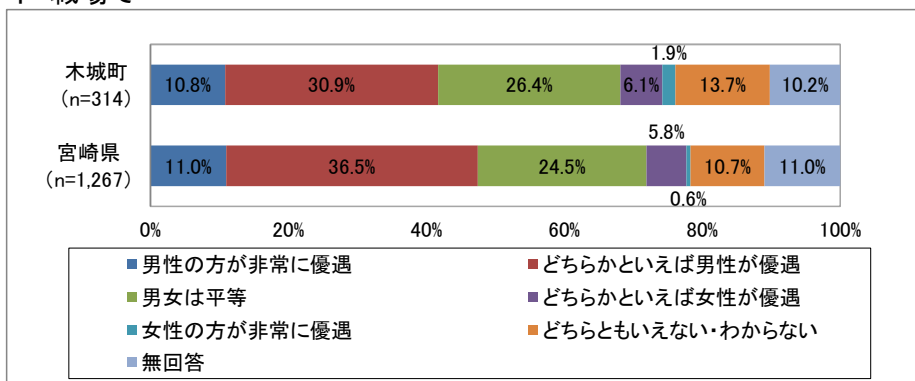
・男女別



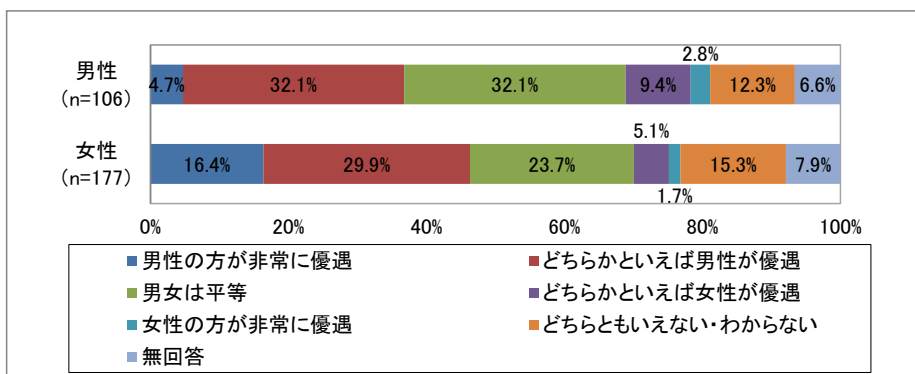
・男女・年齢別



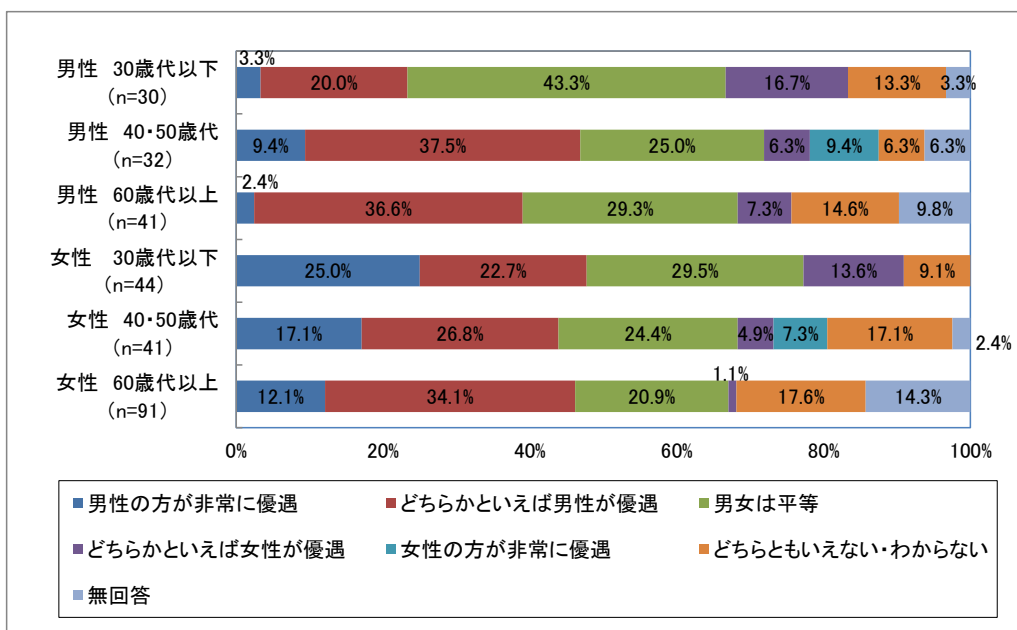
イ 職場で



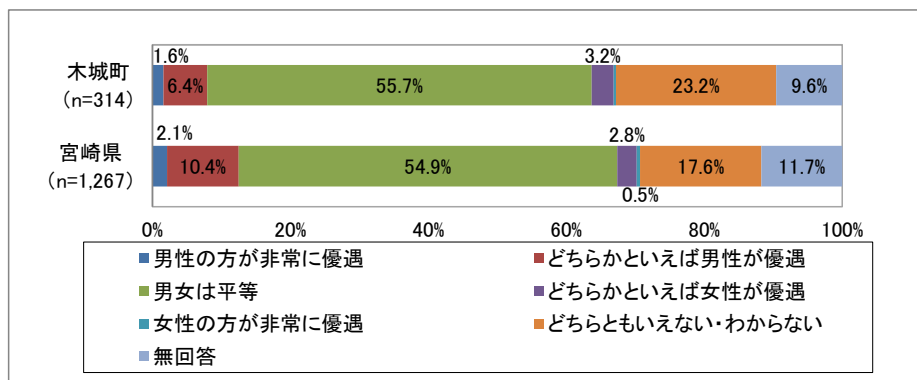
・男女別



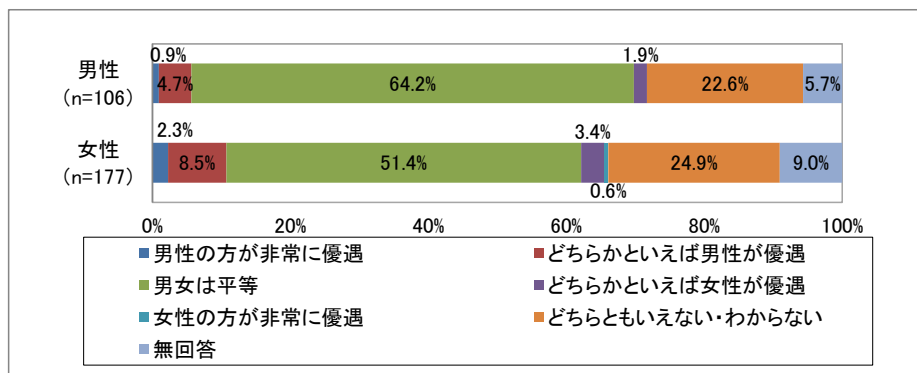
・男女・年齢別



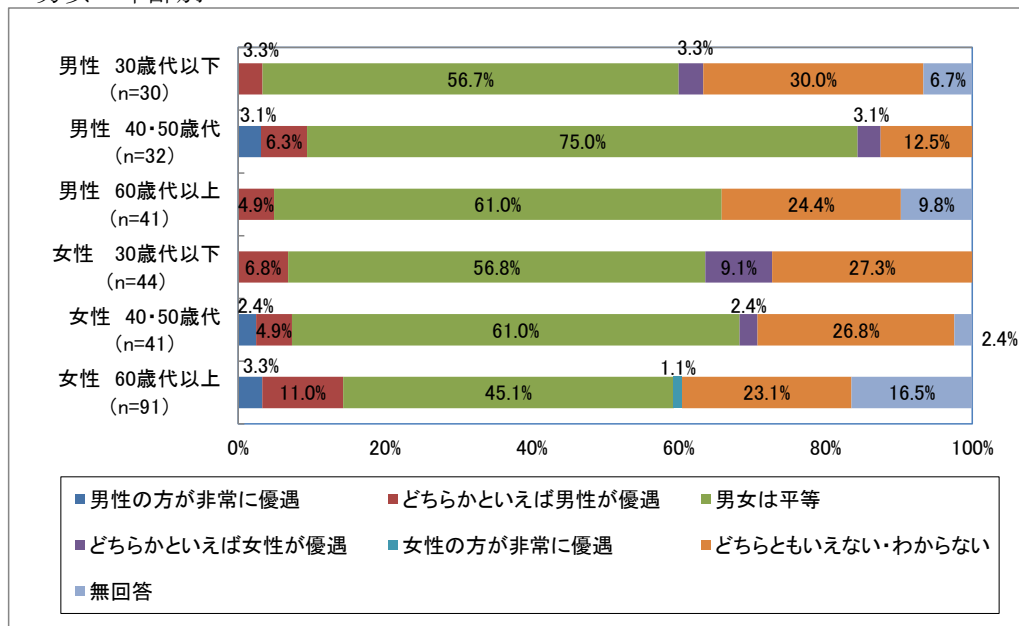
ウ 学校教育で



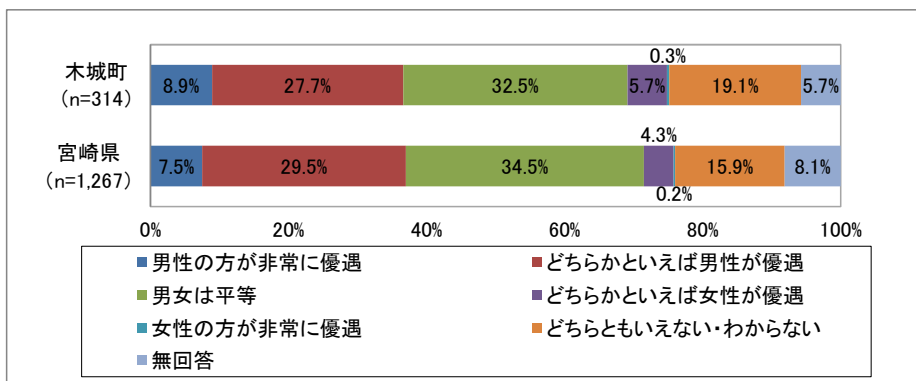
・男女別



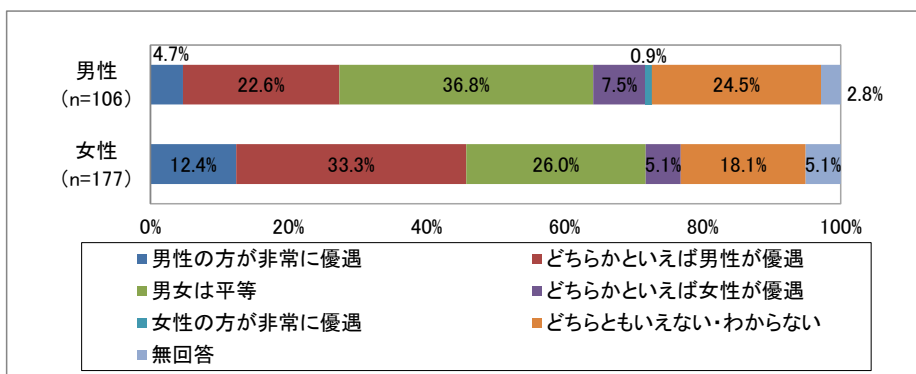
・男女・年齢別



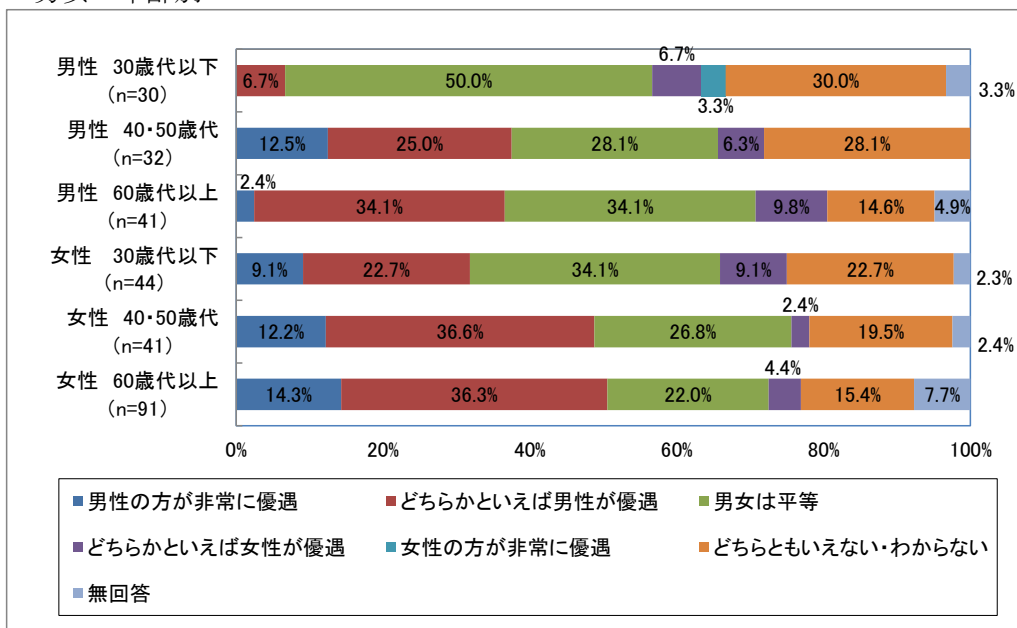
エ 地域社会(自治公民館)で



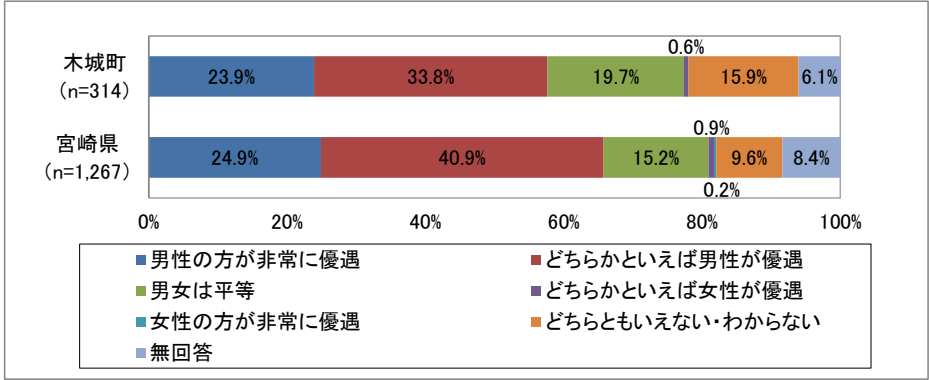
・男女別



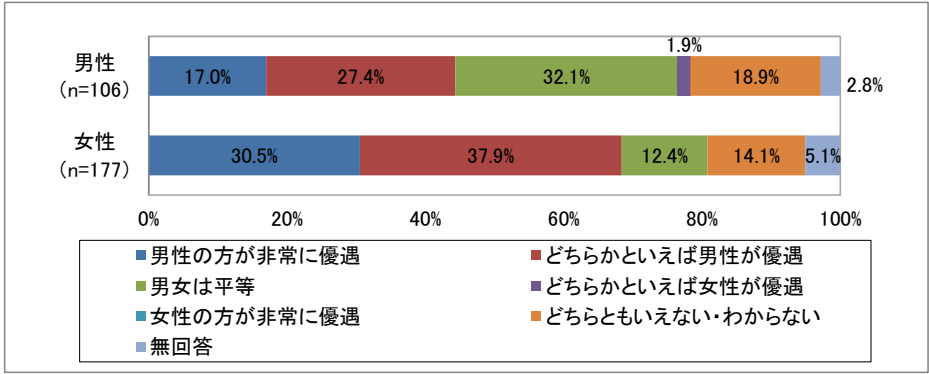
・男女・年齢別



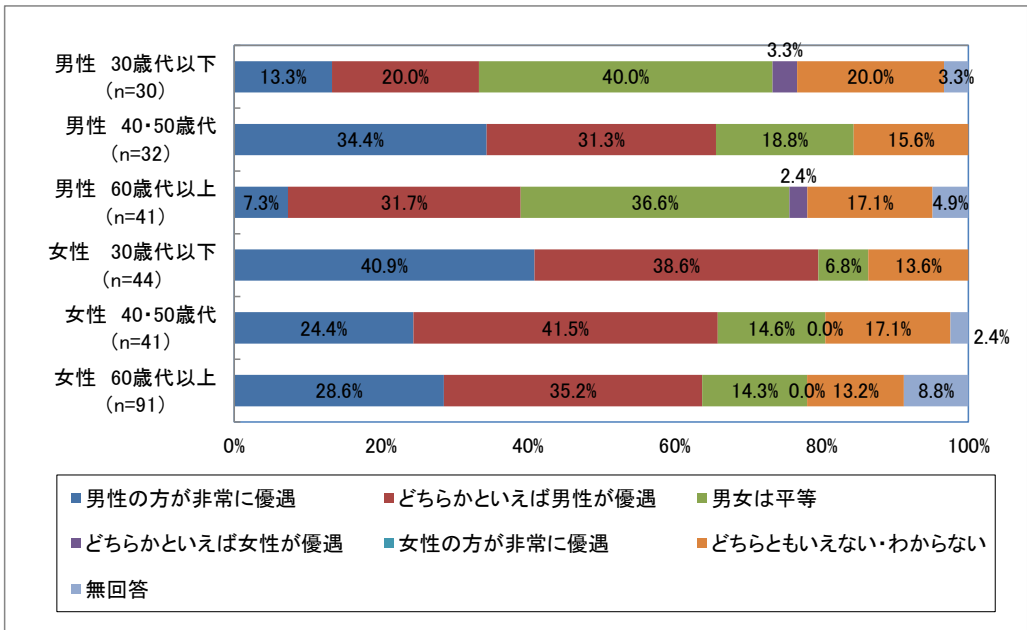
オ 政治の場で



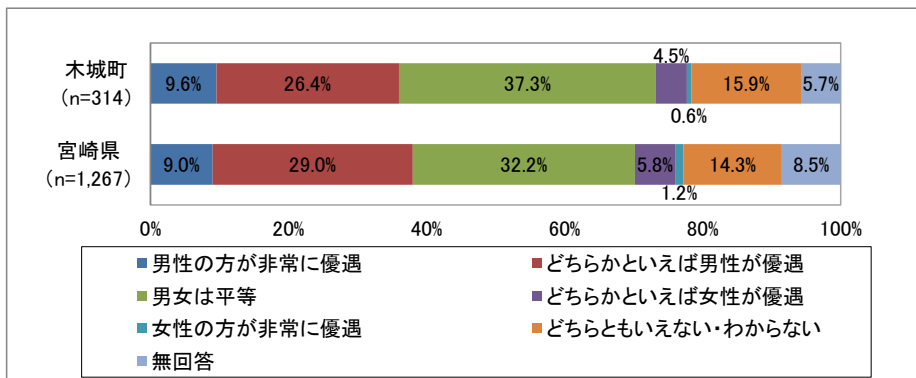
・男女別



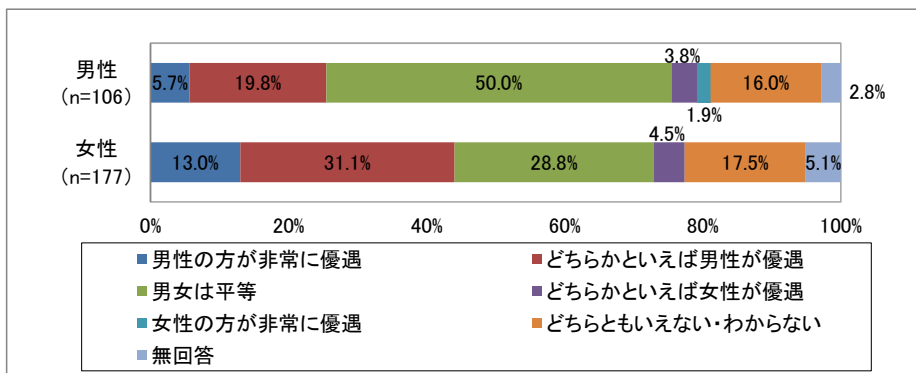
・男女・年齢別



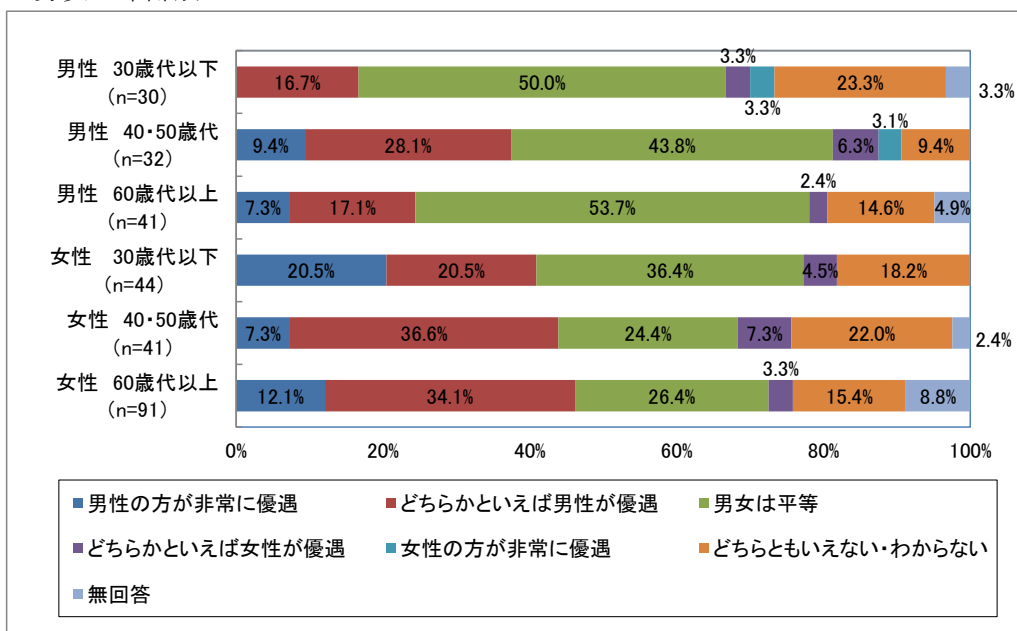
カ 法律や制度の上で



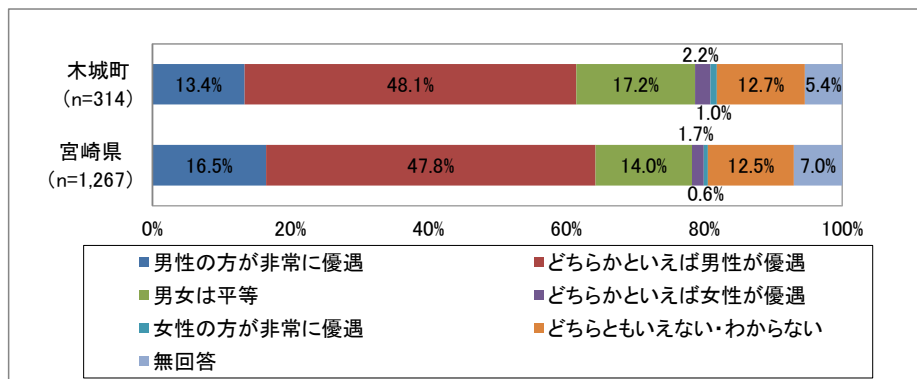
・男女別



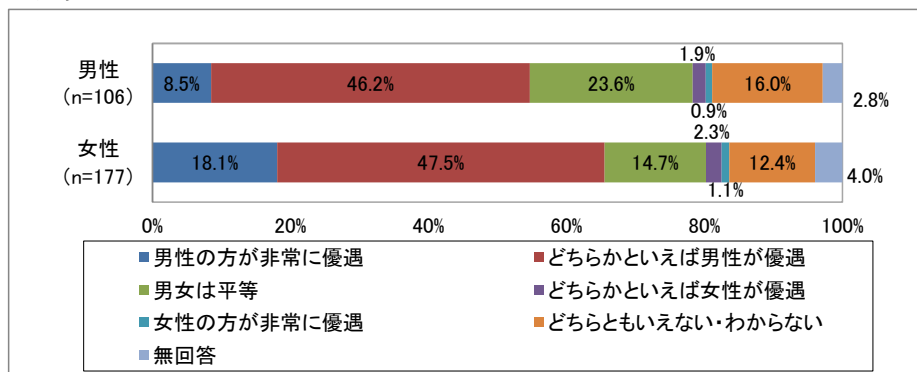
・男女・年齢別



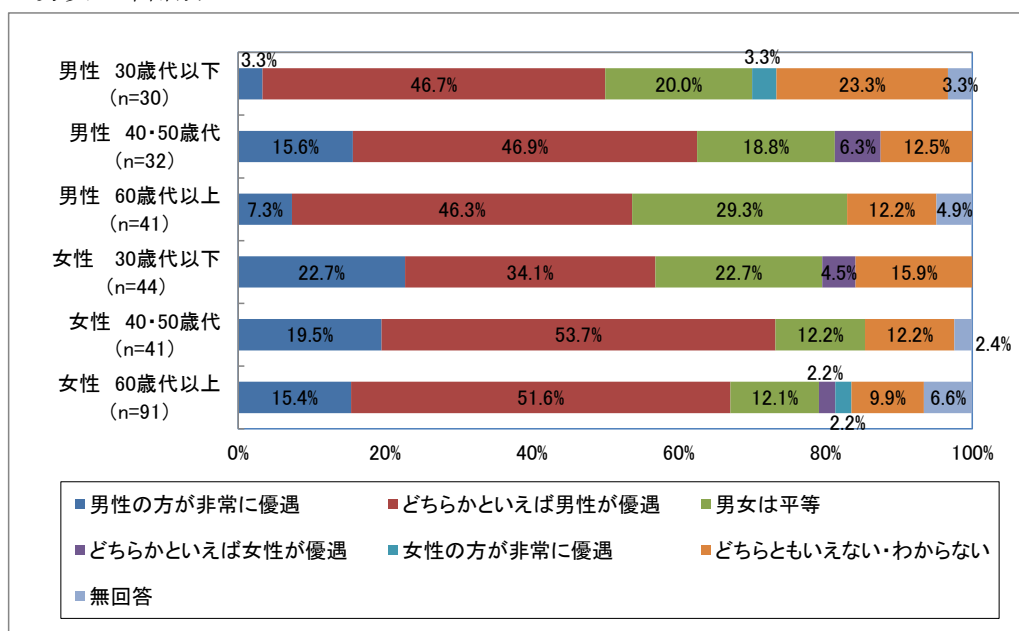
キ 社会通念、慣習、しきたりの中で



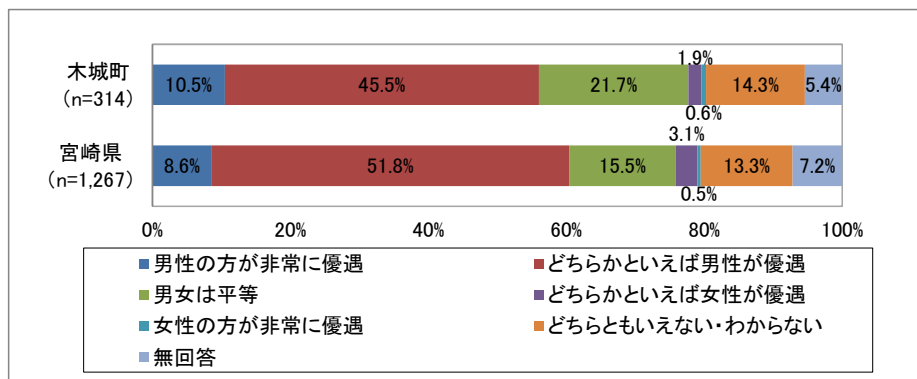
・男女別



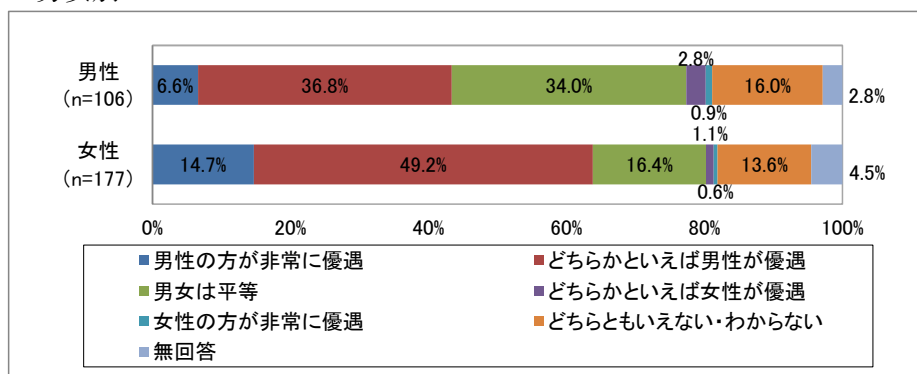
・男女・年齢別



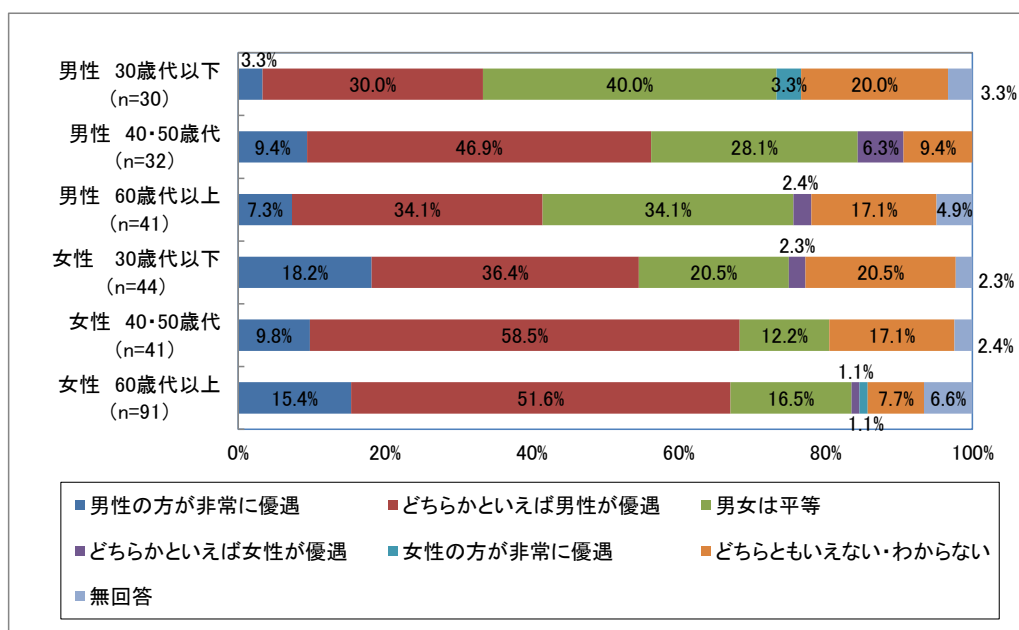
ク 社会全体で



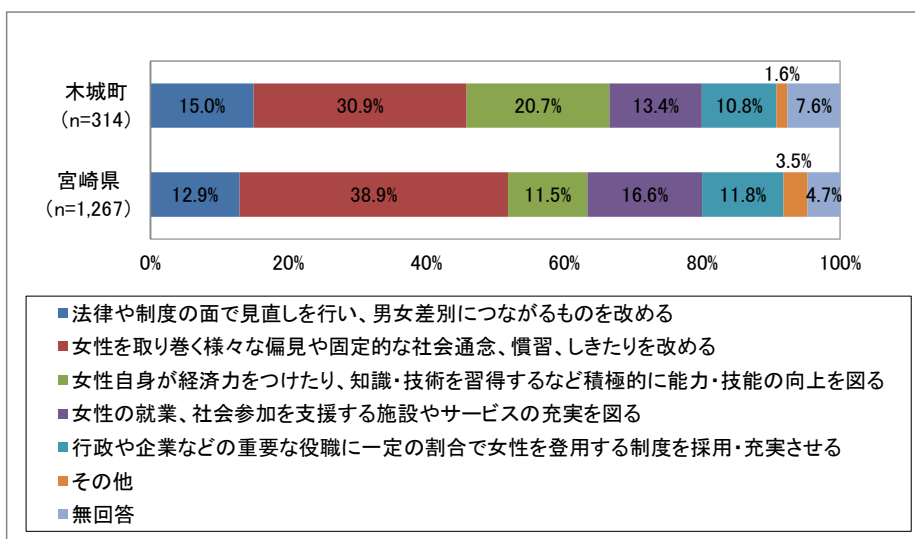
・男女別



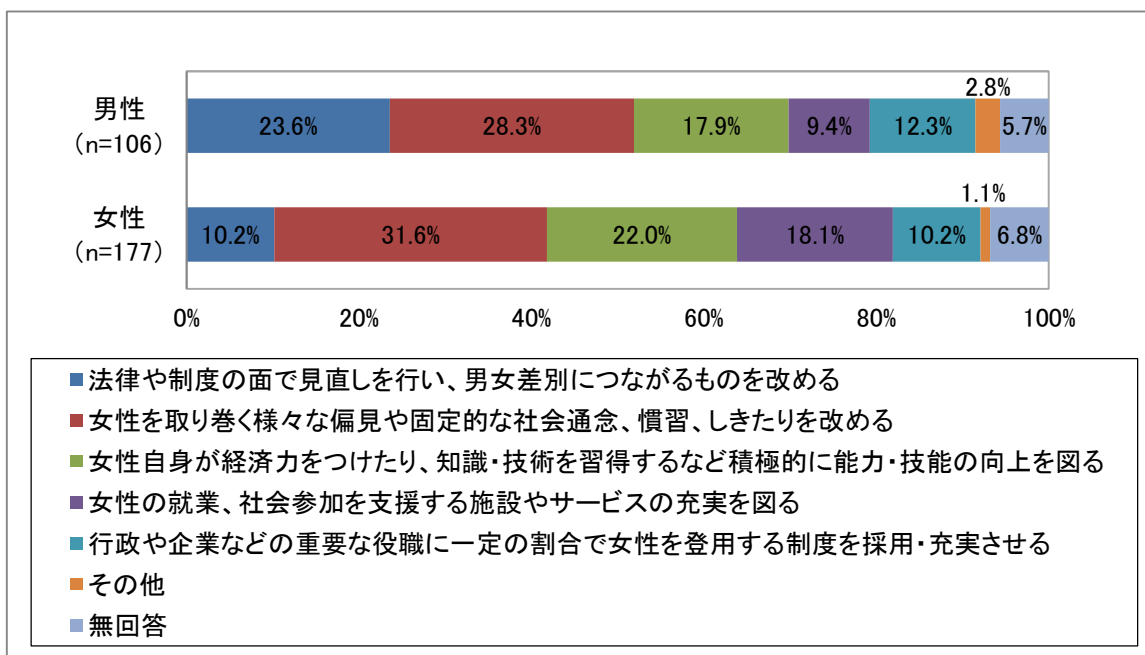
・男女・年齢別



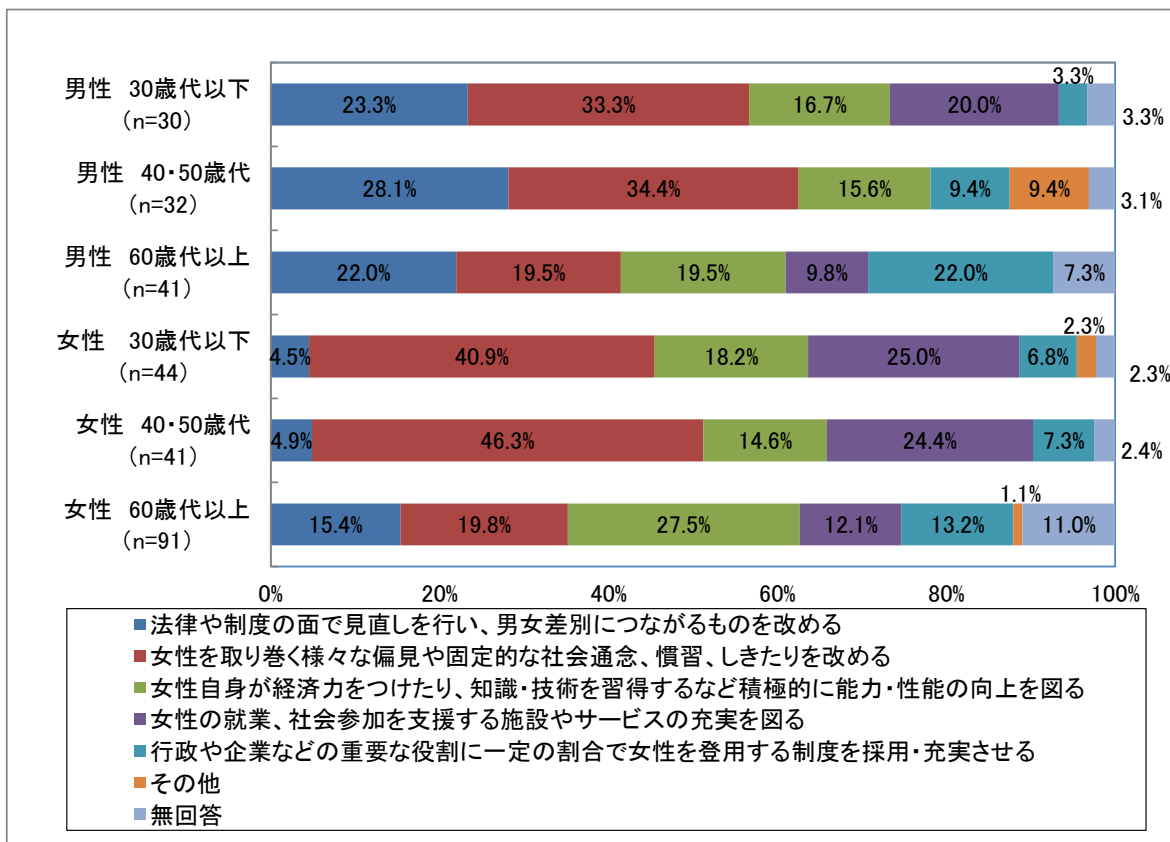
問2. 今後、男女があらゆる分野でもっと平等になるために、最も重要だと思われることは何でしょうか。



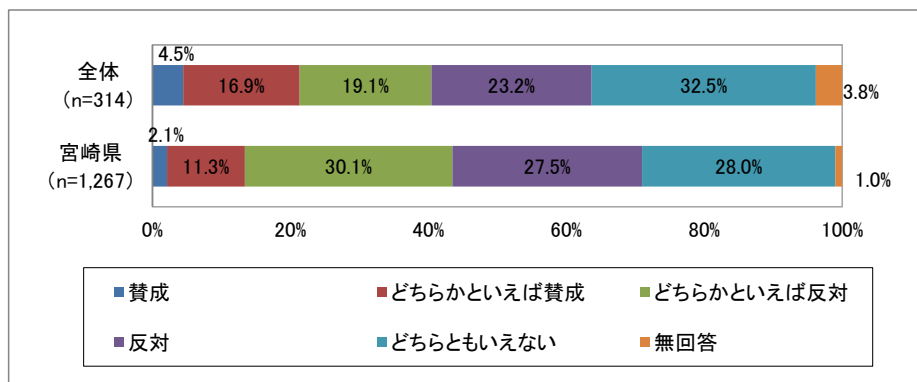
・男女別



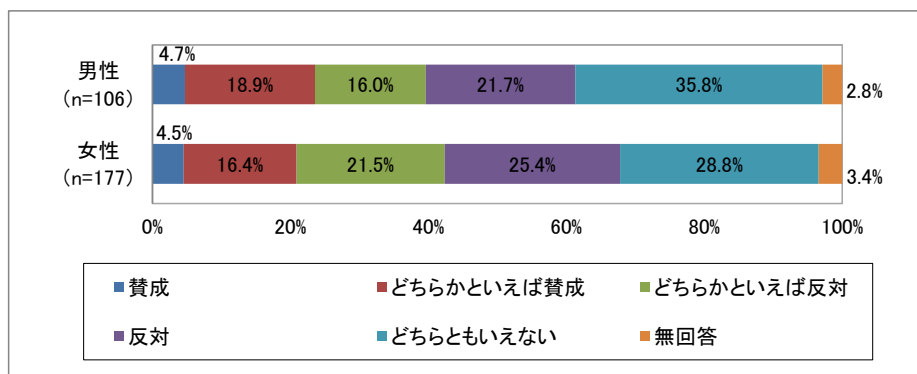
・男女・年齢別



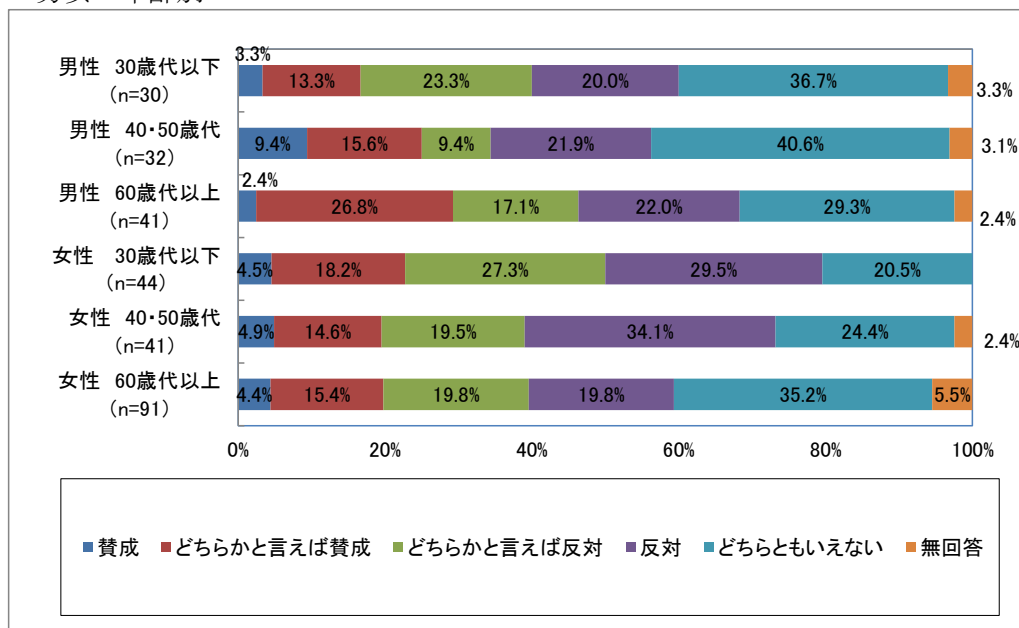
問3.「男は仕事、女は家庭」という考え方について、あなたはどのように思いますか。



・男女別



・男女・年齢別



2. 家庭生活について

(1) 家庭内の仕事の役割分担(問4:結婚している人の回答)(P33~41)

ア. 家計を支える(P33)

主に夫の担当(「主に夫が行っている」と「主に夫が行い、妻が一部を分担している」の計…以下同じ)が59.5%となっている。

イ. 家事をする(P34)

78.9%が妻の担当(「主に妻が行っている」と「主に妻が行い、夫が一部を分担している」の計…以下同じ)となっているが、40・50歳代の男性の29.4%では、同程度分担しているとなっている。

ウ. 家計の管理(P35)

すべての年代で妻が担当している割合が6割以上である。

エ. 育児・子どものしつけ(P36)

主に妻が担当している割合が高いが、若い世代ほど同程度で分担している人が多い。

オ. 学校行事への参加(P37)

主に妻が担当しているが、40・50代女性では、女性の分担が8割近くとなっている。

カ. 地域行事への参加(P38)

夫と妻が同程度に分担している割合が25.0%となっている。全体的には夫(38.3%)の分担割合が高くなっている。

キ. 親の世話・介護(P39)

60歳以上の女性では、妻が担当している割合が半数を超えており、他の年代よりも高くなっている。

ク. 高額商品や不動産の購入(P40)

夫と妻が同程度の分担が37.1%となっている。

ケ. 家庭の問題についての最終決定(P41)

夫が担当している割合(51.3%)が高くなっている。

(2) 夫婦の理想的な役割分担(問5)(P42~50)

ア. 家計を支える(P42)

夫の役割と思っている人が 51.0%となっている。

イ. 家事をする(P43)

夫と妻が同程度の分担が 39.2%であるが、60 歳以上の男女では6割以上が妻の分担を希望している。

ウ. 家計の管理(P44)

40・50 歳代男性、30 歳以下女性では、半数が同程度分担と思っている。

エ. 育児・子どものしつけ(P45)

全世代とも夫と妻が同程度に分担すると思っている人(59.9%)が多いが、県(64.9%)を5ポイント下回っている。

オ. 学校行事への参加(P46)

全世代とも夫と妻が同程度に分担すると思っている人が多い。

カ. 地域行事への参加(P47)

夫と妻が同程度に分担すると思っている人が全世代とも多いものの、60 歳以上男性では約4割が夫の役割だと考えている。

キ. 親の世話・介護(P48)

夫と妻が同程度に分担すると思っている人が全世代とも多い。

ク. 高額商品や不動産の購入(P49)

夫と妻が同程度に分担すると思っている人が全世代とも多いものの、60 歳以上男性では約4割が夫の役割だと考えている。

ケ. 家庭の問題についての最終決定(P50)

夫と妻が同程度に分担すると思っている人が全世代とも多いものの、60 歳以上男性では約4割が夫の役割だと考えている。

(3)子どものしつけや教育に対する考え(問6)(P51~54)

ア 女の子も男の子も同様に経済的に自立できるよう職業人としての教育が必要(P51)

「賛成」と考える人(「賛成」と「どちらかといえば賛成」の計…以下同じ)の割合が8割を超えている。

イ 男の子も女の子も炊事・掃除・洗濯など、生活に必要な技術を身につけさせる方がよい(P52)

「賛成」と考える人の割合が8割を超えている。

ウ 男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てた方がよい(P53)

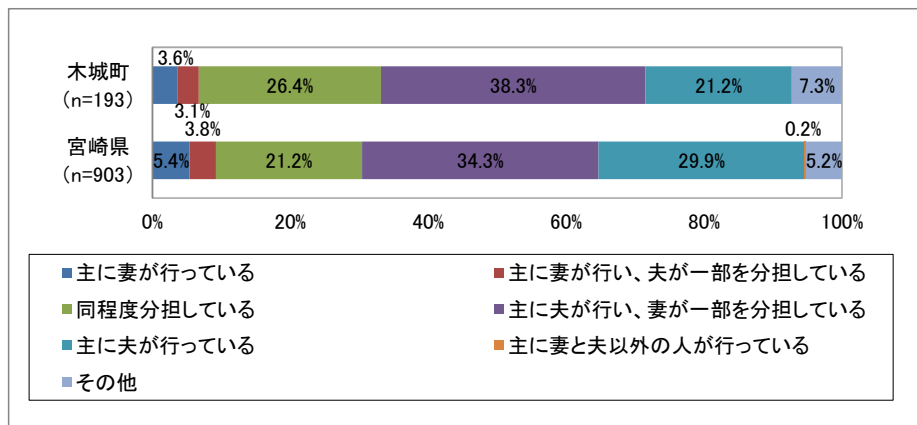
「賛成」と考える人の割合が4割を超えている。30歳代以下では、男女とも「どちらともいえない」の割合が3割を超えている。

エ 男の子は理科系、女の子は文化系に進んだ方がよい(P54)

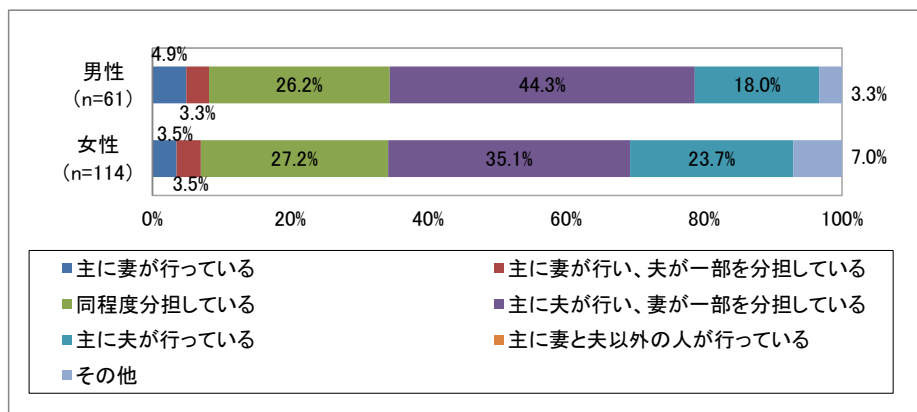
「どちらともいえない」の割合が45.5%となっている。

問4. あなたのご家庭では、次のような家庭内の仕事を主にどなたがしていますか。(結婚されている人(事実婚の人も含む))

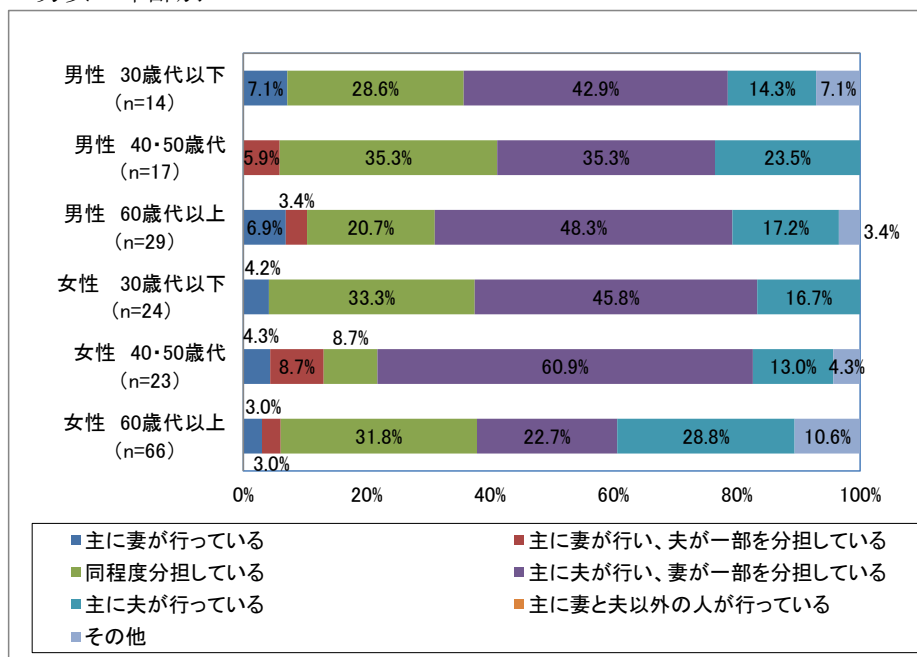
ア 家計を支える(生活費を稼ぐ)



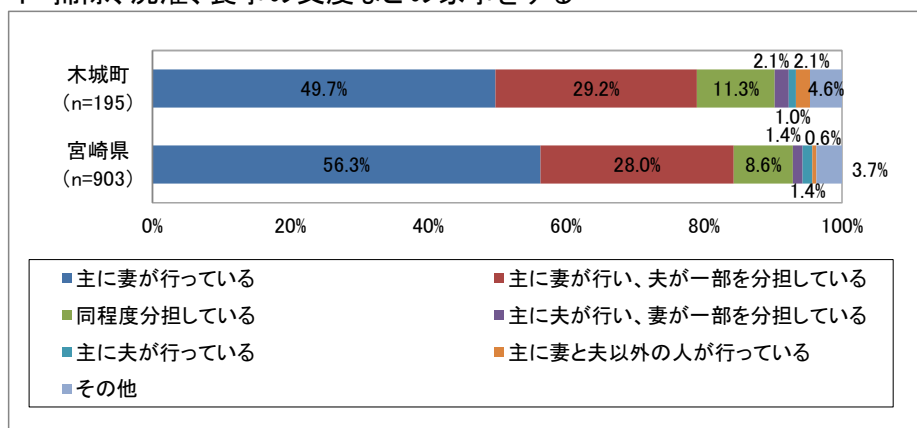
・男女別



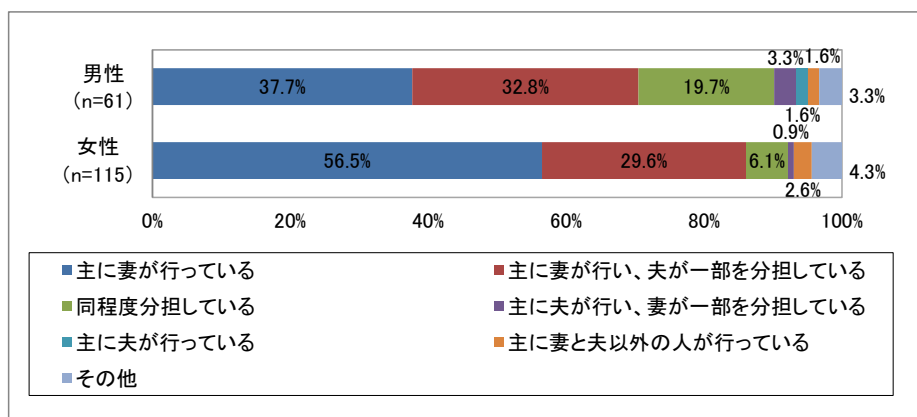
・男女・年齢別



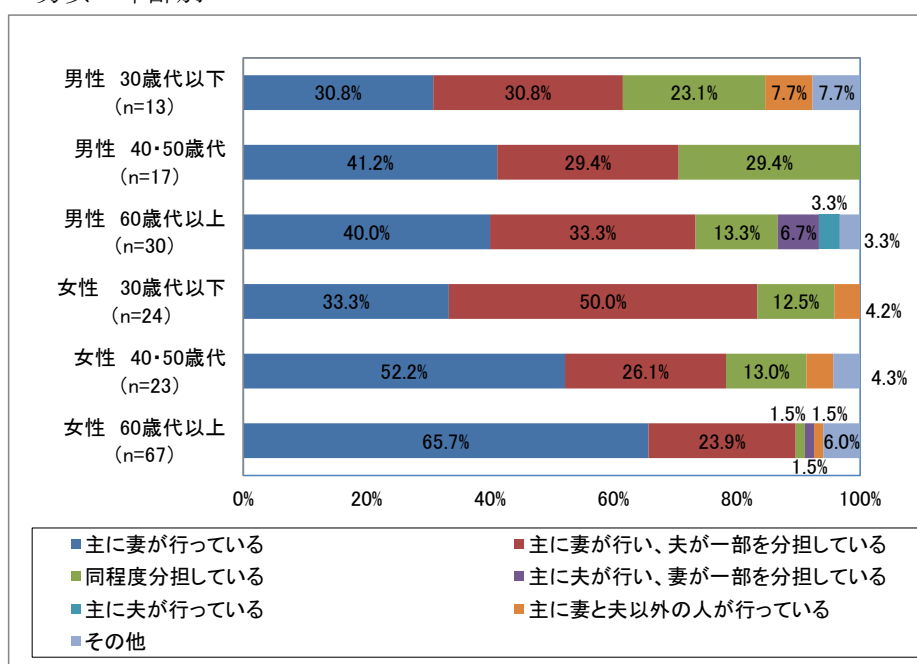
イ 掃除、洗濯、食事の支度などの家事をする



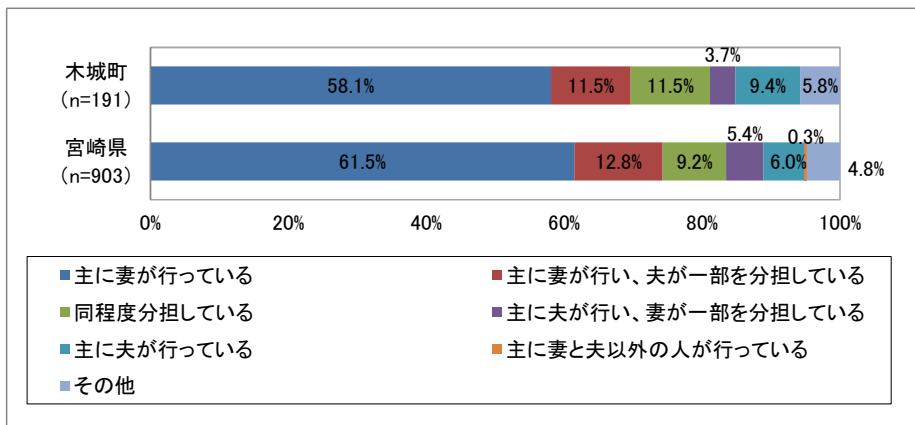
・ 男女別



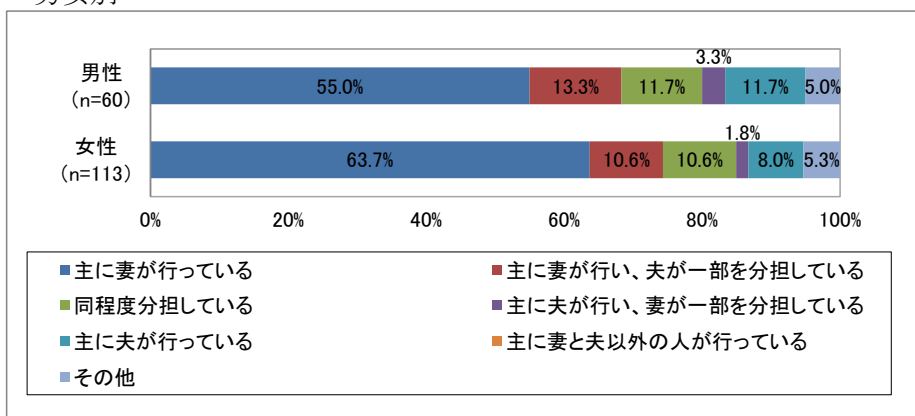
・ 男女・年齢別



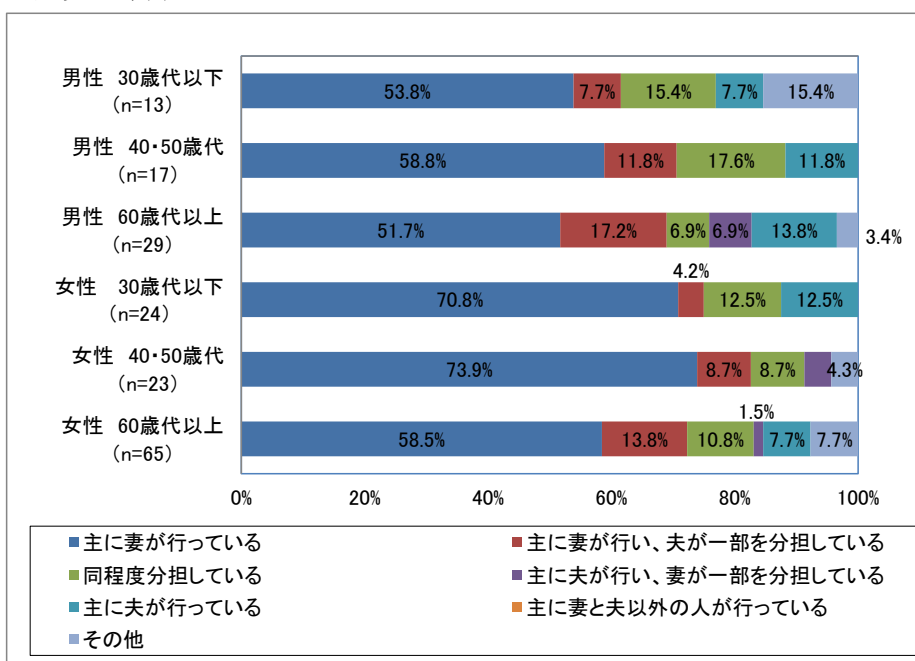
ウ 日々の家計の管理をする



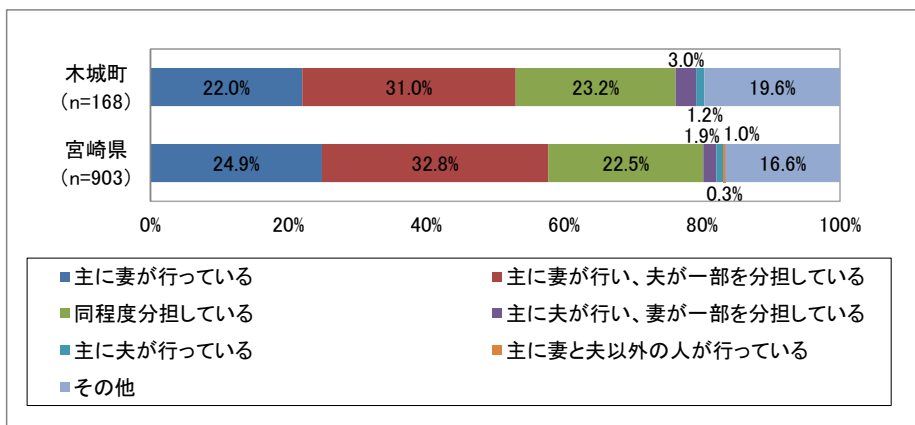
・男女別



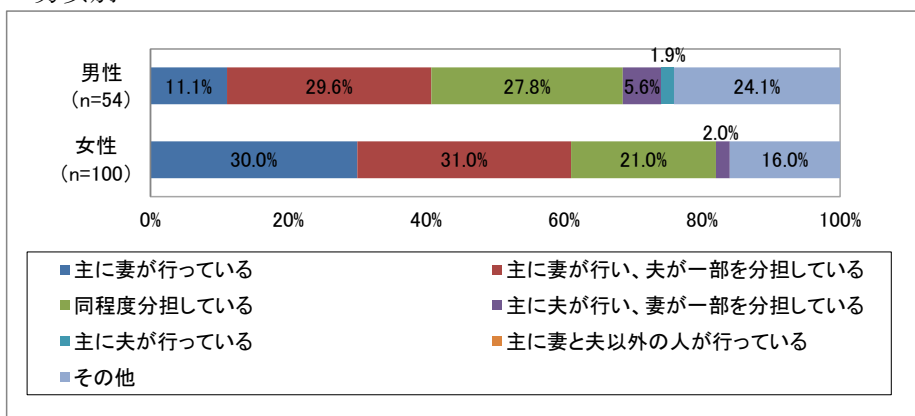
・男女・年齢別



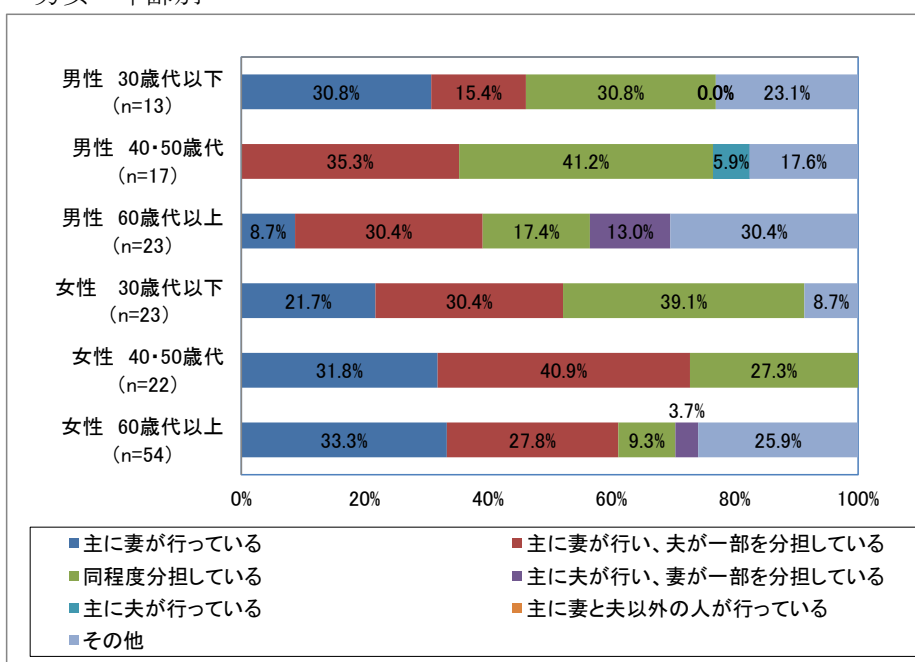
エ 育児、子どものしつけをする



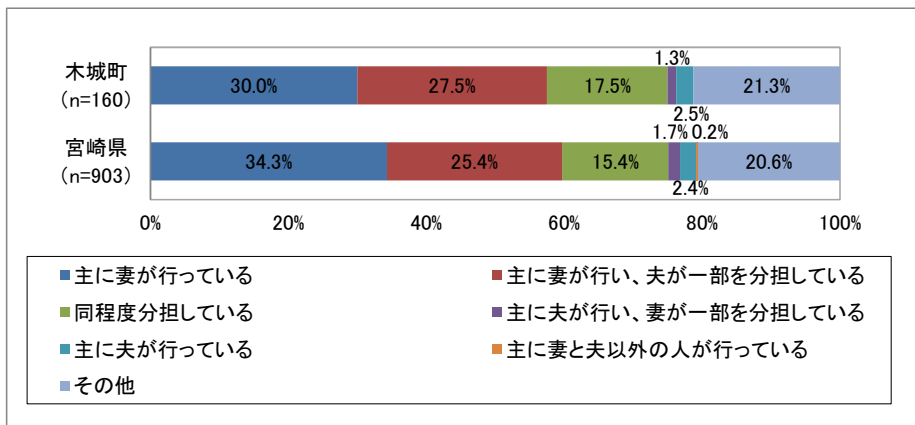
・男女別



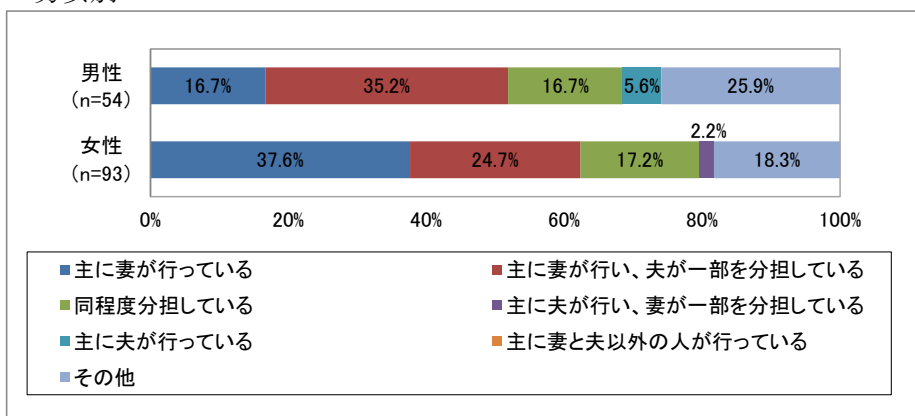
・男女・年齢別



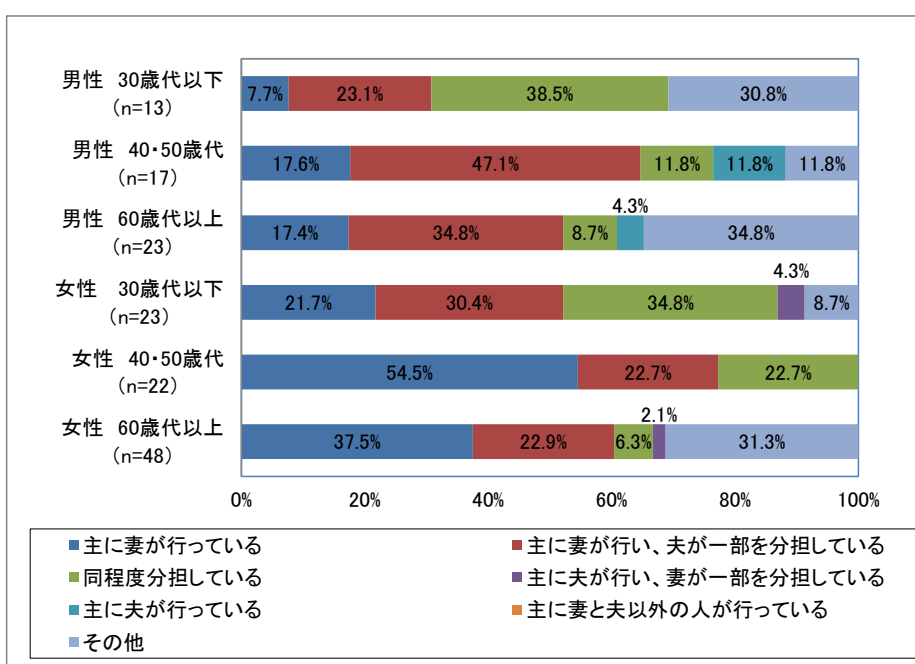
オ 学校の行事に参加する



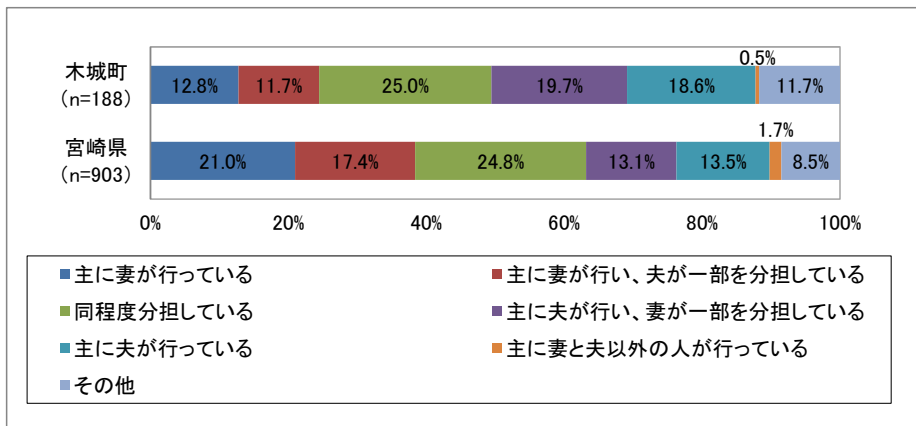
・男女別



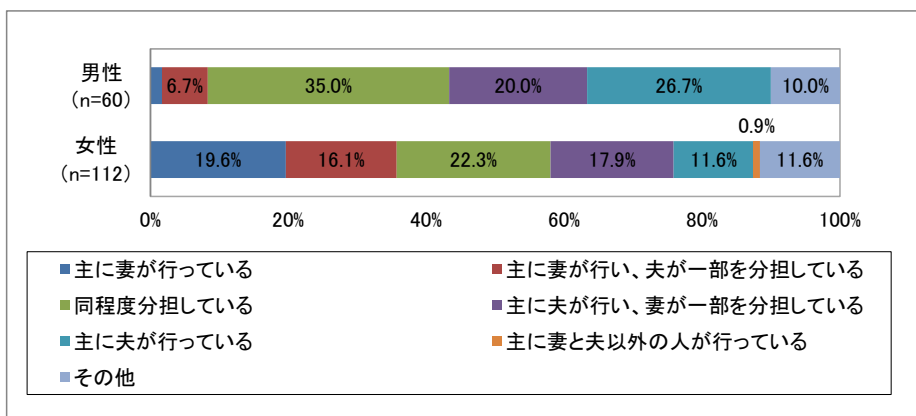
・男女・年齢別



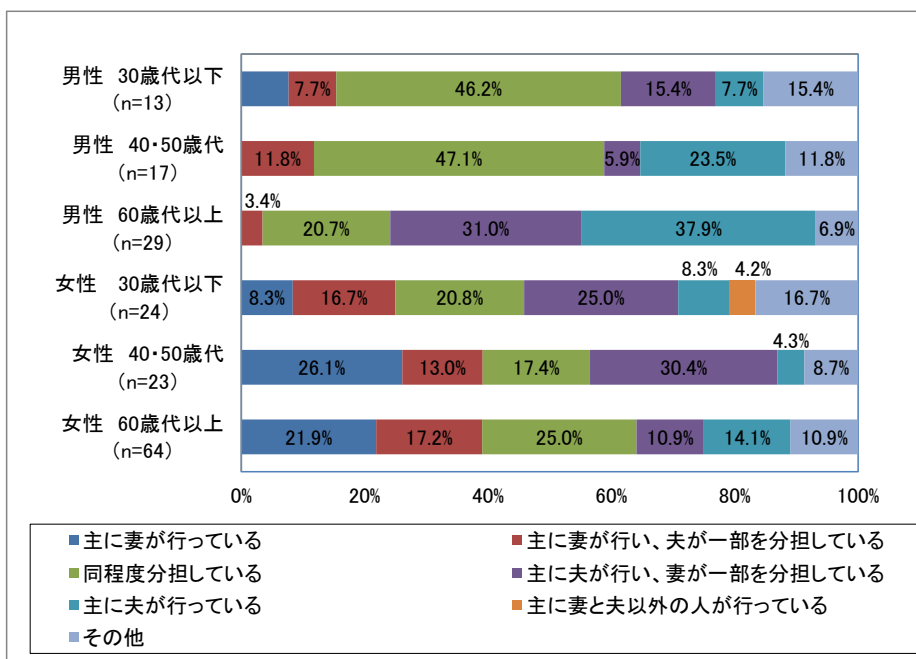
カ 地域の行事に参加する



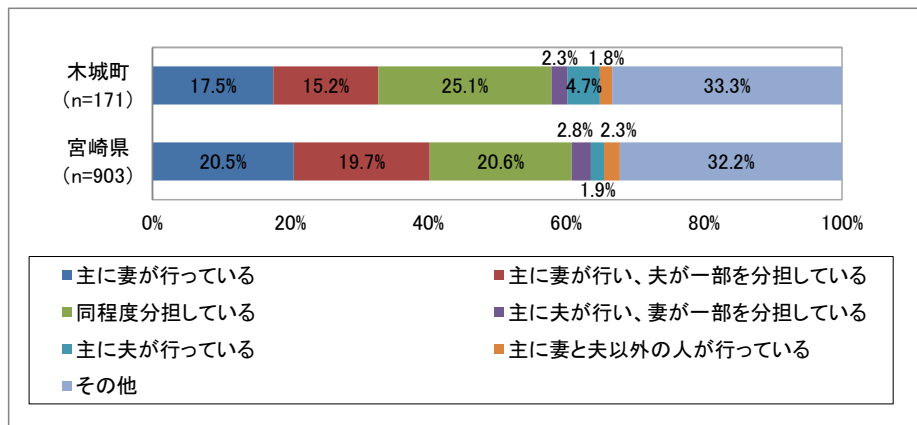
・男女別



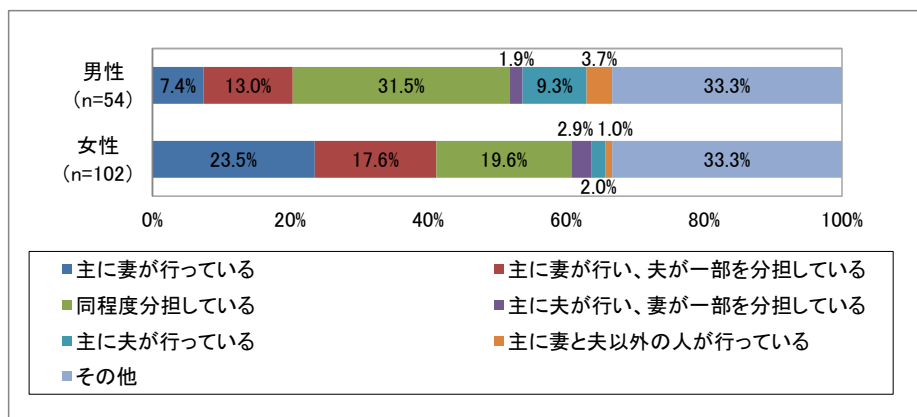
・男女・年齢別



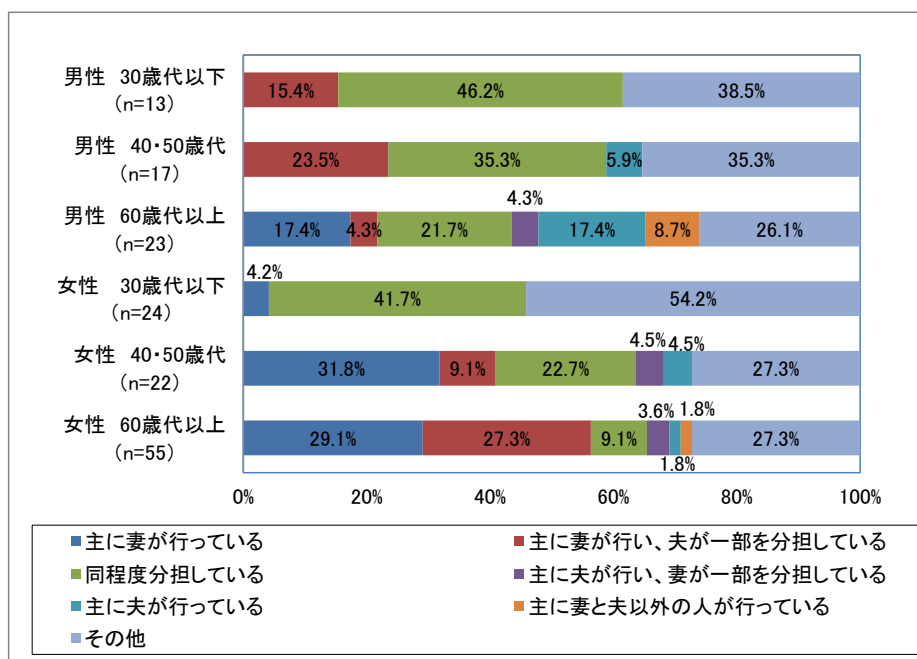
キ 親の世話・介護をする



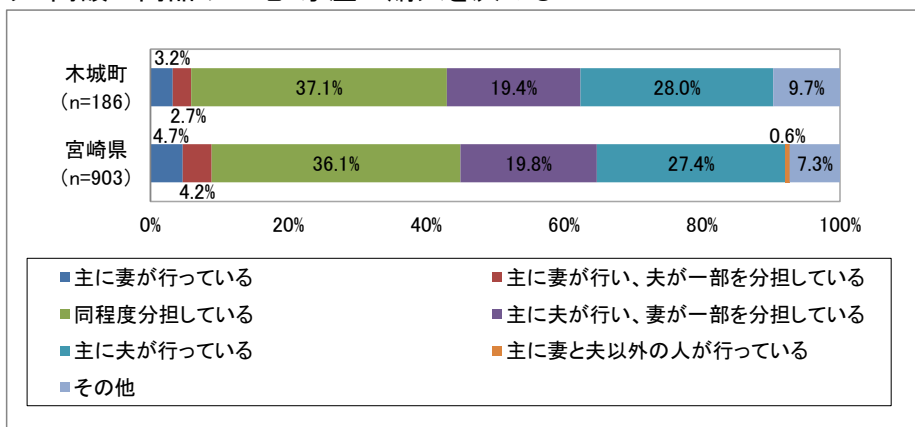
・ 男女別



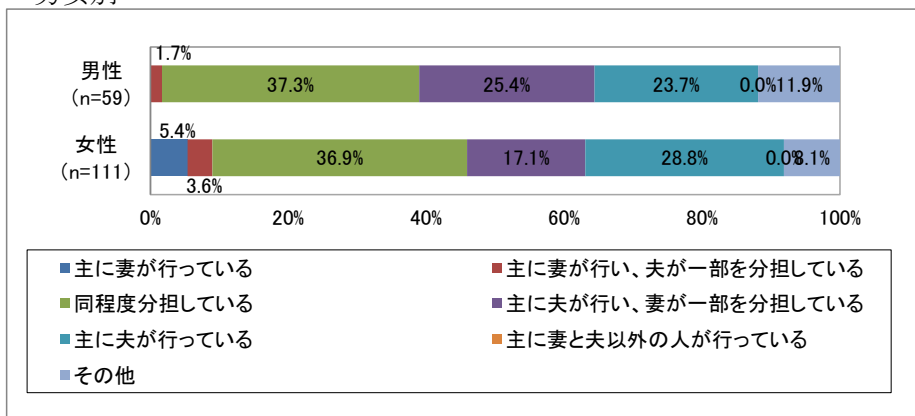
・ 男女・年齢別



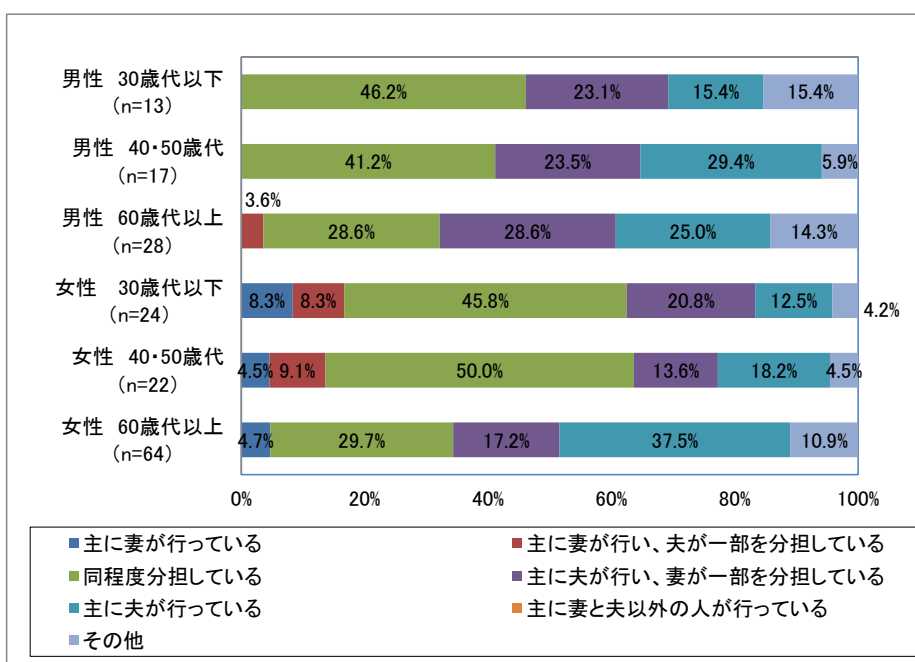
ク 高額の商品や土地・家屋の購入を決める



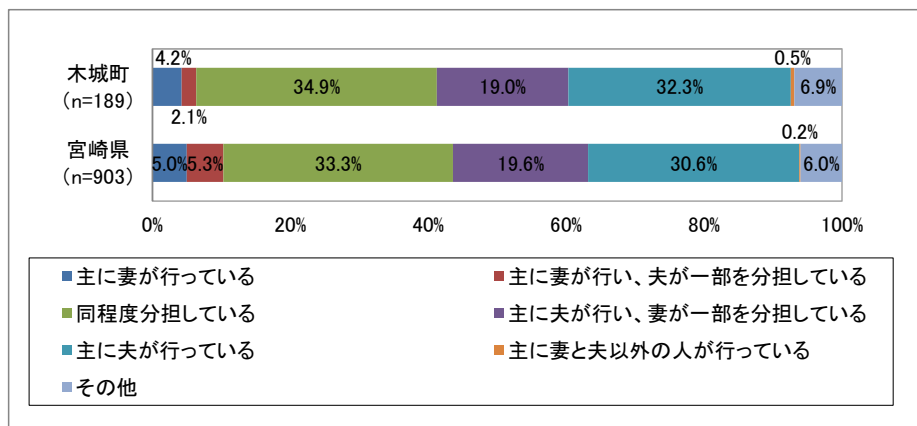
・男女別



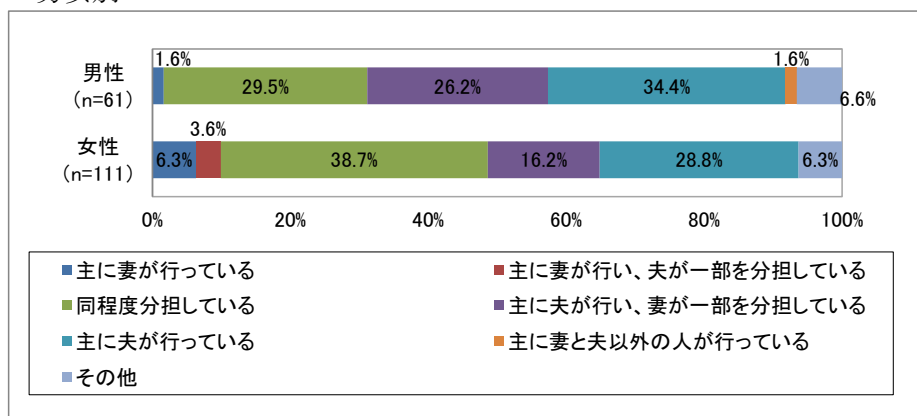
・男女・年齢別



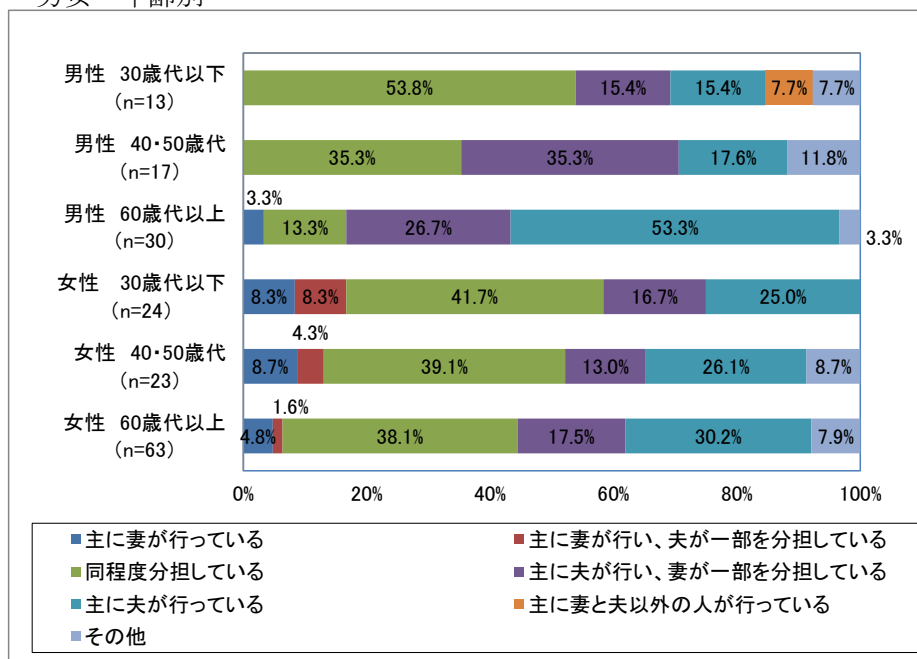
ケ 家庭の問題における最終的な決定をする



・男女別

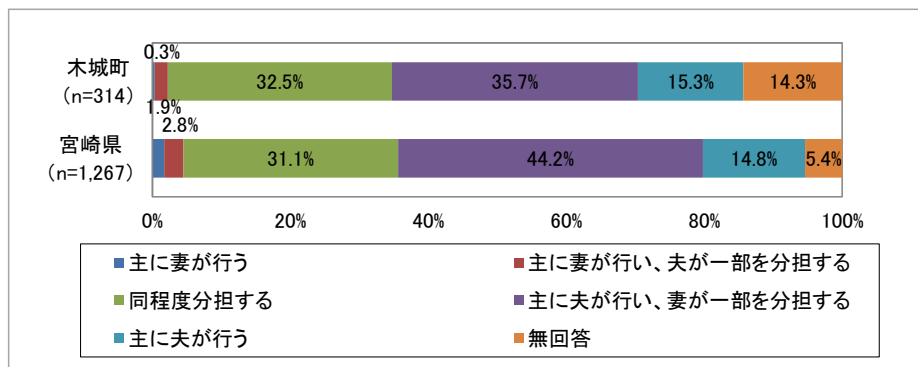


・男女・年齢別

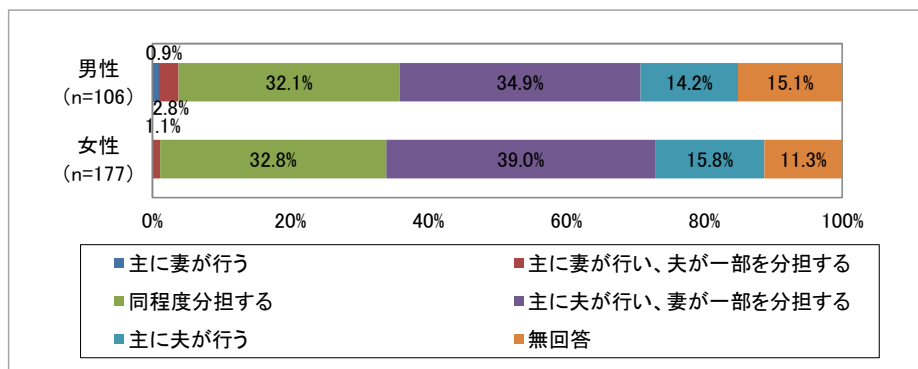


問5. 家庭生活での夫婦の理想とする役割分担をどのように考えていますか。

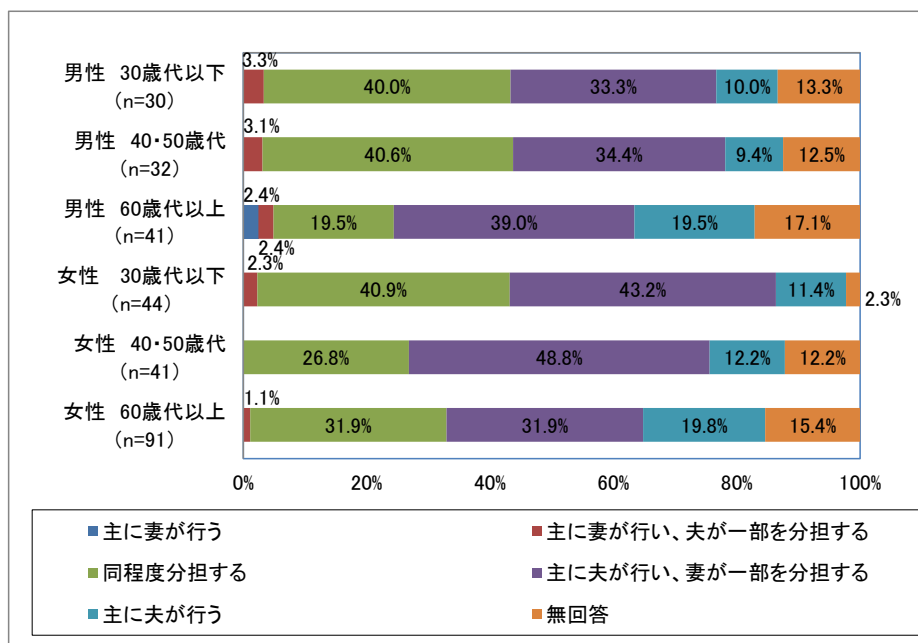
ア 家計を支える(生活費を稼ぐ)



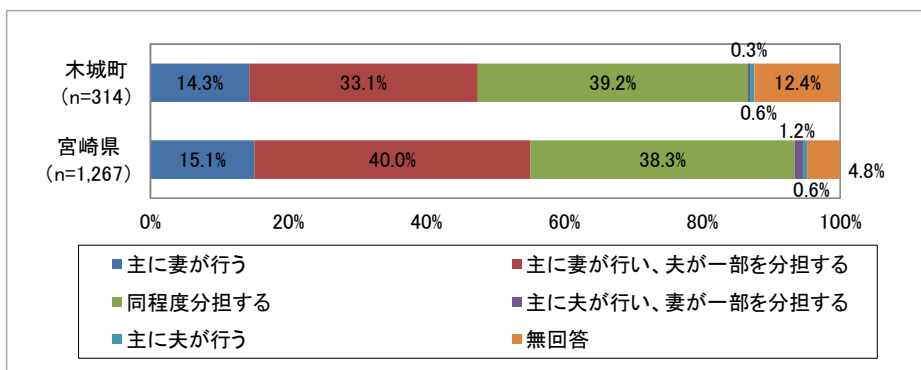
・ 男女別



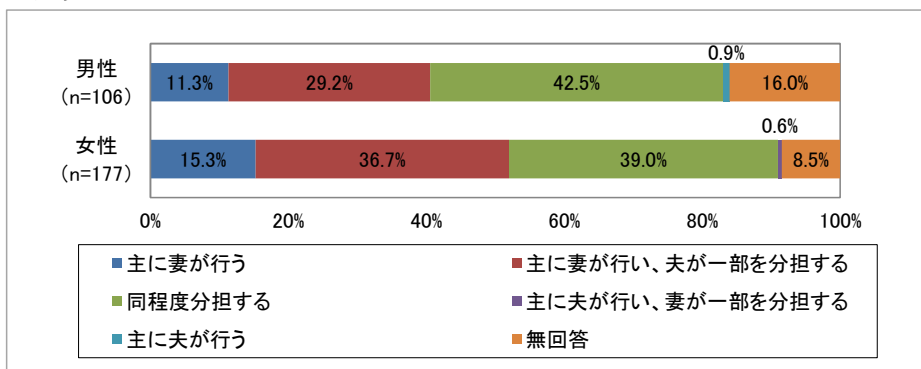
・ 男女・年齢別



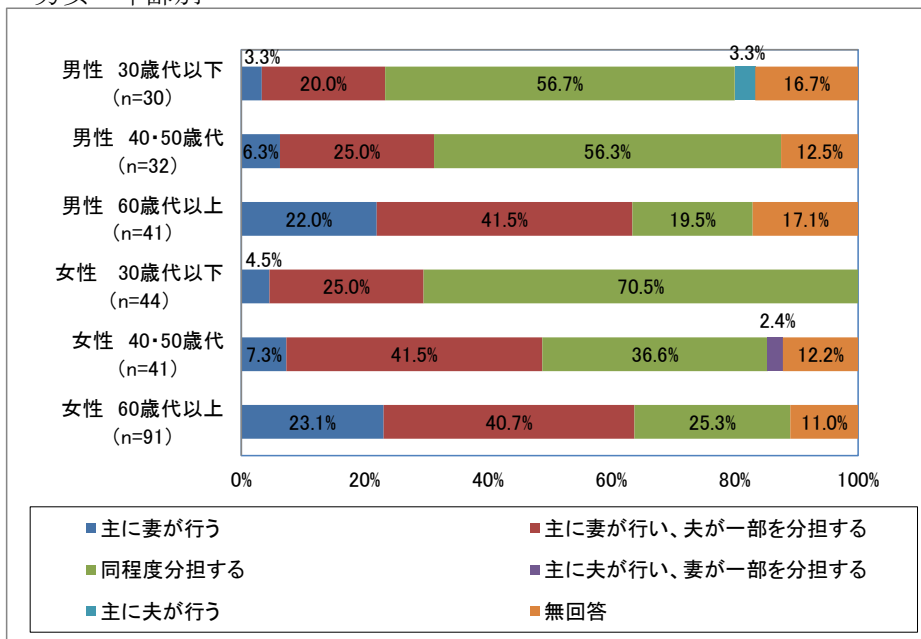
イ 掃除、洗濯、食事の支度などの家事をする



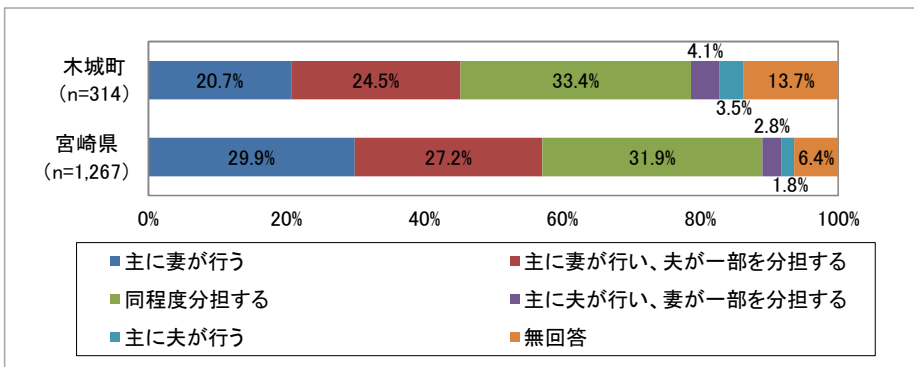
・男女別



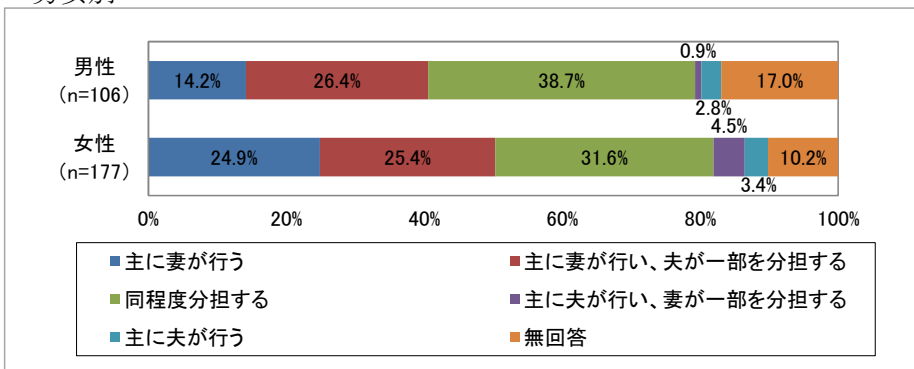
・男女・年齢別



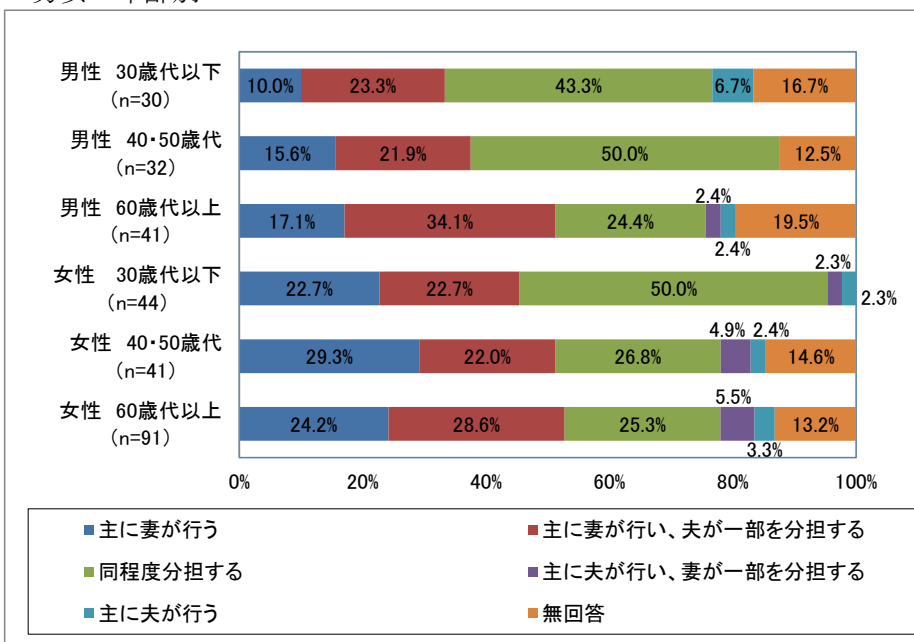
ウ 日々の家計の管理をする



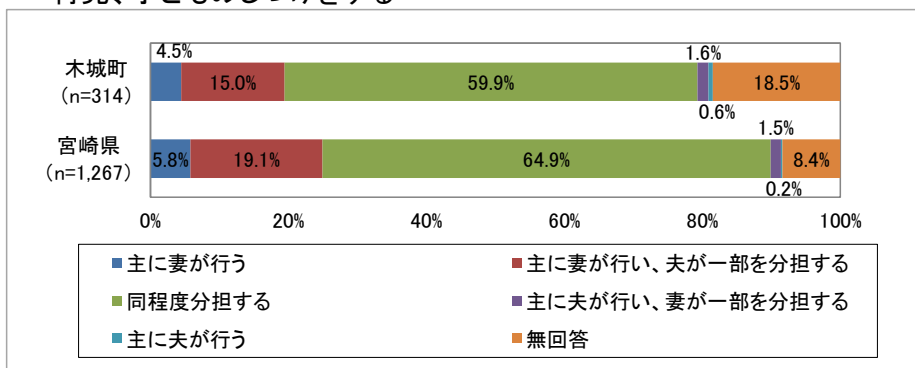
・男女別



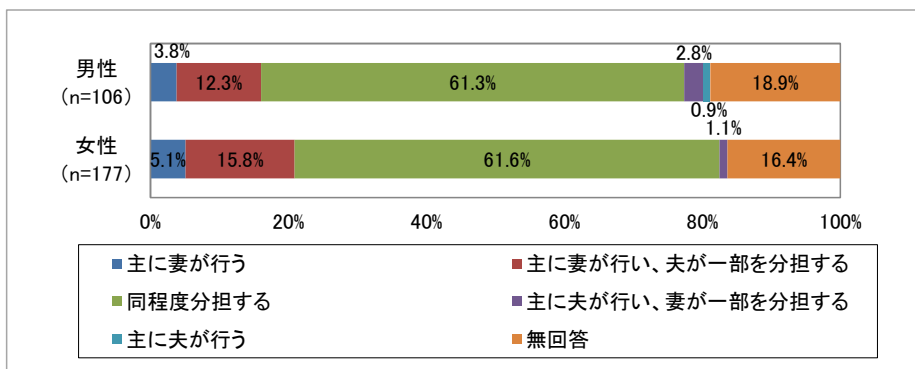
・男女・年齢別



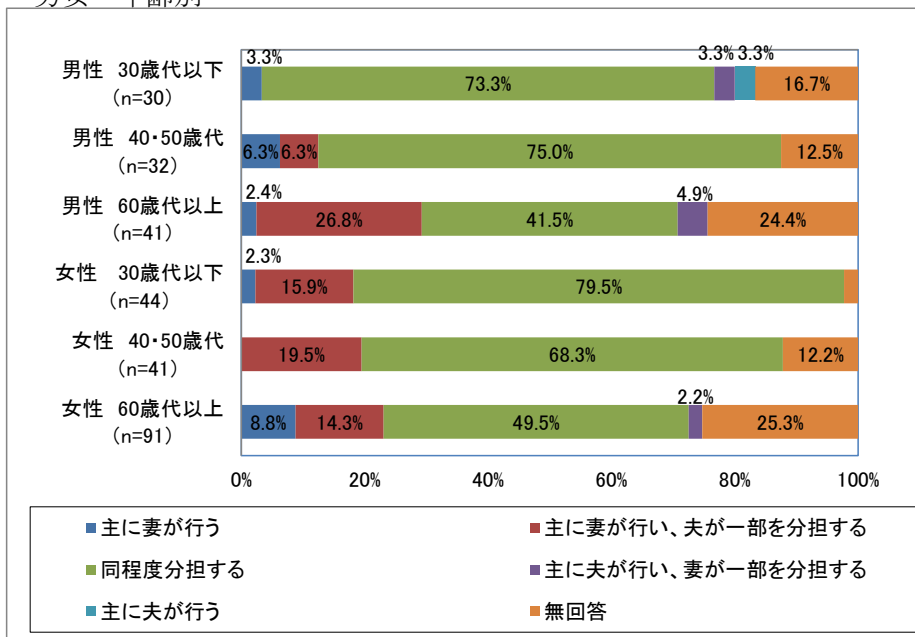
エ 育児、子どものしつけをする



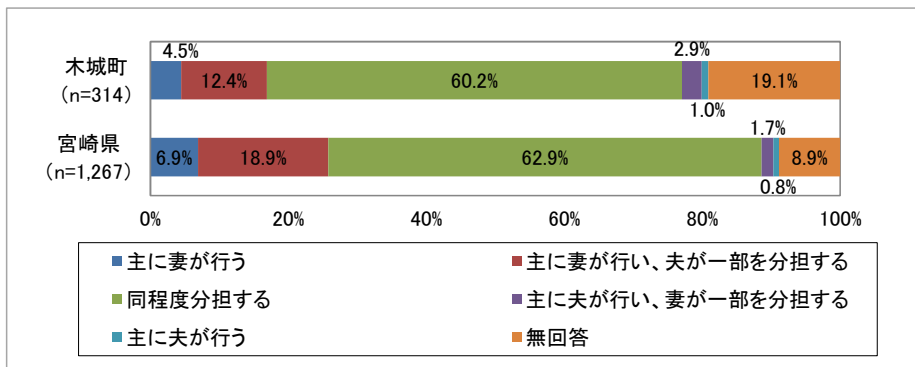
・男女別



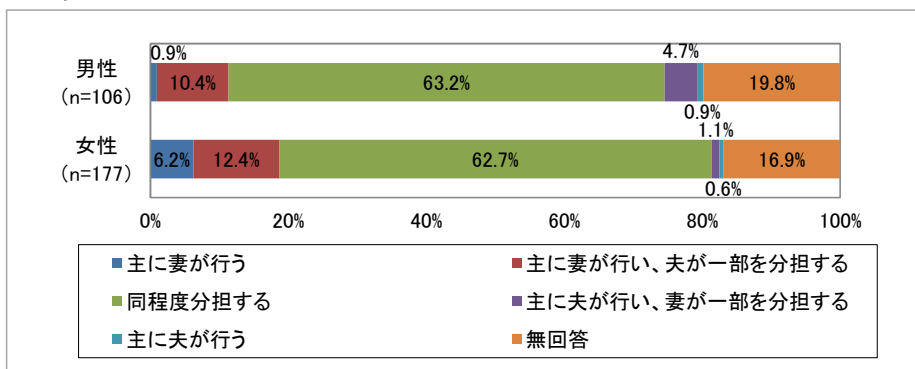
・男女・年齢別



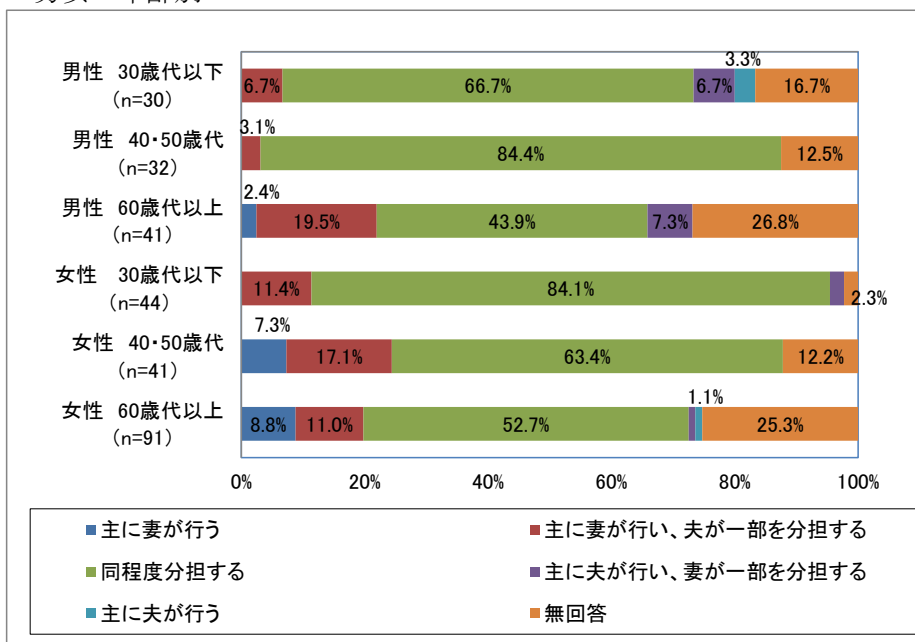
オ 学校の行事に参加する



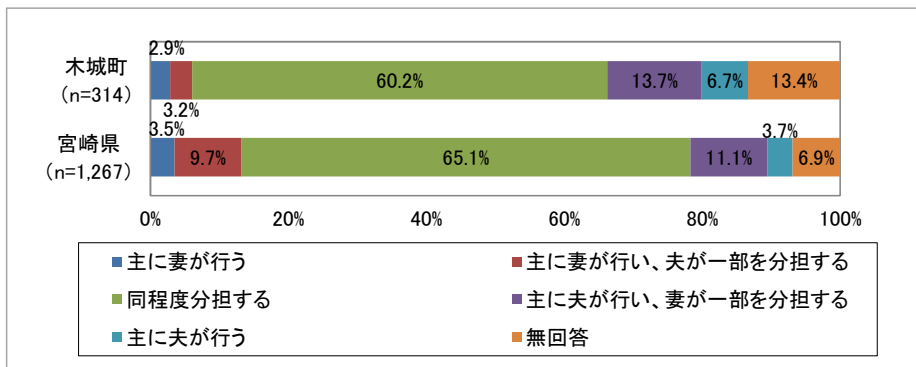
・男女別



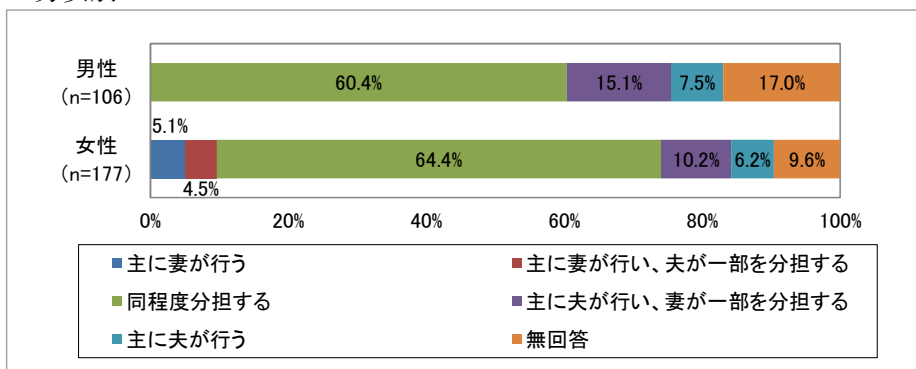
・男女・年齢別



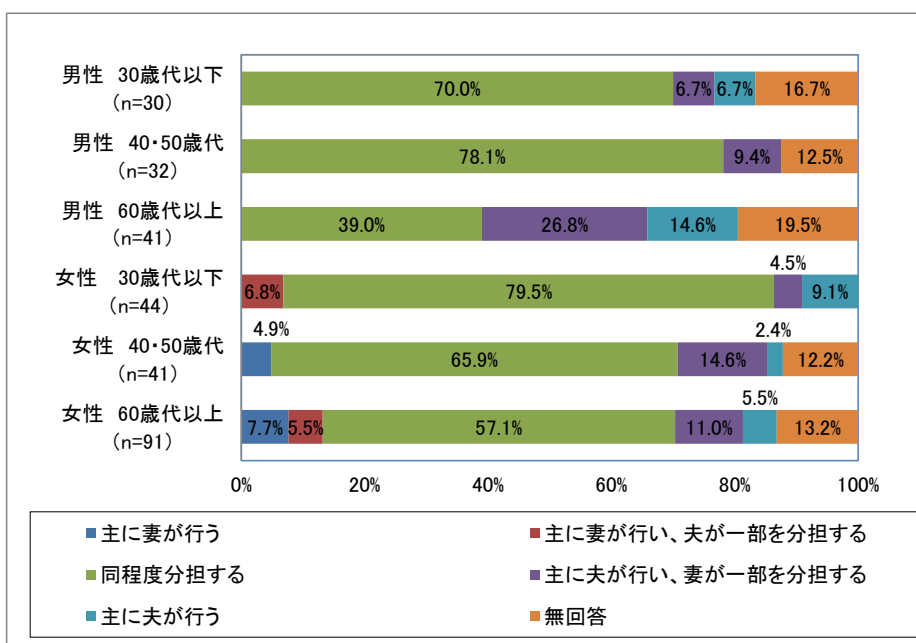
カ 地域の行事に参加する



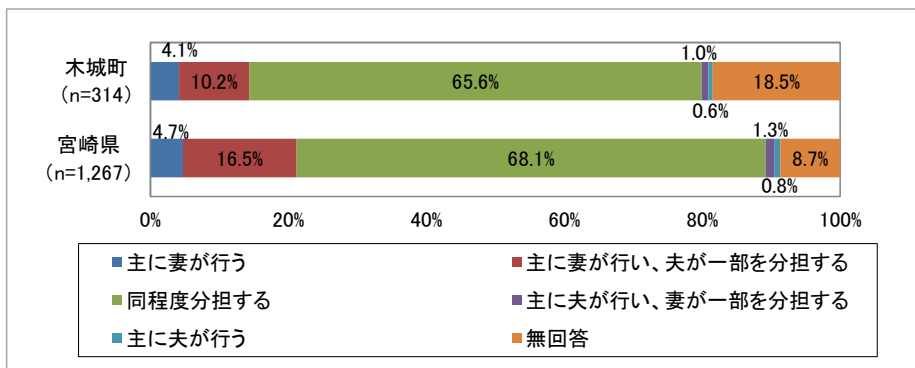
・男女別



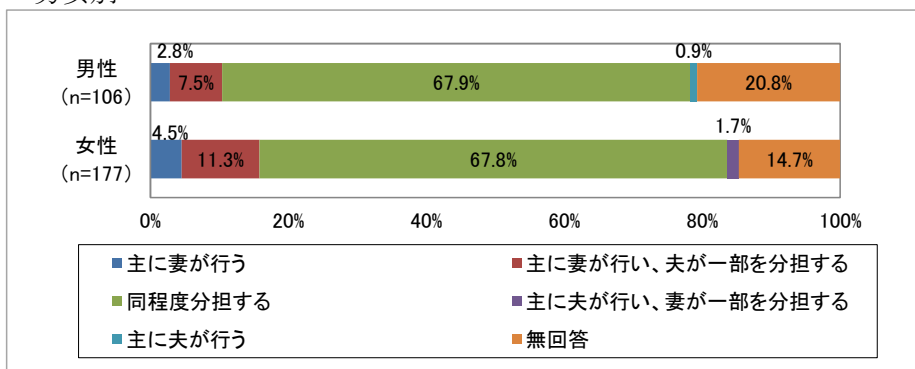
・男女・年齢別



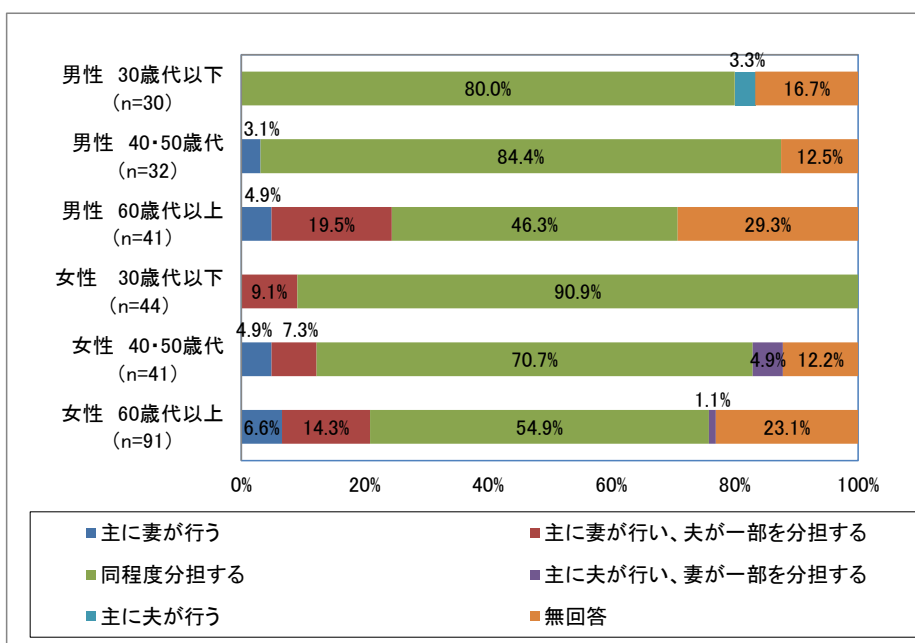
キ 親の世話・介護をする



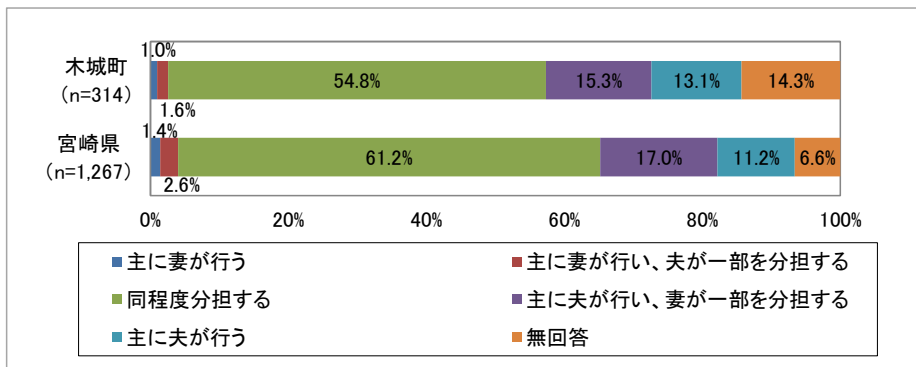
・男女別



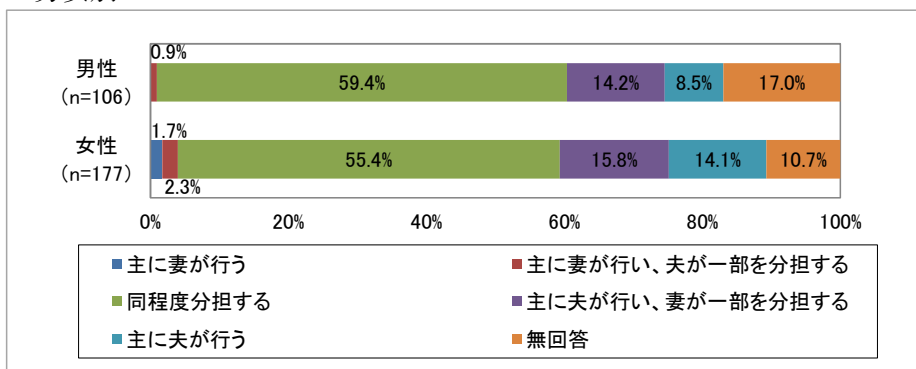
・男女・年齢別



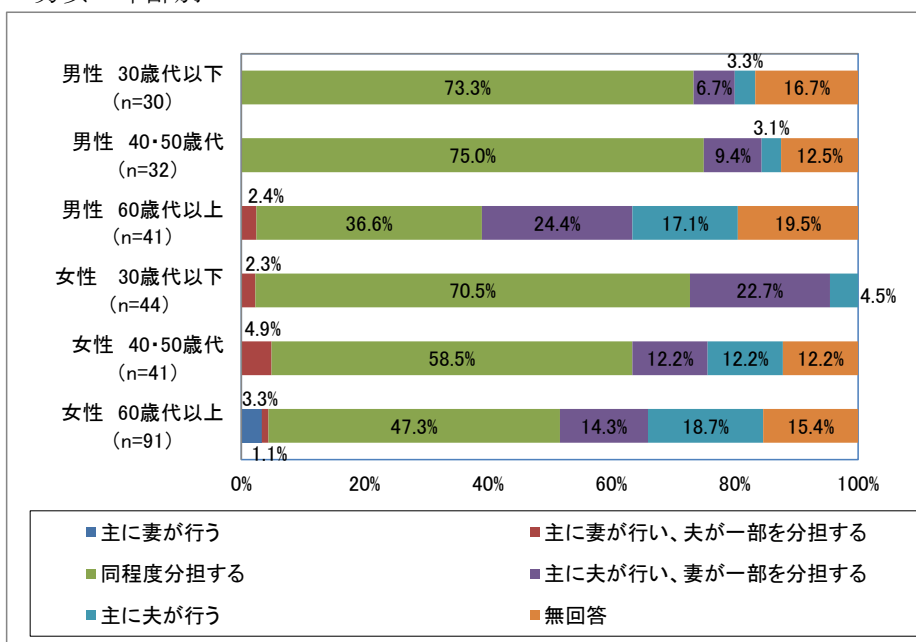
ク 高額の商品や土地・家屋の購入を決める



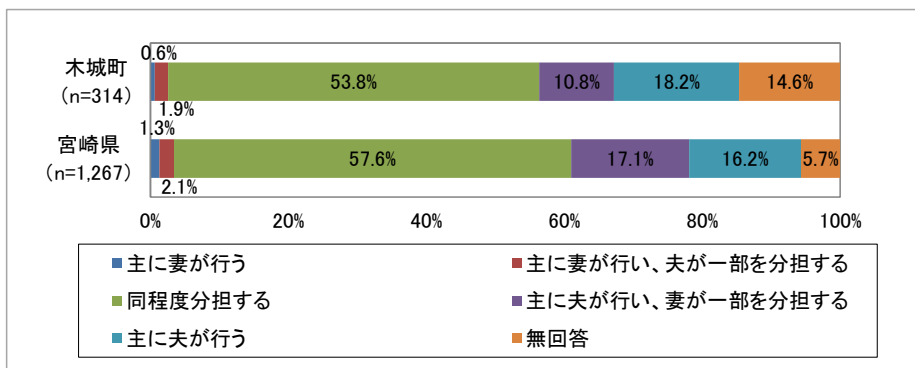
・男女別



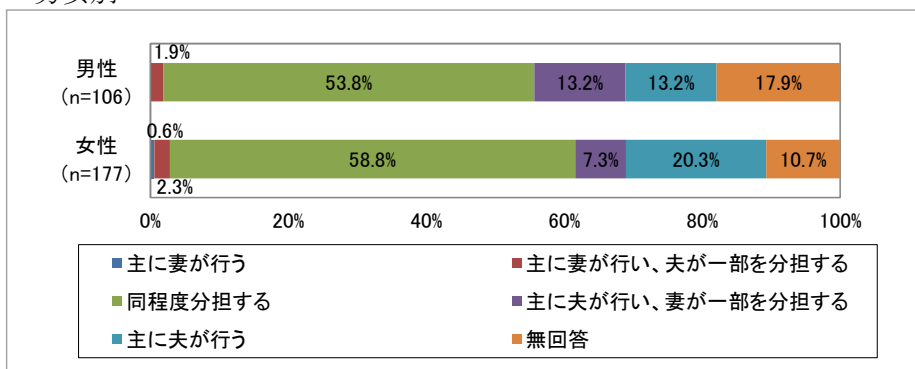
・男女・年齢別



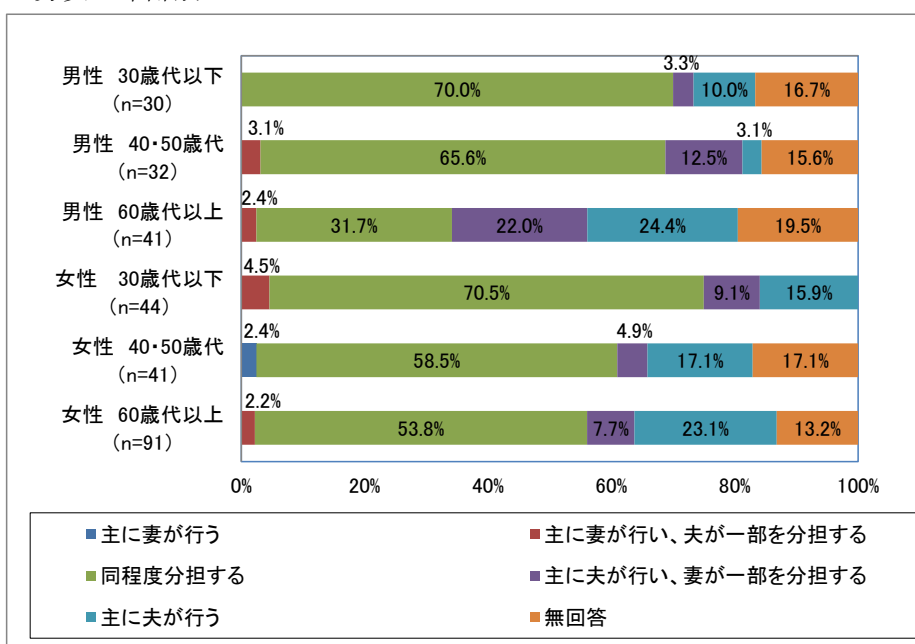
ケ 家庭の問題における最終的な決定をする



・男女別

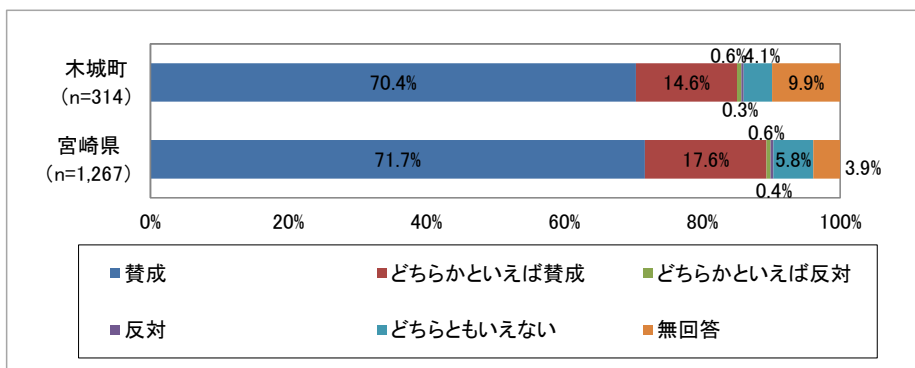


・男女・年齢別

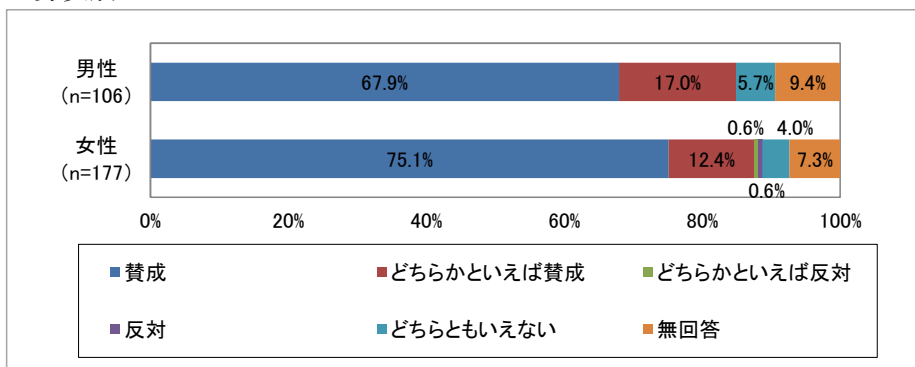


問6. あなたは、子どものしつけや教育について、どのように考えていますか。

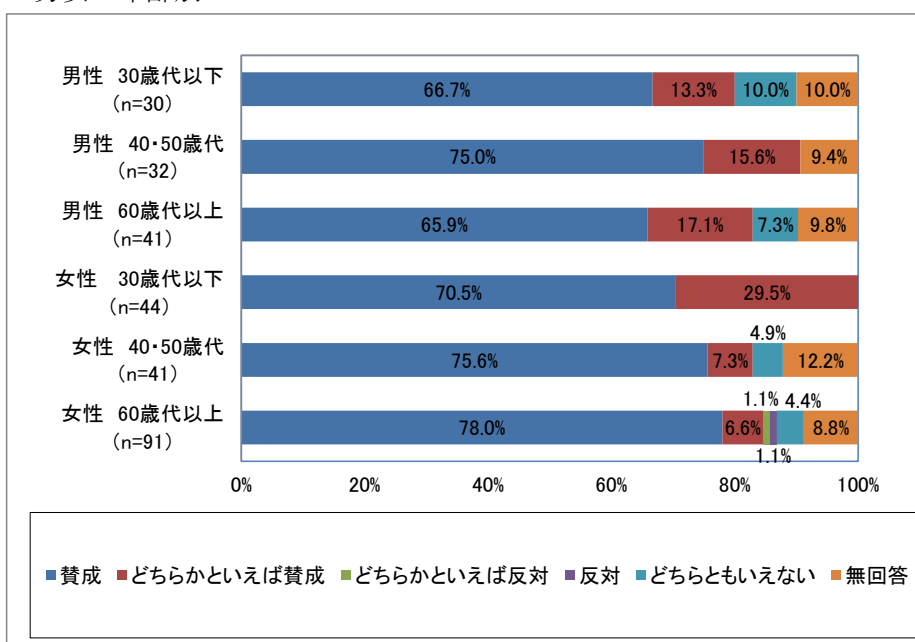
ア 女の子も男の子も同様に経済的に自立できるよう職業人としての教育が必要



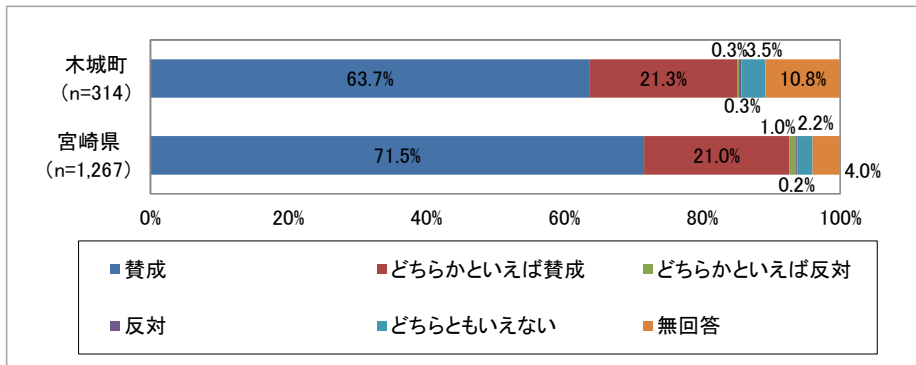
・男女別



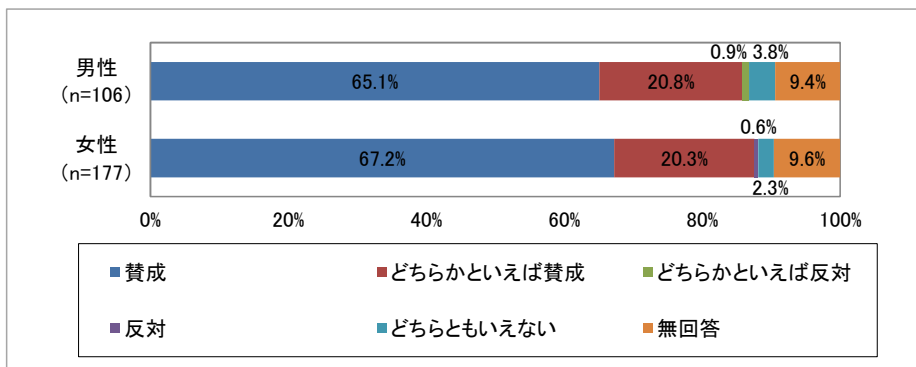
・男女・年齢別



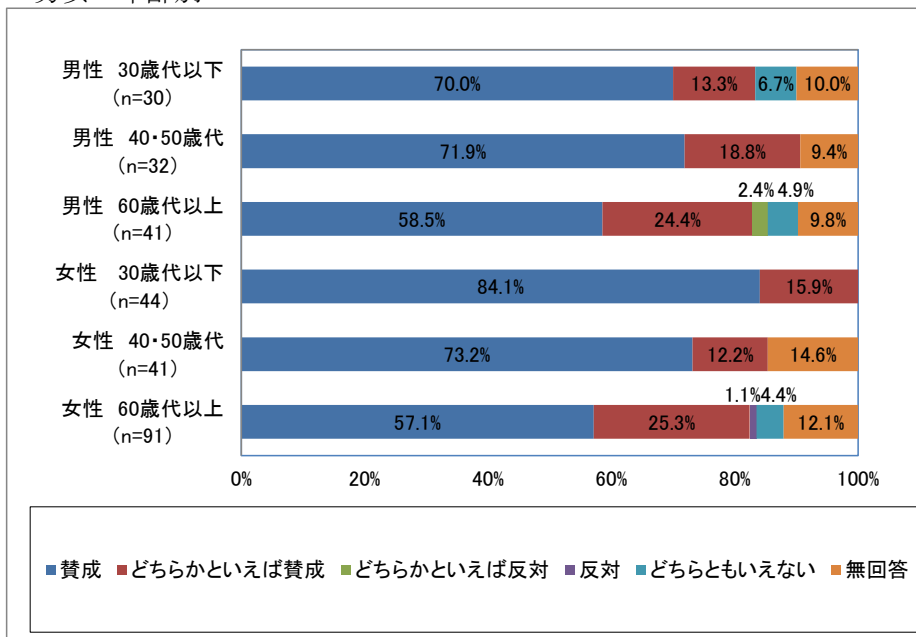
イ 男の子も女の子も炊事・掃除・洗濯など、生活に必要な技術を身につけさせる方がよい



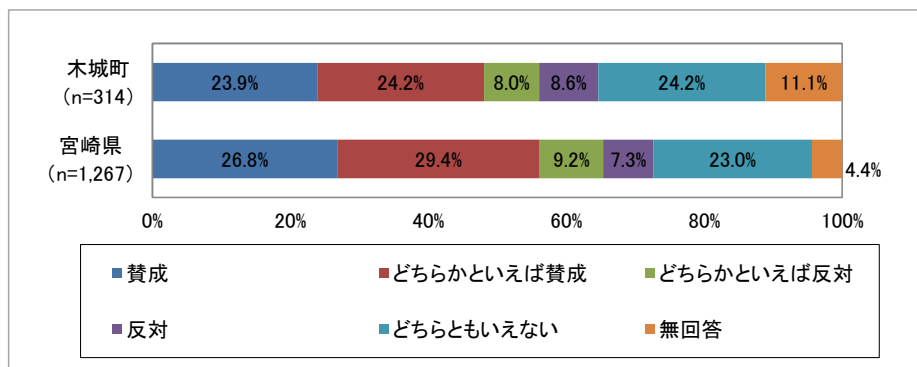
・男女別



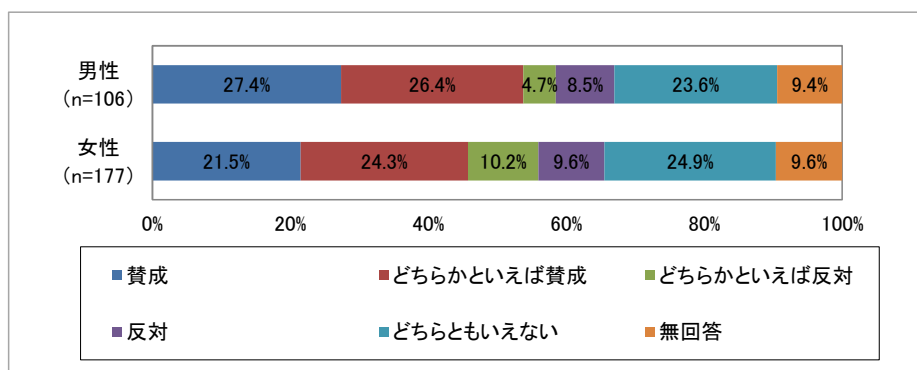
・男女・年齢別



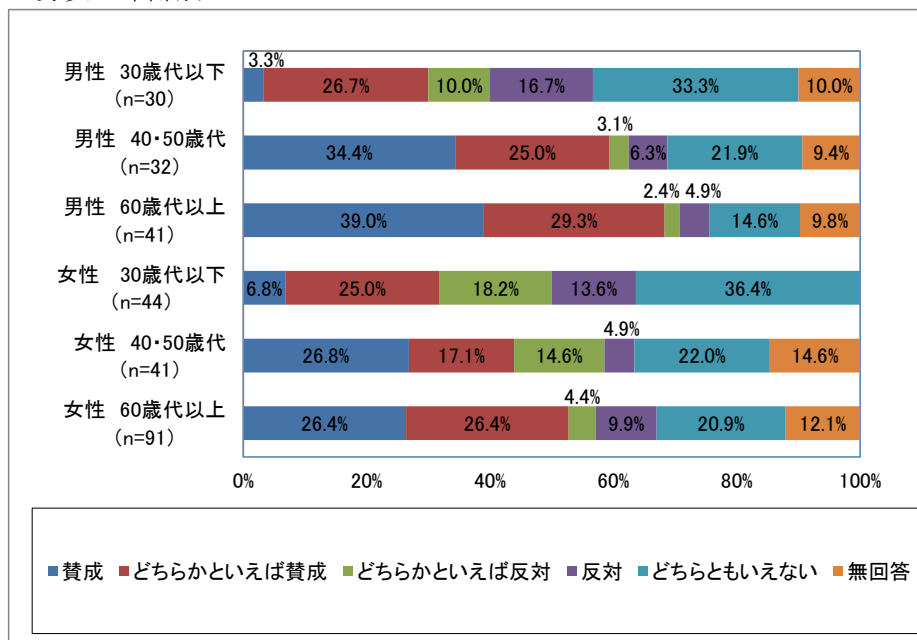
ウ 男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てた方がよい



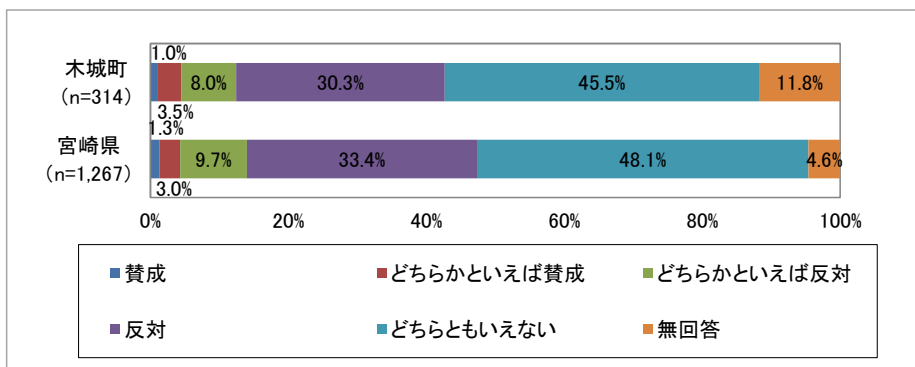
・男女別



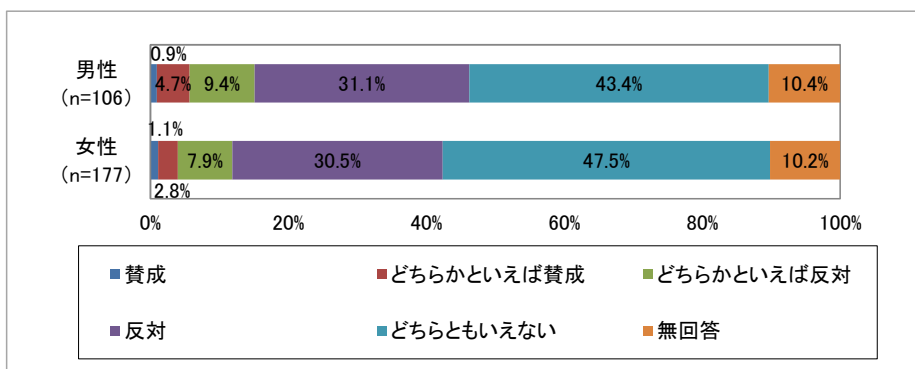
・男女・年齢別



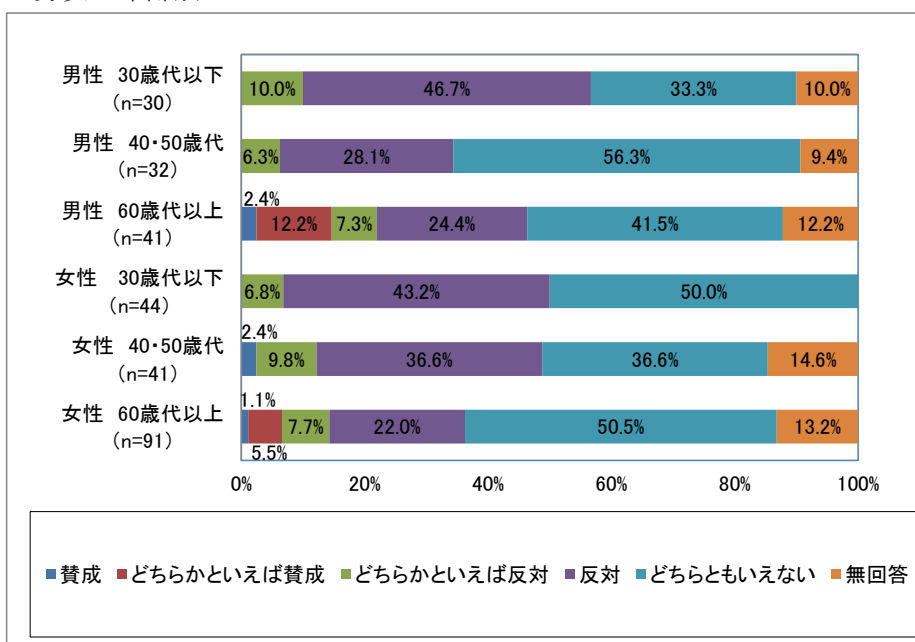
エ 男の子は理科系、女の子は文化系に進んだ方がよい



・男女別



・男女・年齢別



3. 就業について

(1)働いている理由(問7)(P57) ※現在働いている人

- ・「生計を維持するため」の割合が最も高く、7割となっている。女性では「家計の足しにするため」の割合(40.2%)が男性(18.7%)よりも高い。

(2)仕事と家庭生活・地域活動のバランス(問8～問10)(P59～63) ※現在働いている人

①現状(問8)(P59)

- ・仕事を優先させている人が50.8%であり、特に男性はその割合が大きくなっている。

②希望(問9)(P61)

- ・男女とも仕事と家庭生活・仕事を両立させたいと思っている人が3分の1程度となっている。

③両立のために必要な対策(問10)(P63)

- ・第1位は「労働時間の短縮及び休暇制度の充実・普及」(37.3%)で、次いで「育児休業・介護休業制度を利用しやすい職場環境の整備(代替要員の確保など)」(36.0%)となっている。このことは、男女別でもほぼ同じ傾向を示している。

(3)女性の就業(問11)(P66～74)

①希望(問11)(P66)

- ・「子どもができて、ずっと仕事を続ける方がよい」(43.0%)、「子どもができたなら仕事を辞め、子育てが終わったら再び持つ方がよい」(31.8%)の割合が高い。
- ・また、この考え方は男女ともほぼ同じとなっている。

②現状(問12)(P68) ※現在働いている人

ア. 募集・採用 : 男女とも「平等」と思っている人の割合が高い。

イ. 賃金・給与 : 男性は「平等」と思っているが45.3%であるが、女性は「男性優遇」と思っている人(「男性の方が非常に優遇」と「どちらかといえば男性が優遇」の計…以下同じ)が33.7%で男女間に差がある。

ウ. 仕事の内容 : 「平等」が男女ともほぼ同じ割合になっている。

エ. 昇進・昇格 : 「男性優遇」と思っている人が34.6%となっている。

オ. 能力評価 : 「平等」と思っている人の割合は4割となっている。

カ. 研修の機会や内容 : 男女とも約半数が「平等」と回答している。

キ. 育児・介護休暇の取りやすさ : 「女性優遇」と思っている人(「女性の方が非常に優遇」と「どちらかといえば女性が優遇」の計…以下同じ)が32.4%となっており(県は34.1%)、「平等」は26.7%(県は29.4%)である。

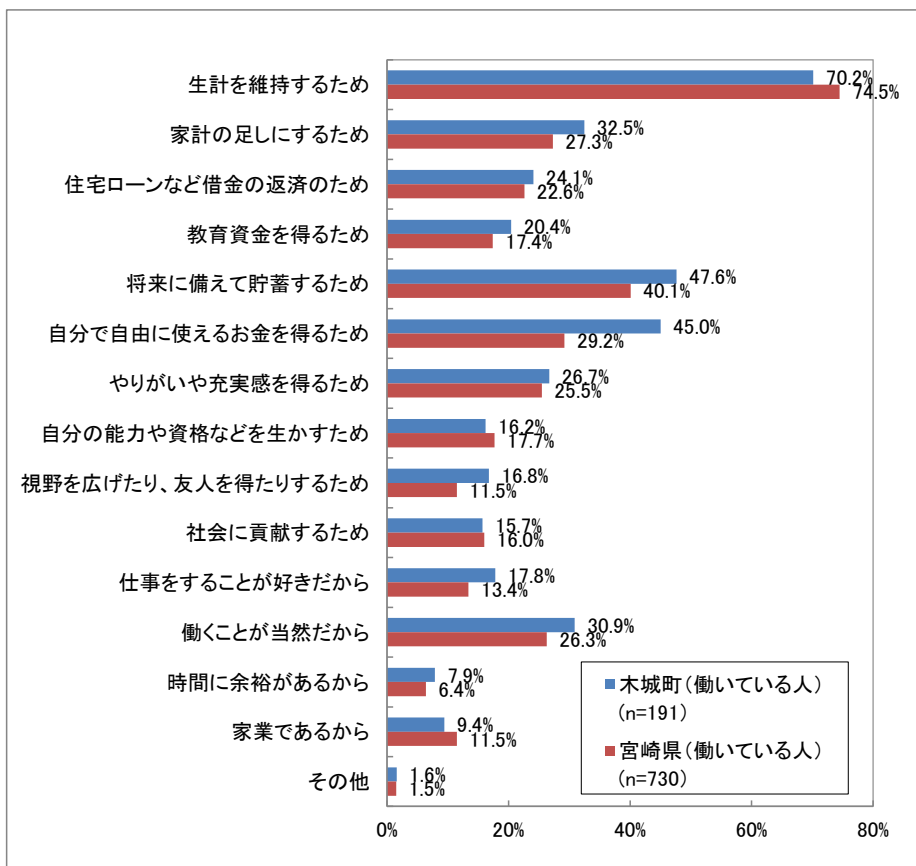
③女性が結婚・出産後も就業するために必要な対策(問13)(P75)

- ・第1位は「残業や休日出勤ができないことで不利益な扱いをしない」(43.9%)、次いで「家族や夫の理解・協力」(40.1%)となっている。
- ・女性では、「残業や休日出勤ができないことで不利益な扱いをしない」(47.5%)、「家族や夫の理解・協力」(45.2%)の割合が高い。
- ・なお、県は「育児休業や短時間制度などの仕事と家庭の両立ができる制度を充実する」「結婚・出産・介護などの都合でいったん退職した女性のための再雇用制度を普及、促進する」の2つがそれぞれ6割を超えており、他の項目よりも高いのが目立つ。

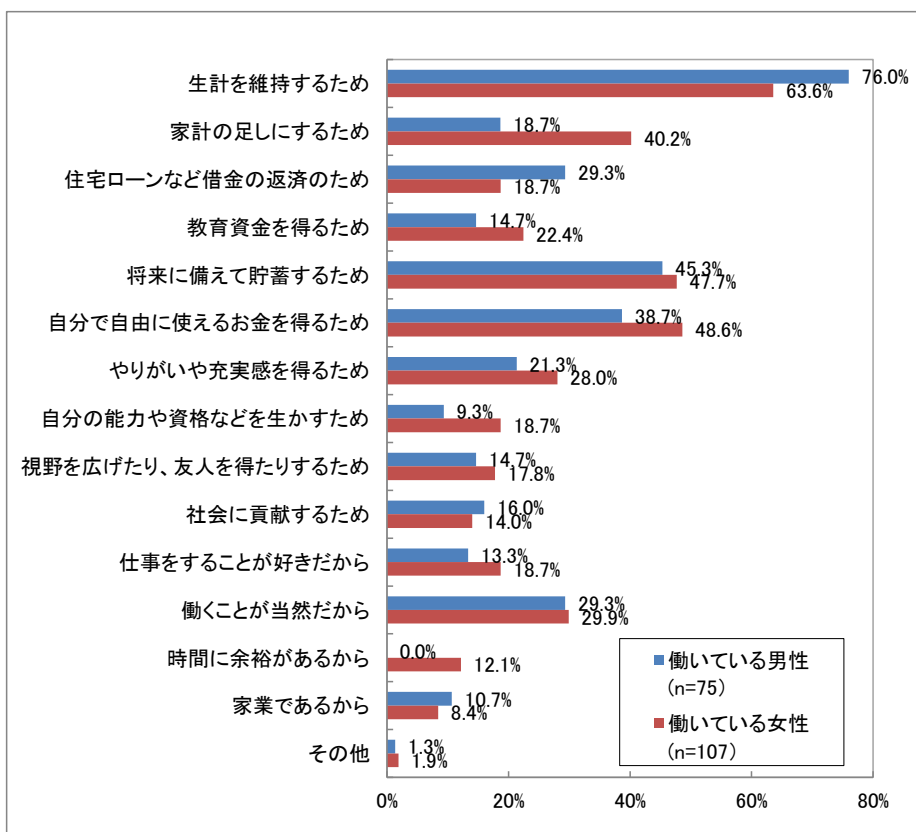
(4)男性の育児休業取得率の低い理由(問14)(P78)

- ・男女とも「職場に取りやすい雰囲気がないから」が4割を超えている。また、理由の傾向は県とほぼ同じ結果となっている。

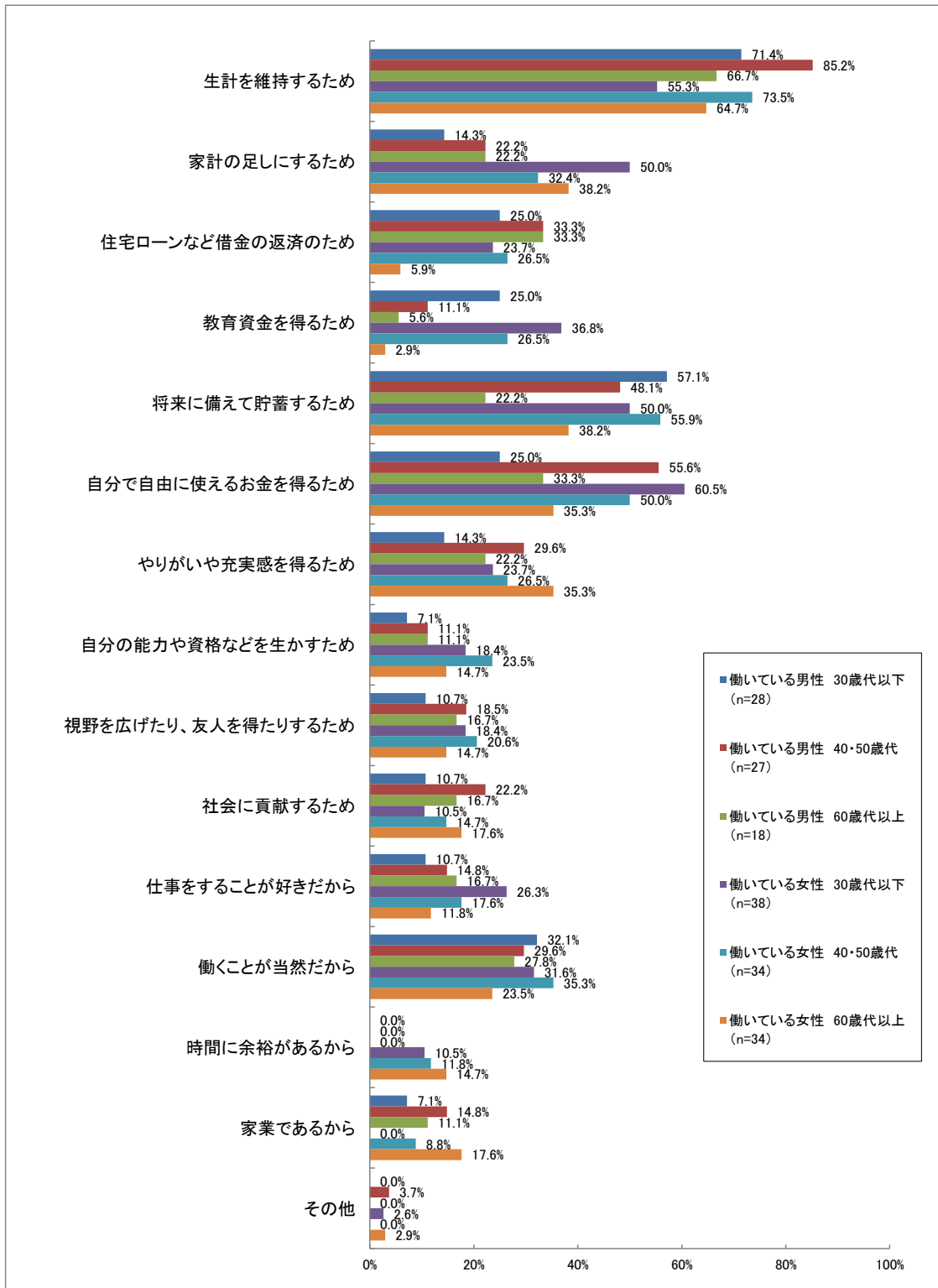
問7. あなたが働いている理由を教えてください。(現在働いている人)



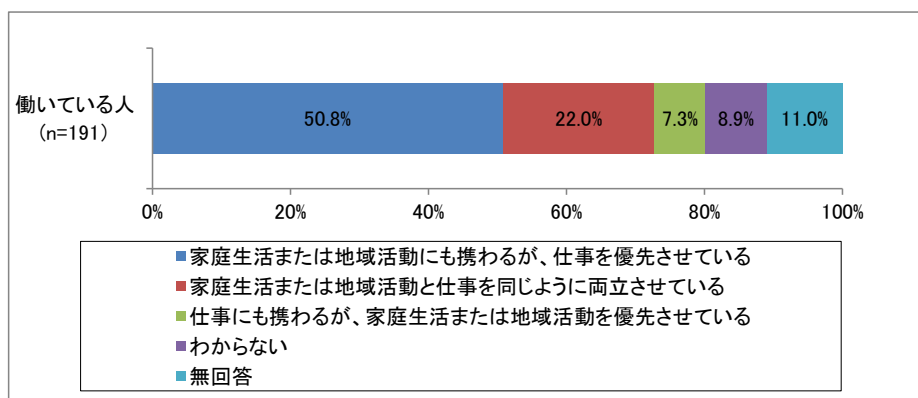
・男女別



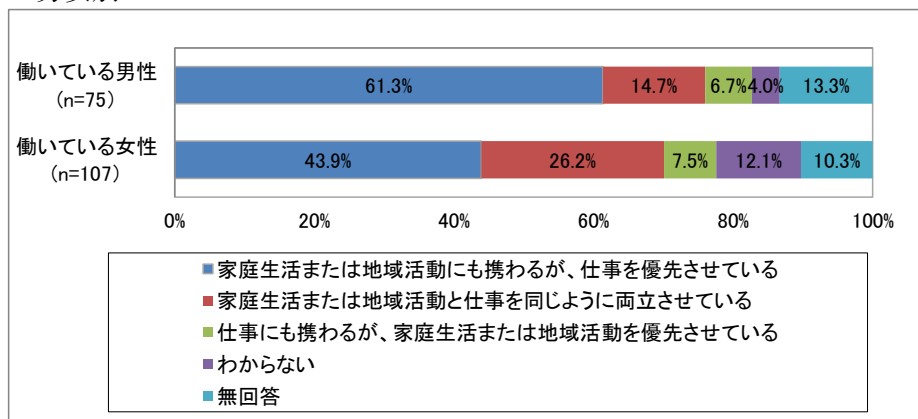
・男女・年齢別



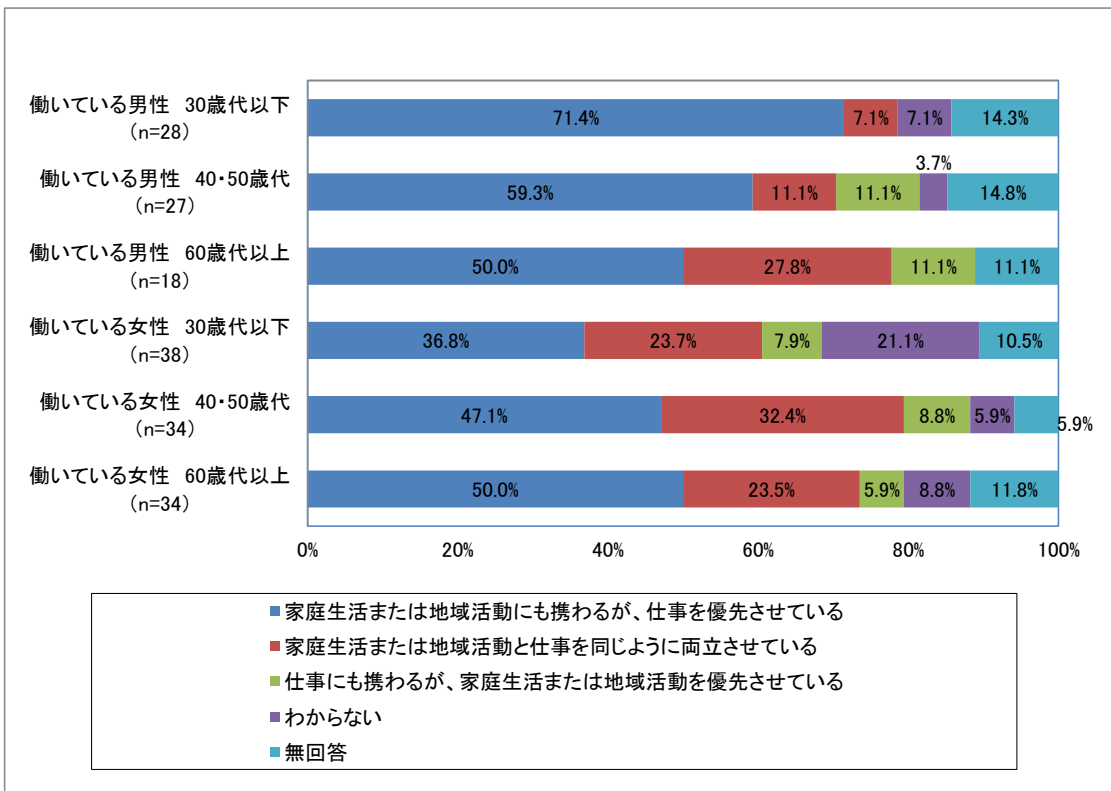
問8. 現在の仕事と家庭生活・地域活動のバランスを教えてください。(現在働いている人)



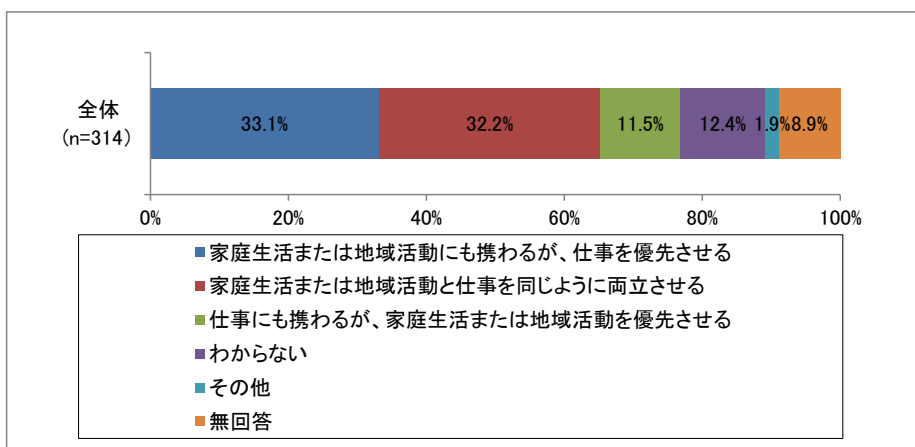
・男女別



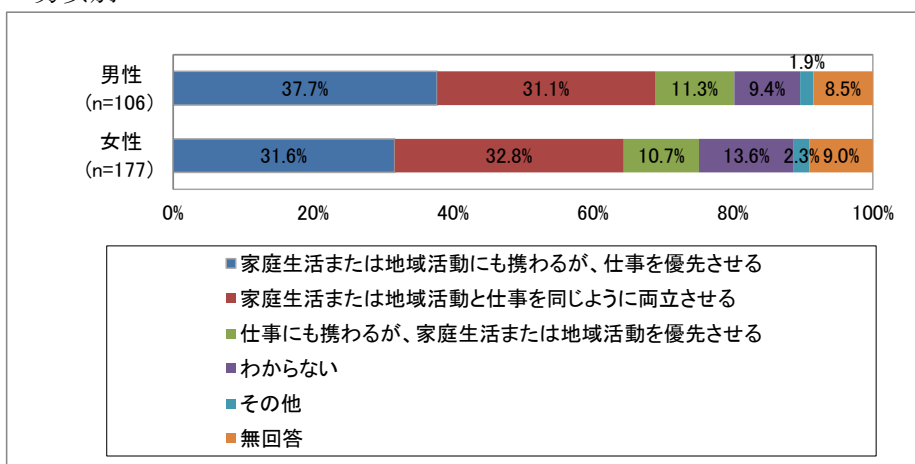
・男女・年齢別



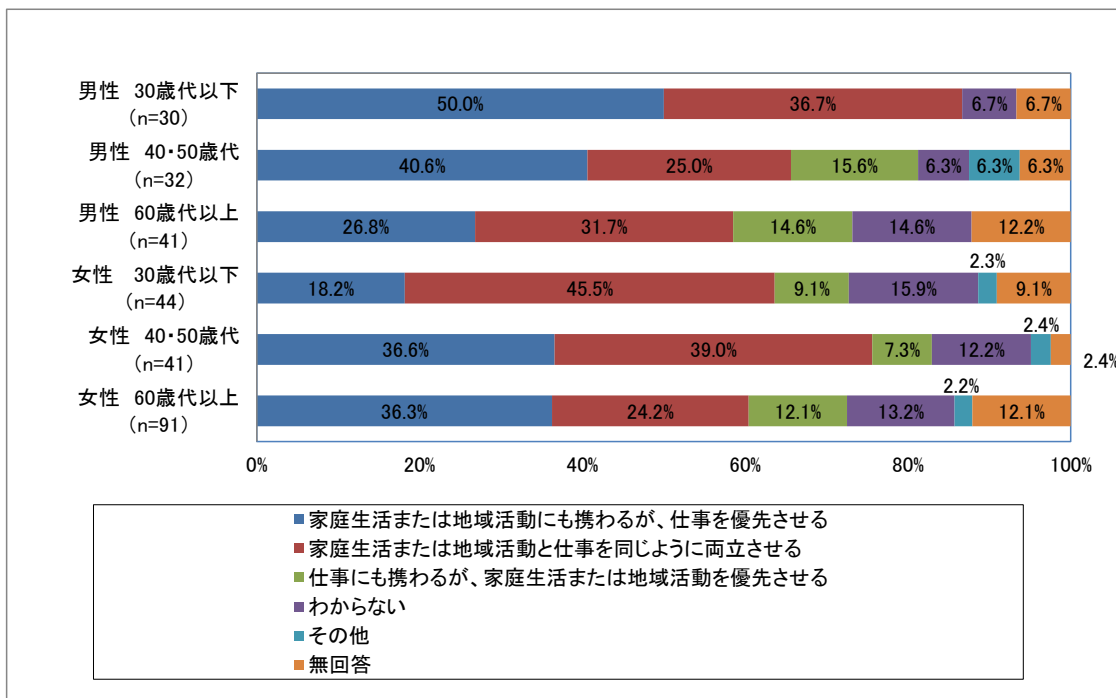
問9. 仕事と家庭生活・地域活動のバランスで望ましいものを教えてください。



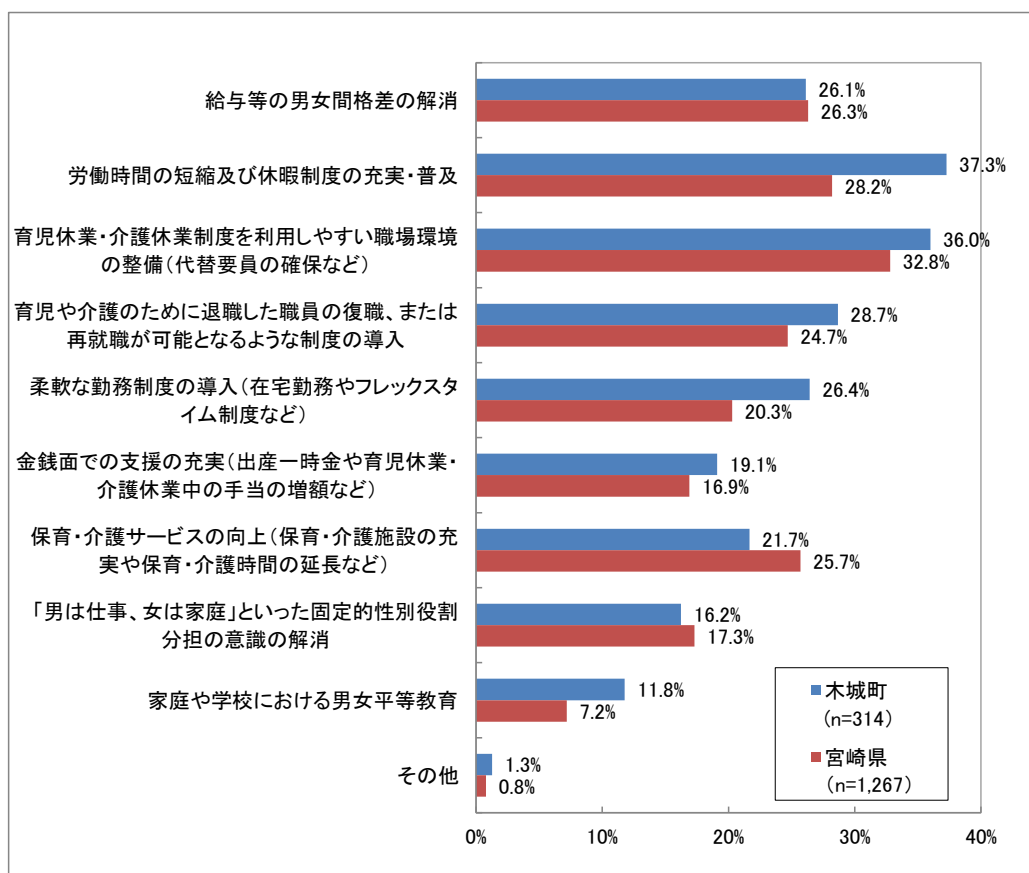
・男女別



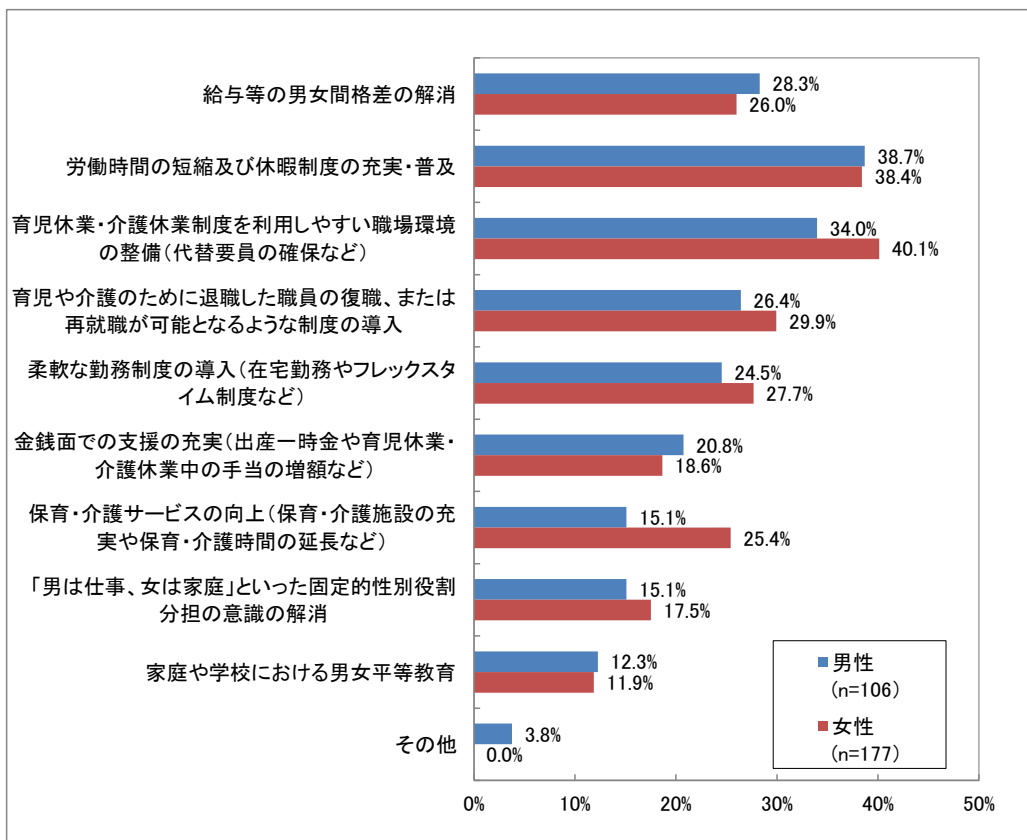
・男女・年齢別



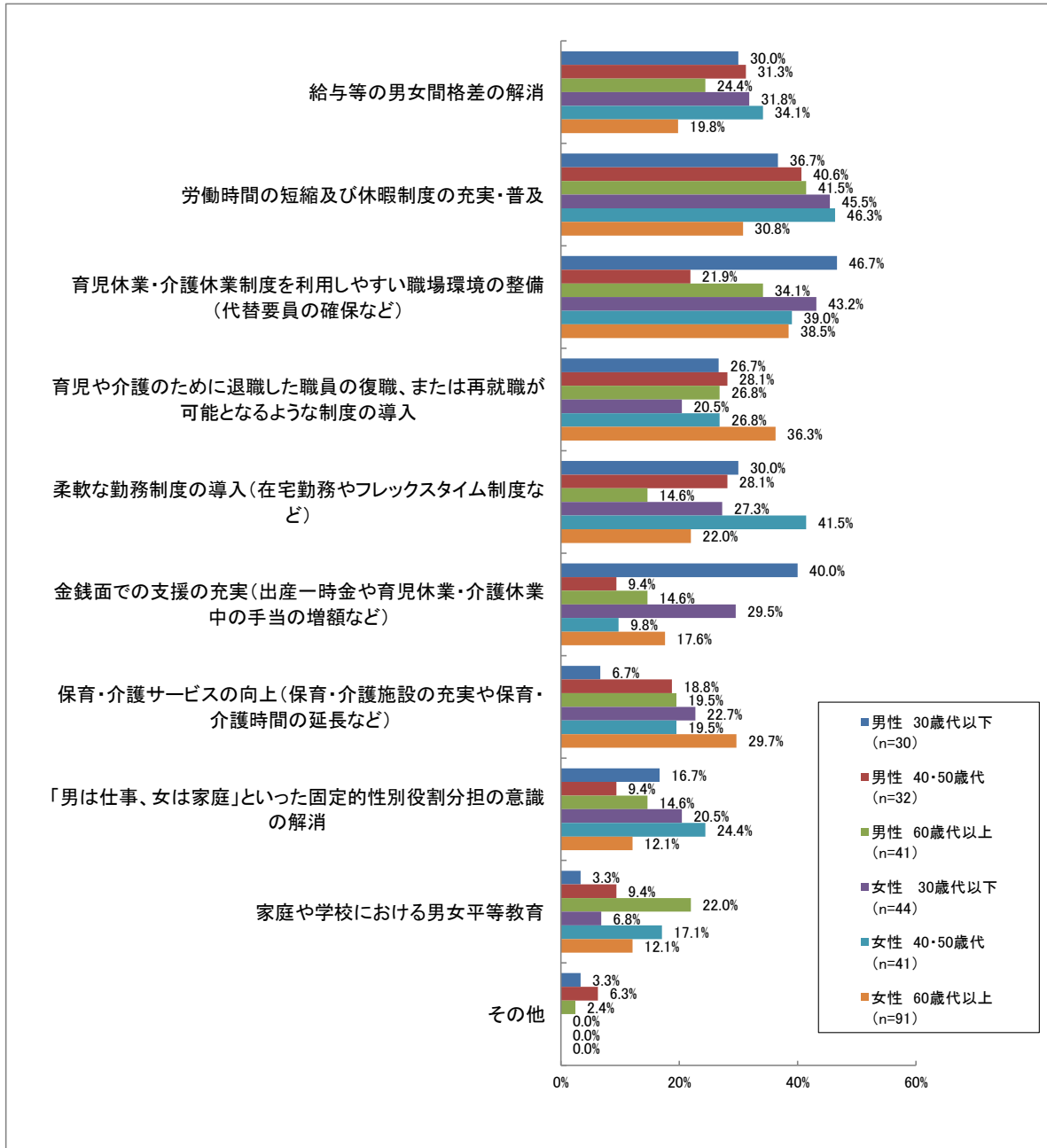
問 10. 一般に、男性も女性も仕事と家庭生活や地域活動を両立させるためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。



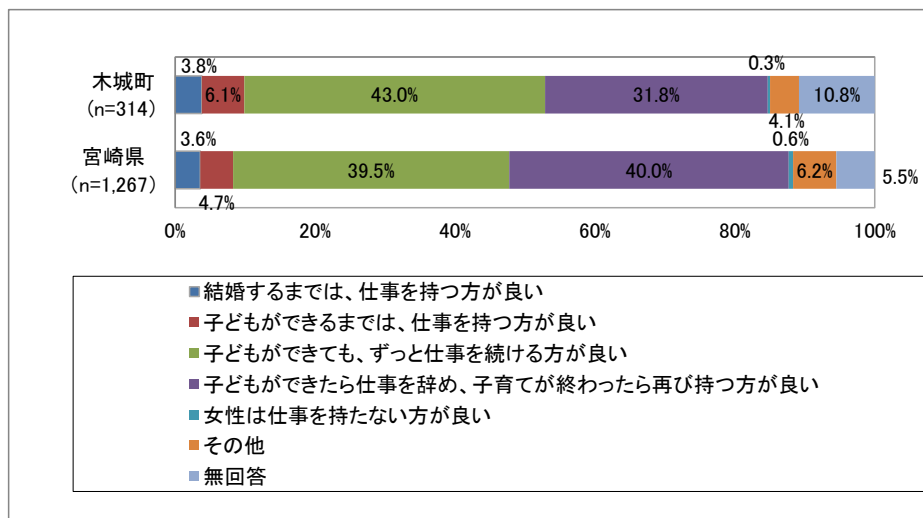
・男女別



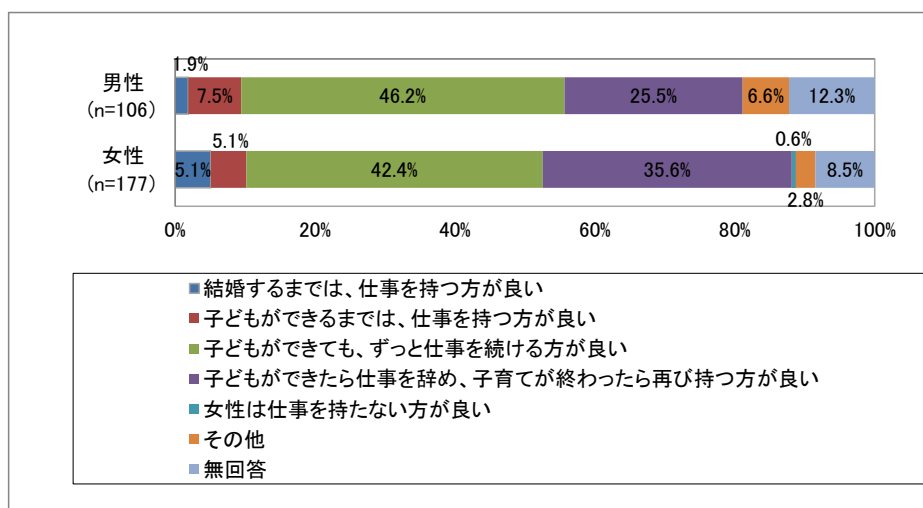
・男女・年齢別



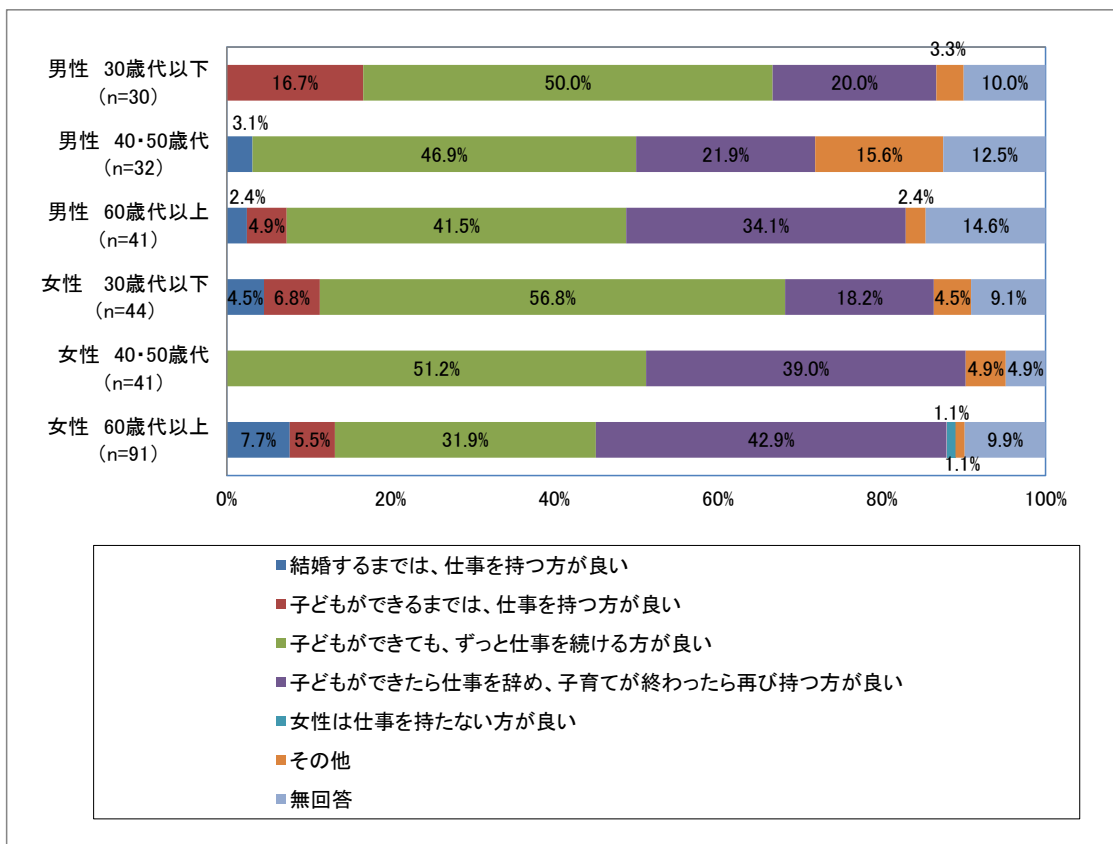
問11. 一般に、女性の就業について、あなたはどのように考えますか。



・男女別

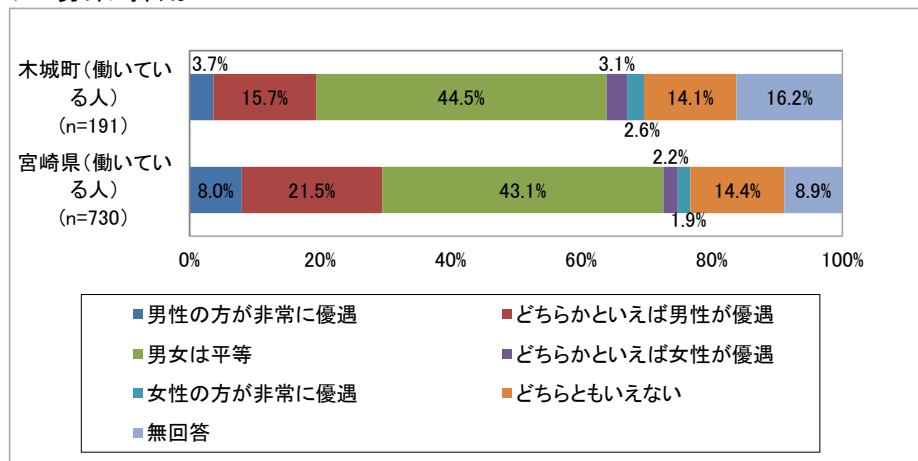


・男女・年齢別

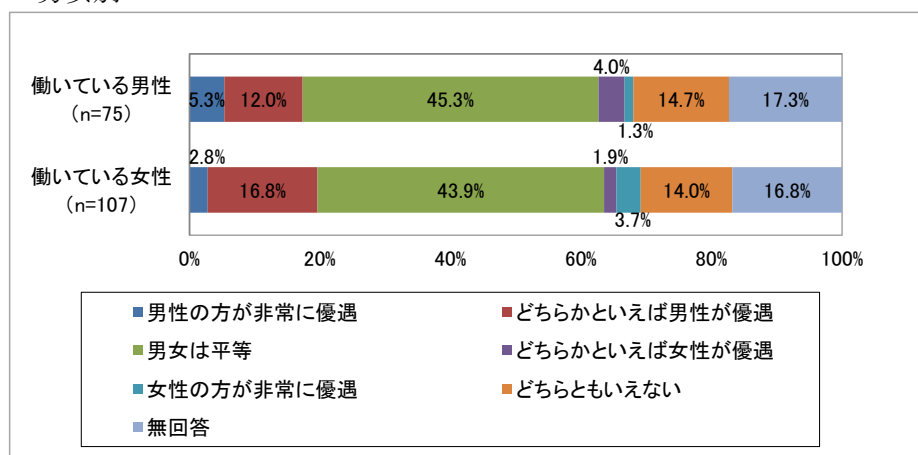


問12. あなたの職場では次のような分野で、性別によって差があると思いますか。(現在働いている人)

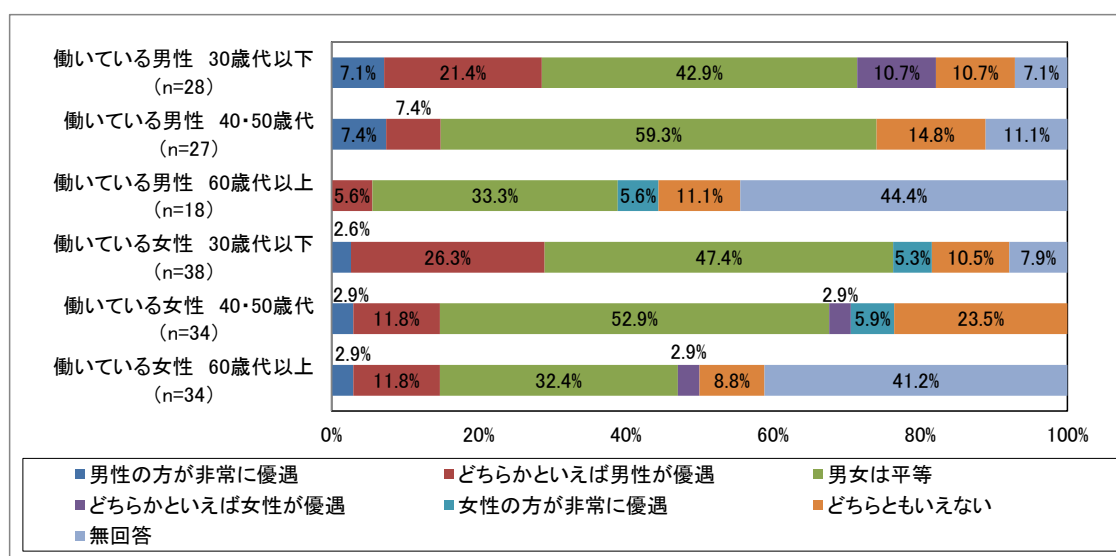
ア 募集・採用



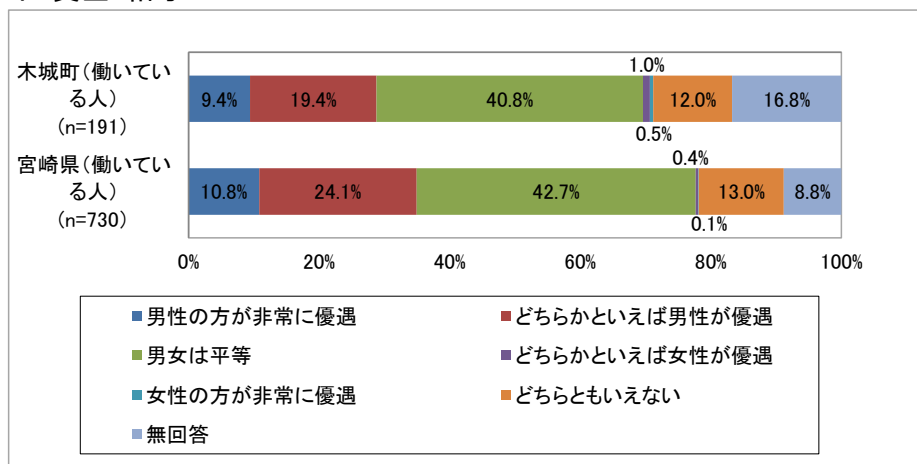
・ 男女別



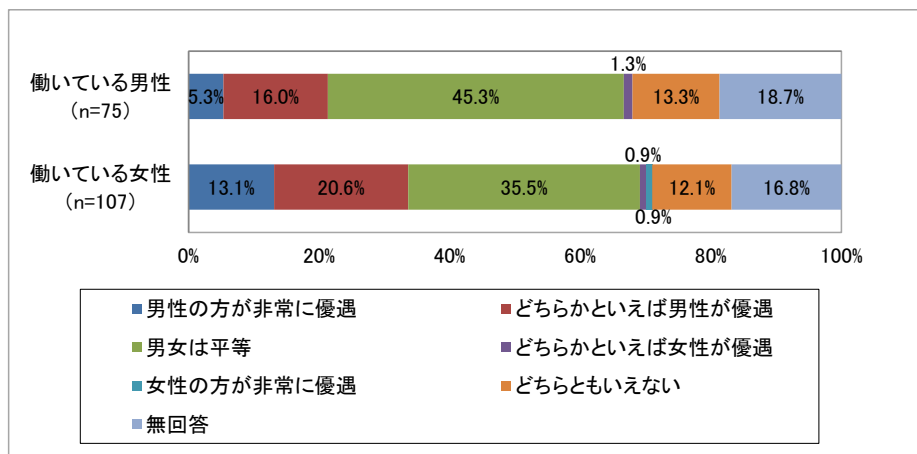
・ 男女・年齢別



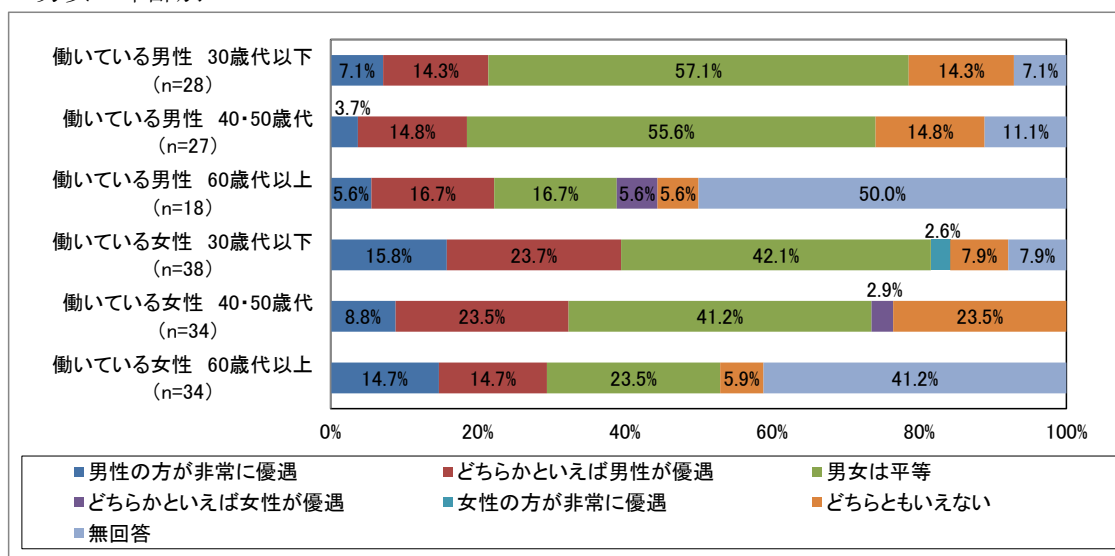
イ 賃金・給与



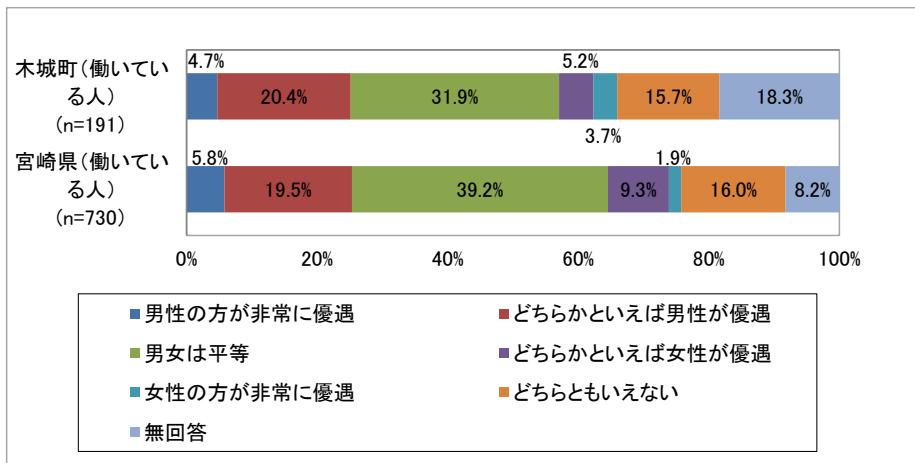
・ 男女別



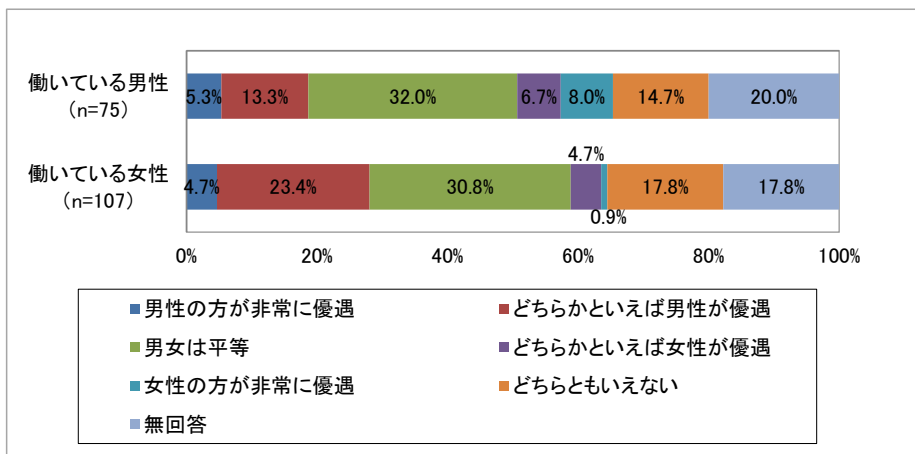
・ 男女・年齢別



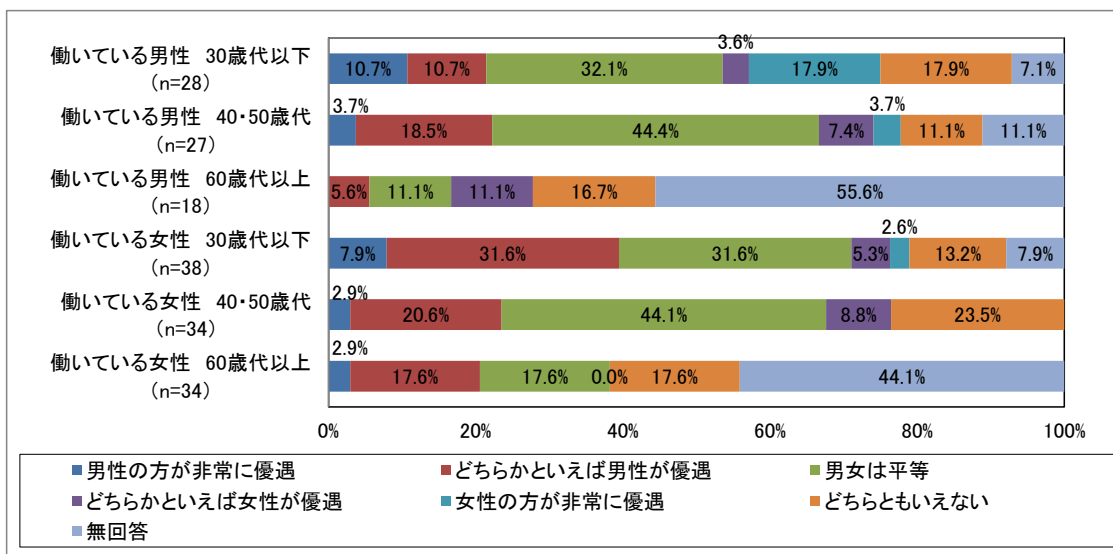
ウ 仕事の内容



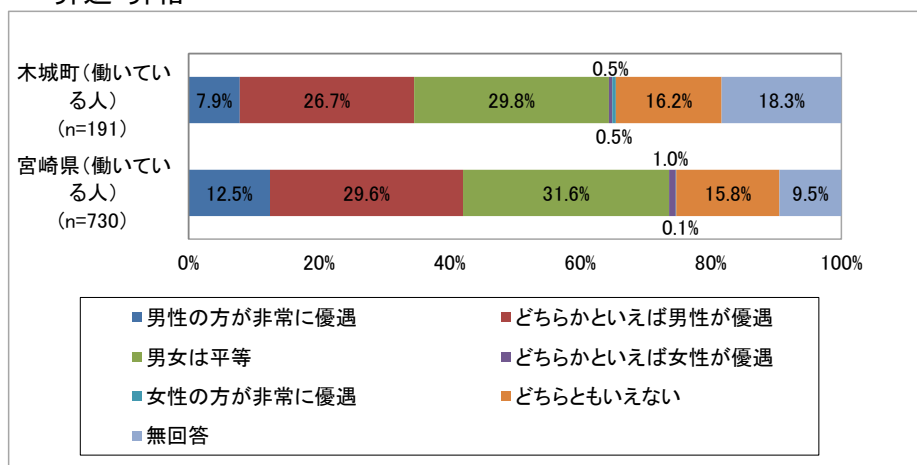
・男女別



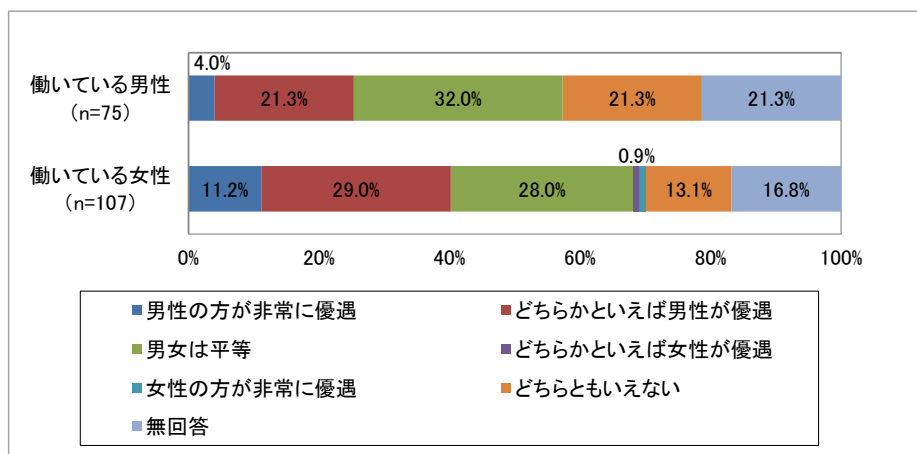
・男女・年齢別



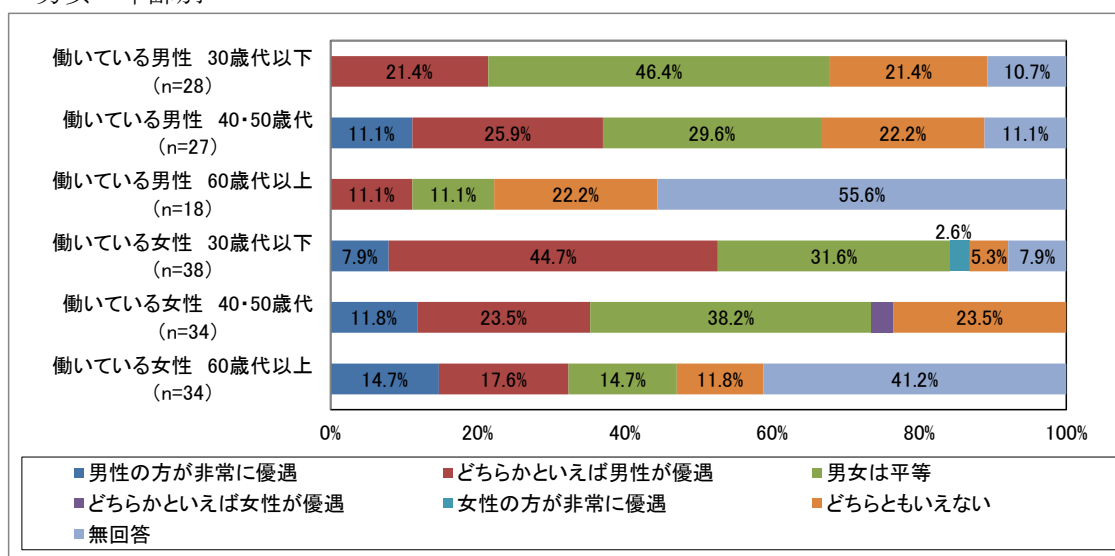
エ 昇進・昇格



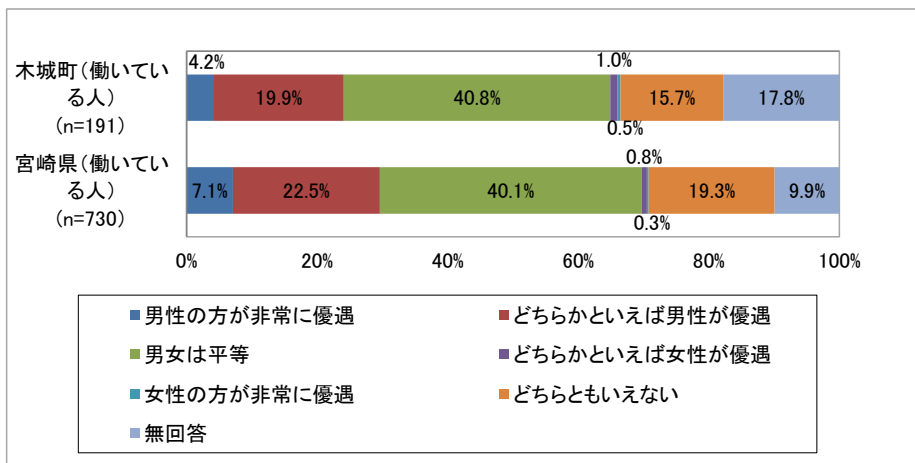
・男女別



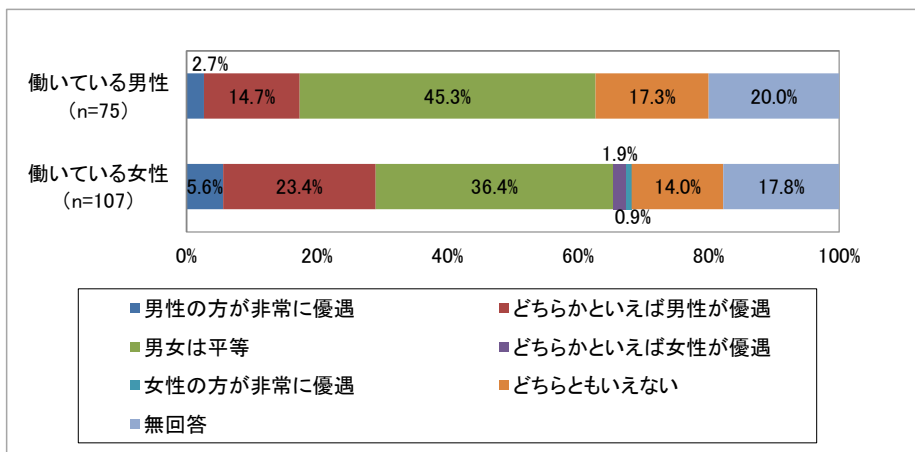
・男女・年齢別



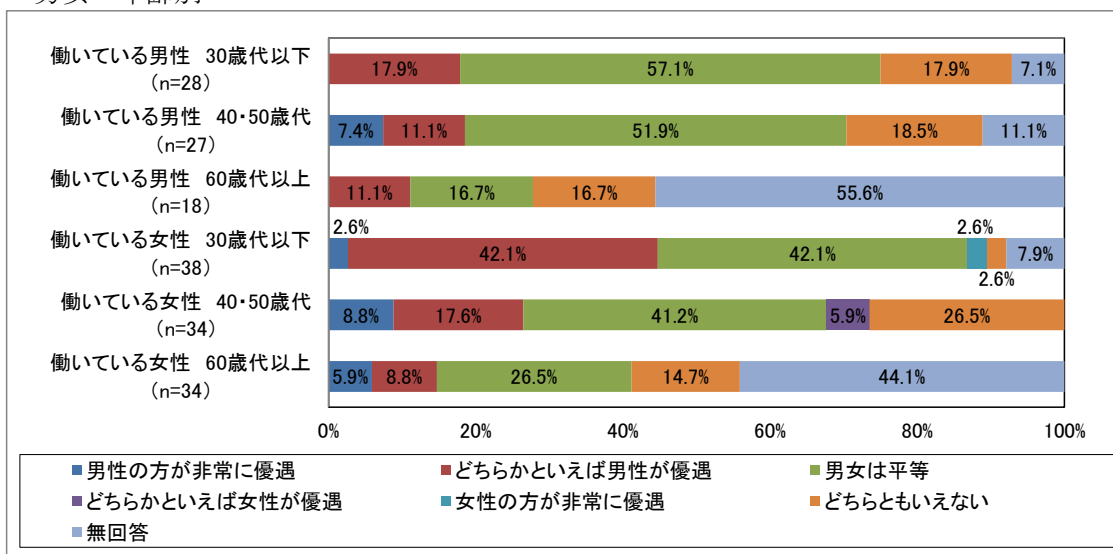
オ 能力評価



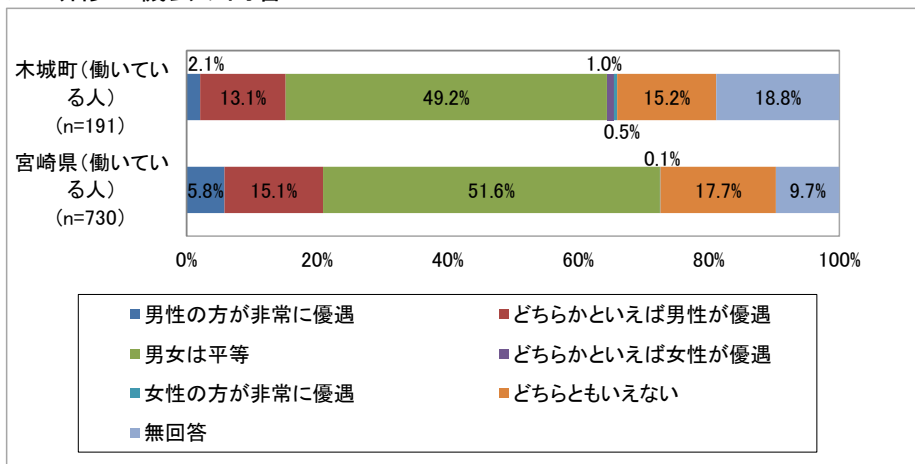
・ 男女別



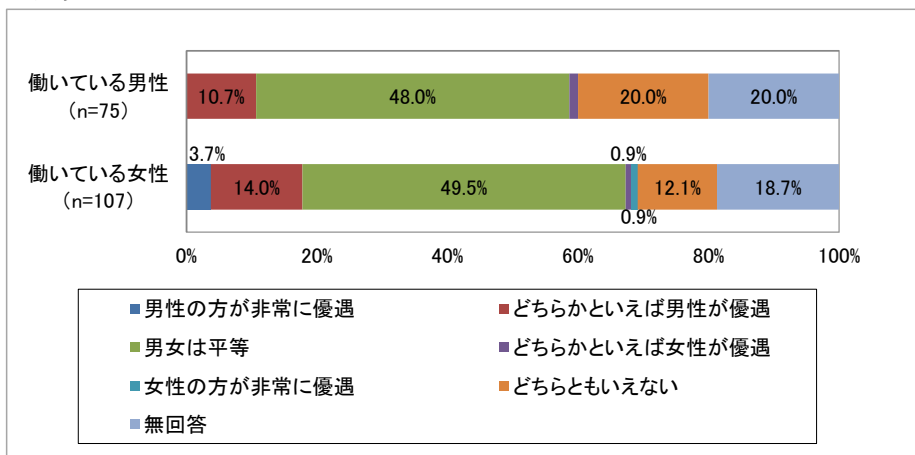
・ 男女・年齢別



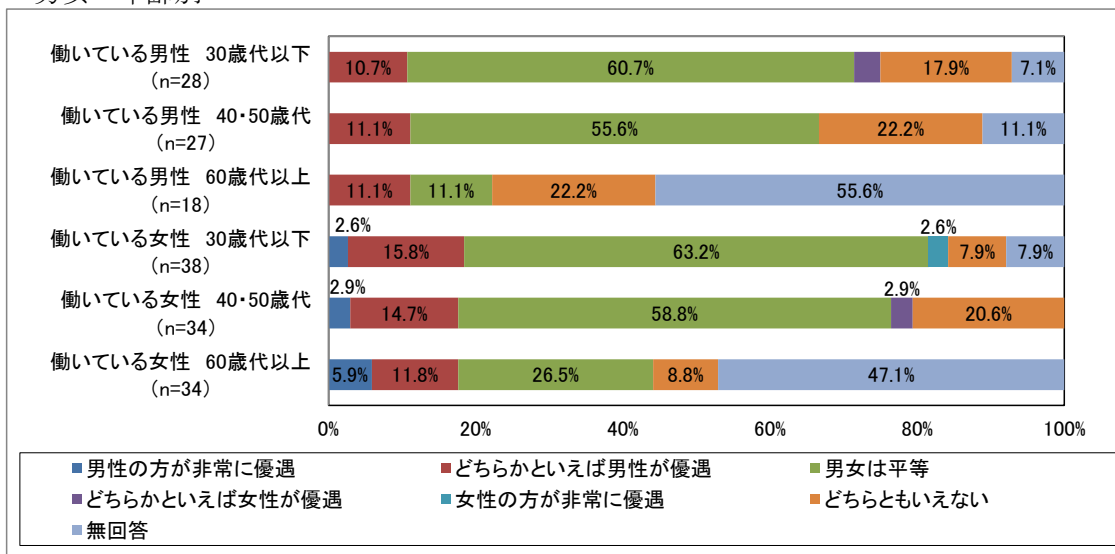
カ 研修の機会や内容



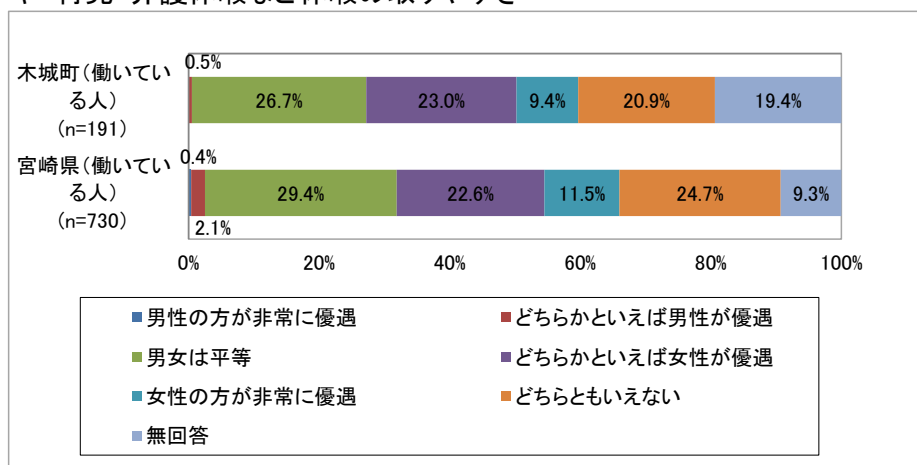
・ 男女別



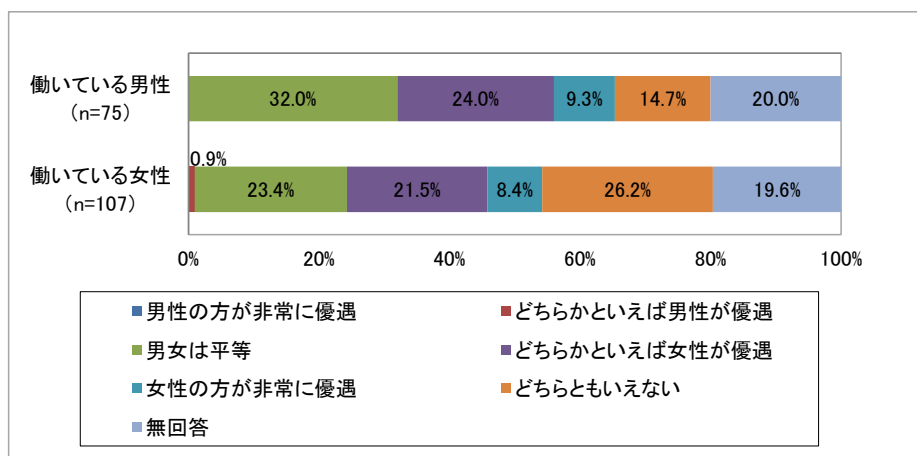
・ 男女・年齢別



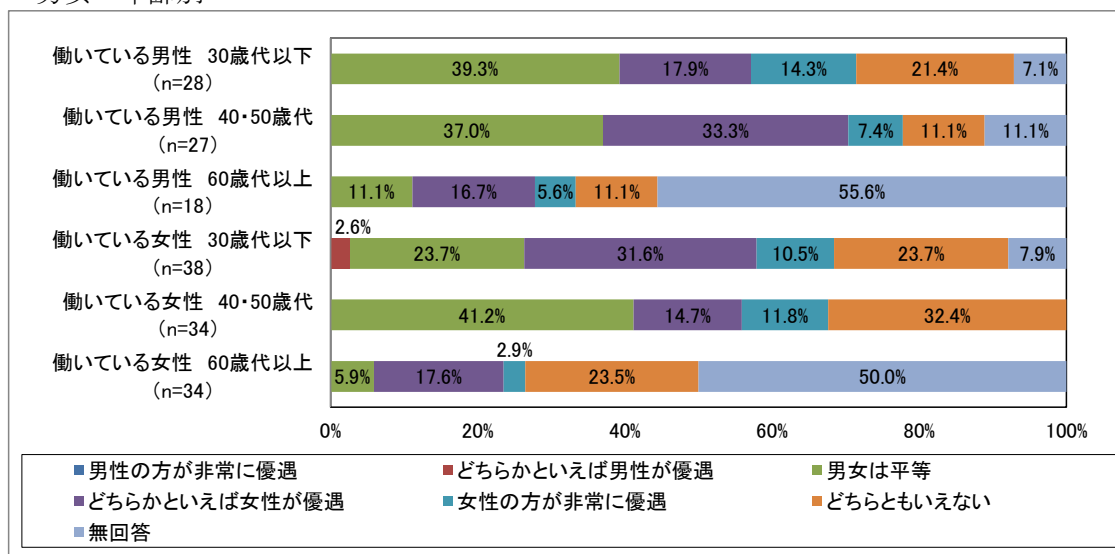
キ 育児・介護休暇など休暇の取りやすさ



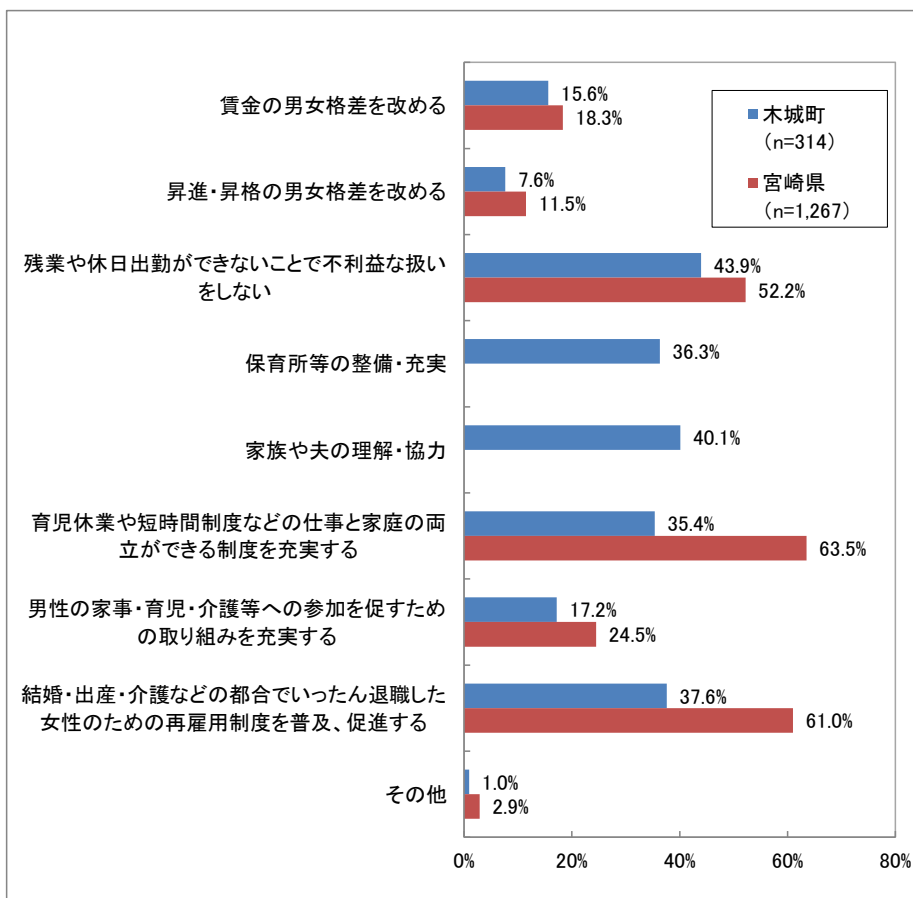
・ 男女別



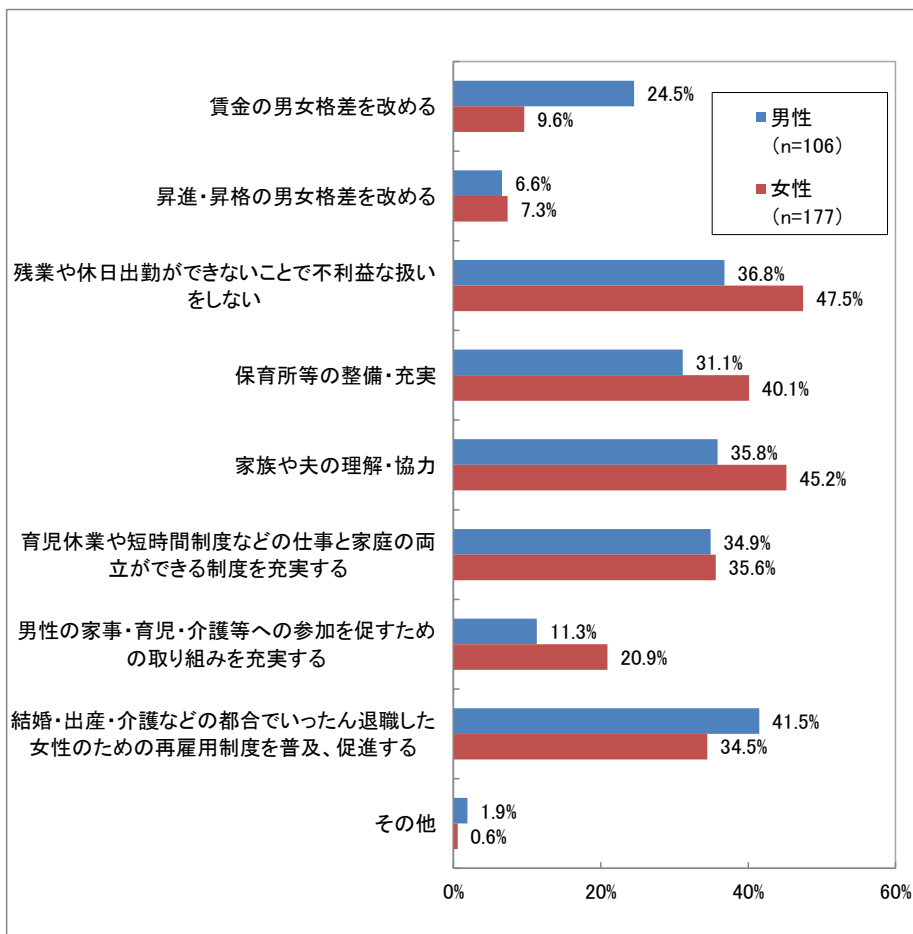
・ 男女・年齢別



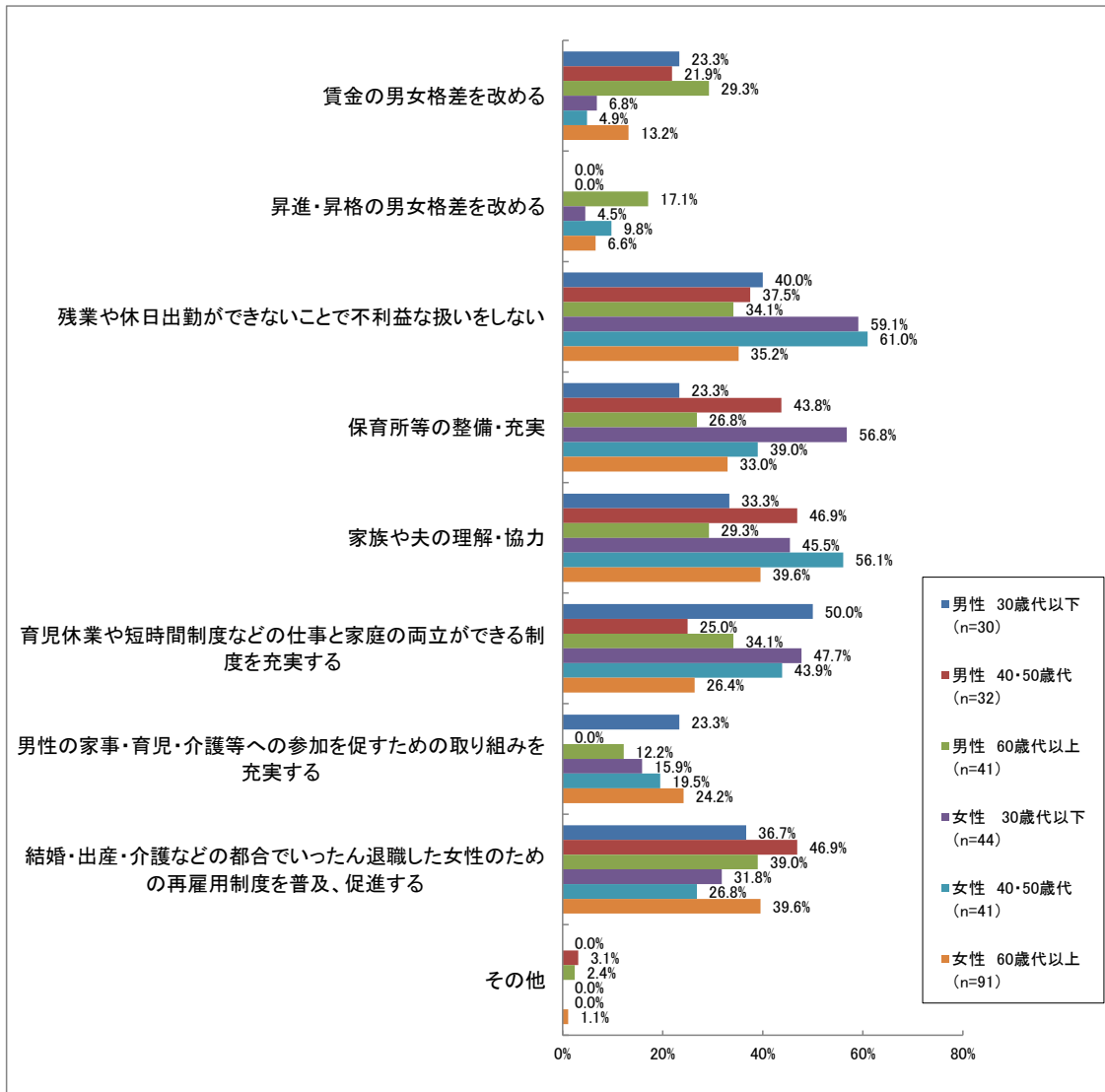
問13. 女性が結婚・出産後も職業を持ち、働き続けるためにはどのようなことが必要だと思いますか。



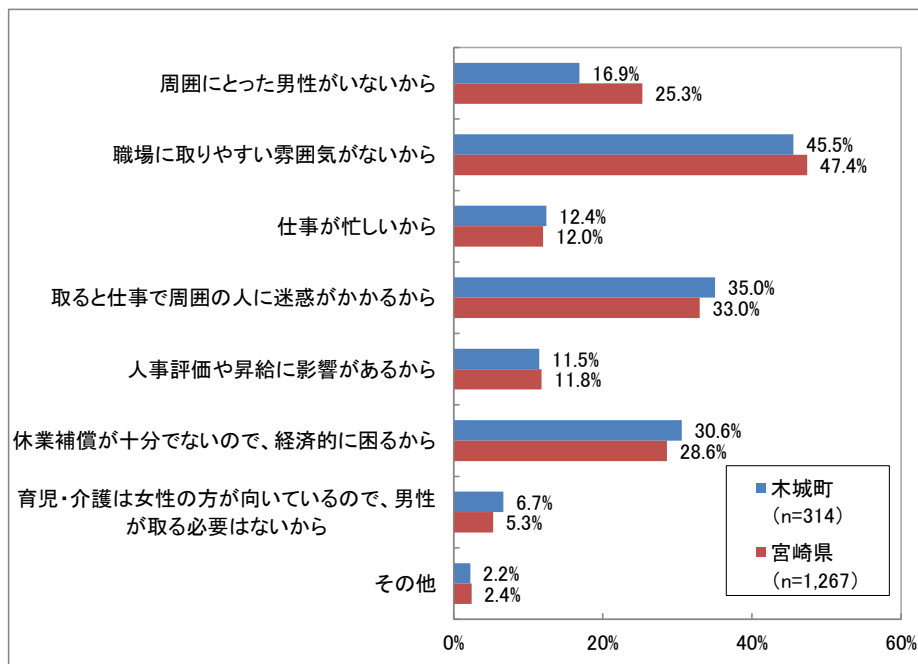
・男女別



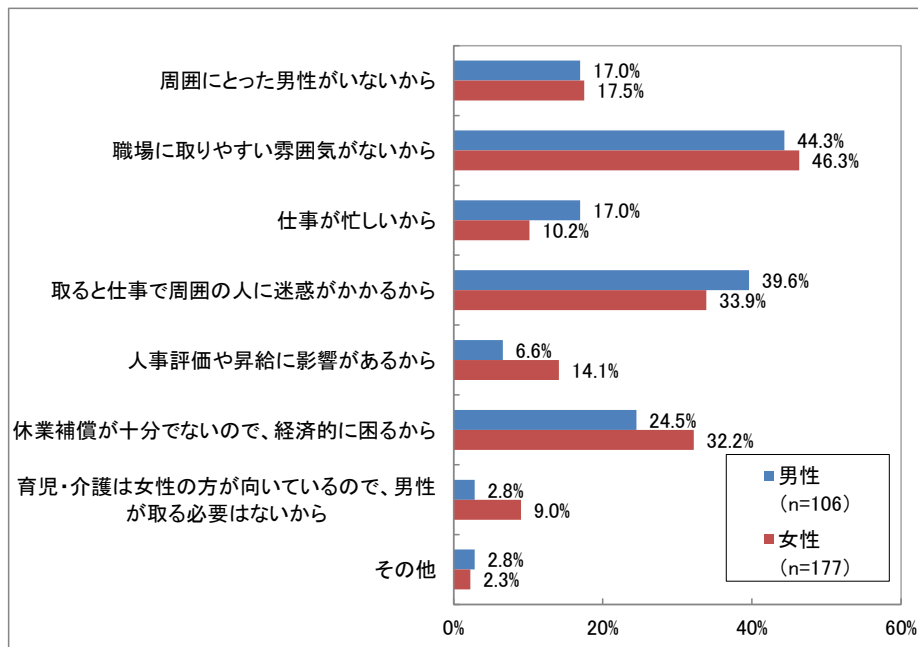
・男女・年齢別



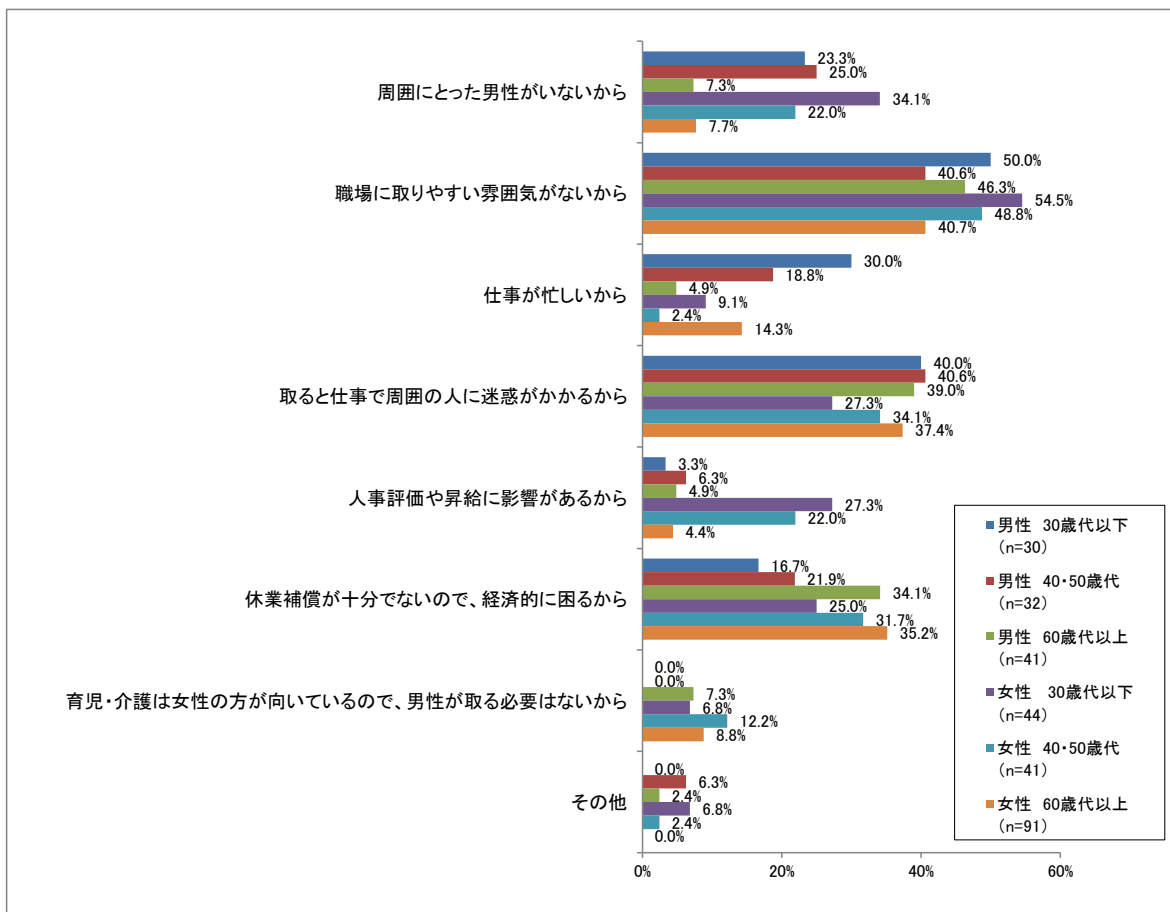
問14. 男性の育児休業取得率が低い理由は何だと思いますか。



・男女別



・男女・年齢別



4. 地域活動について

(1) 地域活動への参加状況(問15)(P81)

- ・この1年間に地域活動に参加した人は72.0%となっている。
(参加していない人は28.0%)
- そのうち、「自治公民館等の活動に参加している」(40.8%)の割合が最も多くなっている。
- ・年代別では、「参加していない人」の割合は世代が若いほど多くなっている。

(2) 地域社会の慣習(問16)(P83)

ア. 役員・責任者(P83)

「男性が多い」の割合が50.6%となっている。

イ. 行事・催し物の企画・運営の中心(P84)

「男性が中心」の割合が46.8%となっている。

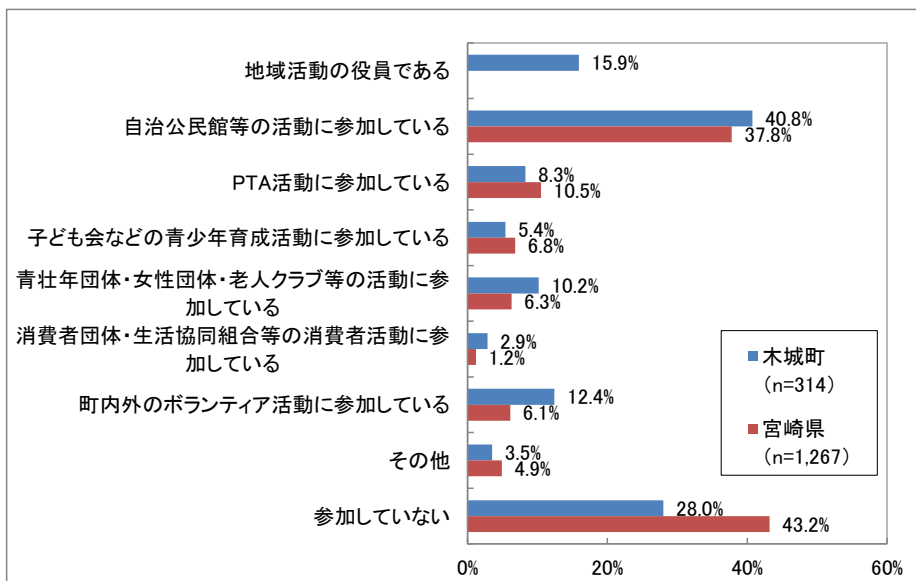
ウ. 地域の作業への参加は主に女性か(P85)

「主に参加するのは女性か」の間に「いいえ」の人の割合(41.7%)が最も高くなっている。
特に40・50歳代の男性は「いいえ」が56.3%となっている。

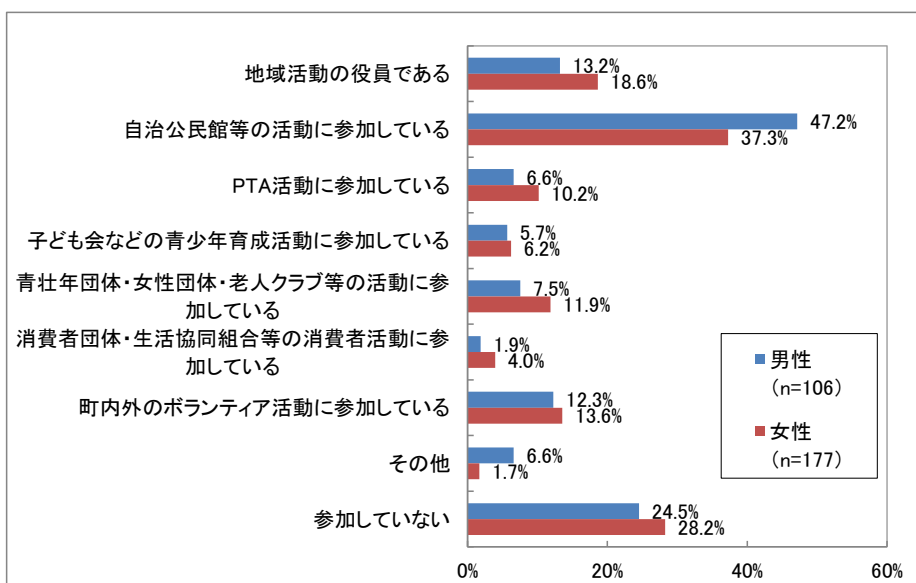
エ. 安全安心活動(防災・防犯・交通事故防止活動)は主に女性か(P86)

主に参加するのは男性か女性か「どちらとも言えない」(45.2%)の割合が高くなっている。

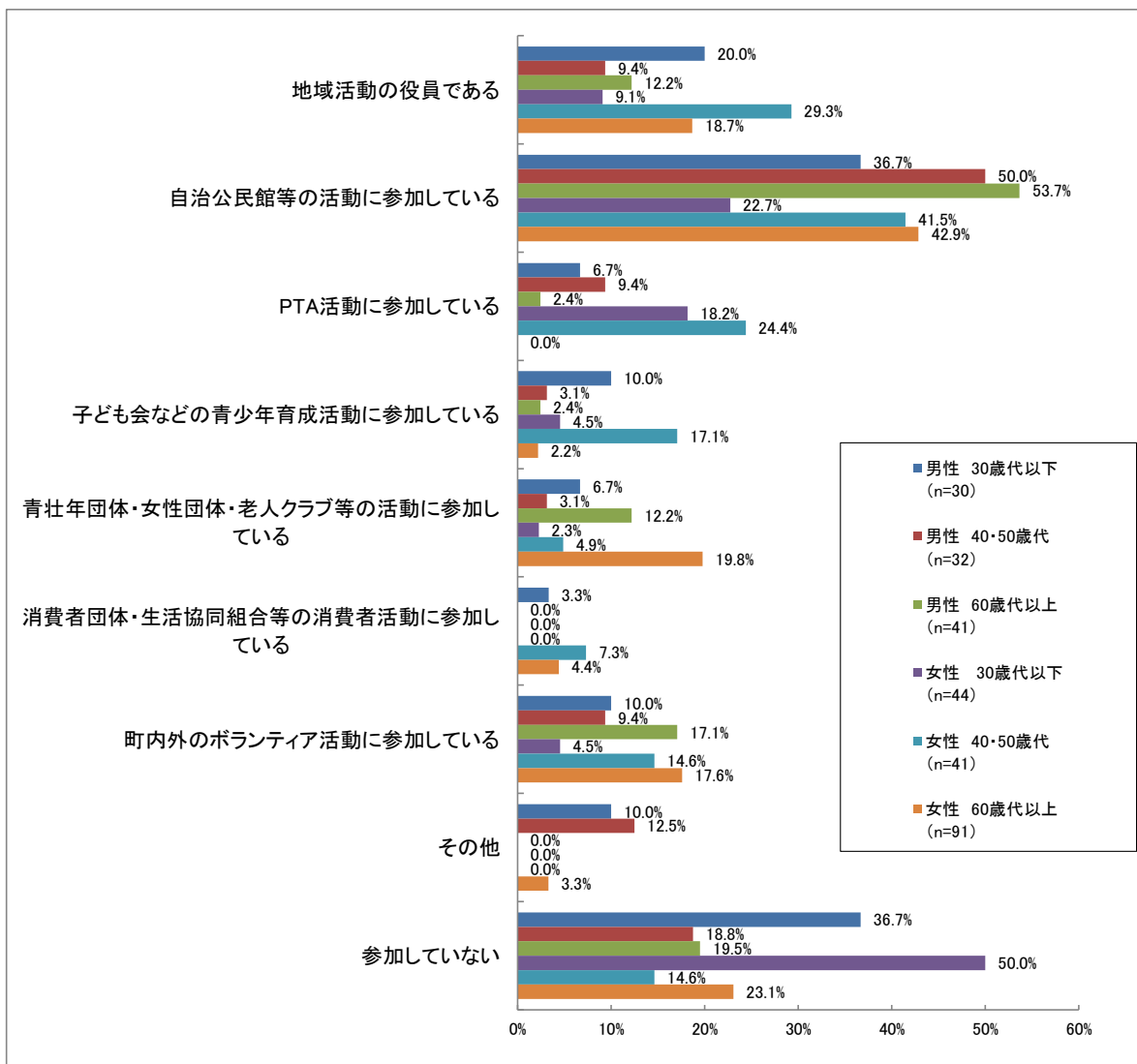
問15. あなたは日頃から地域活動に参加(この1年間程度)していますか。



・男女別

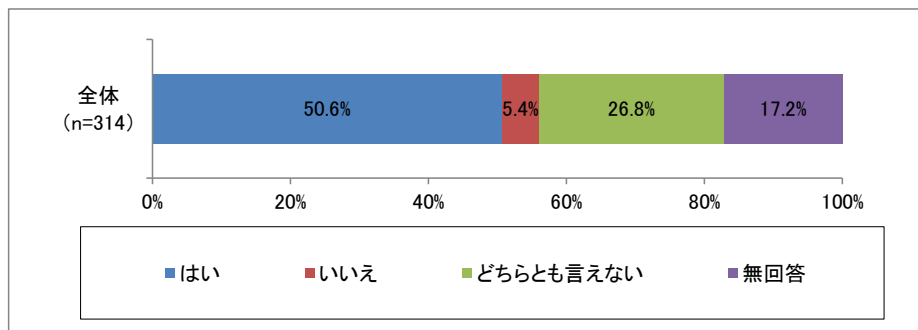


・男女・年齢別

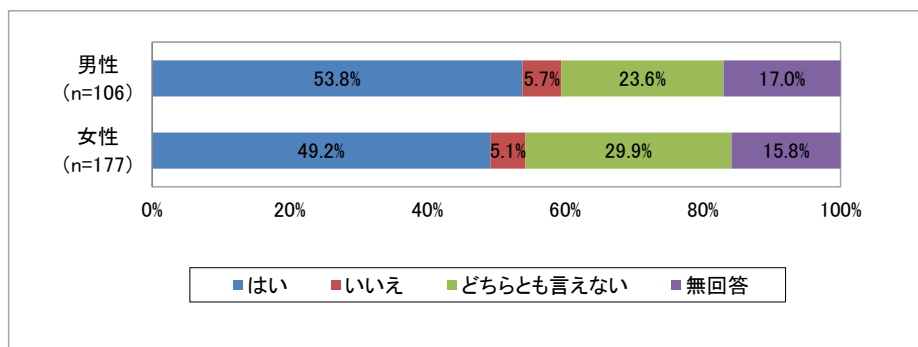


問16. 地域社会の慣習等について、あなたの地域では次のようなことはありますか。

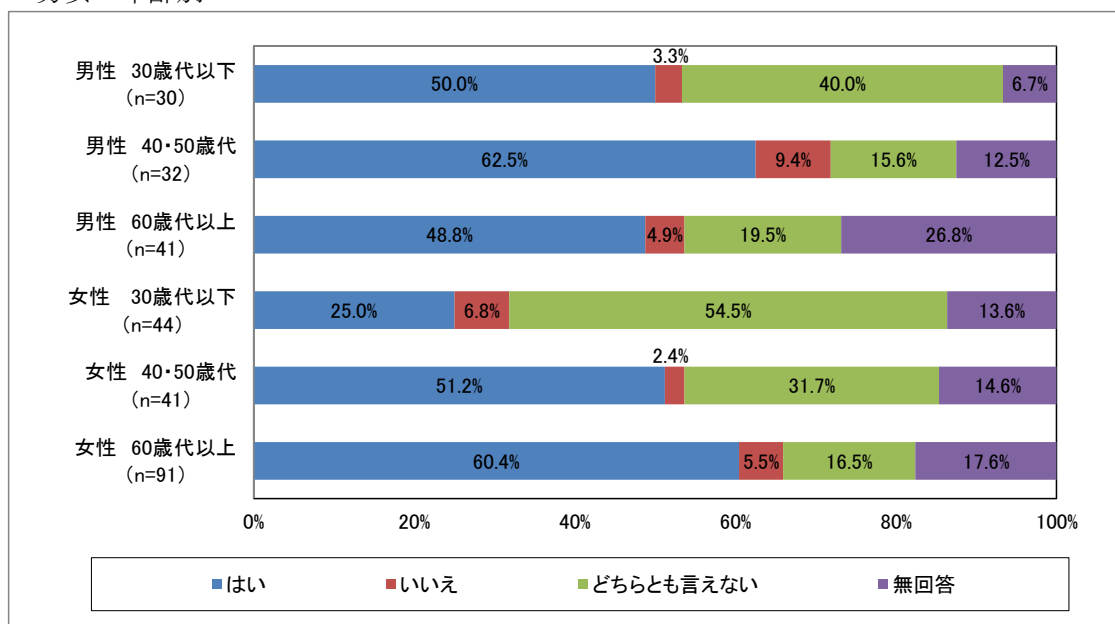
ア 自治公民館、子ども会、老人クラブ等の役員・責任者は男性が多い



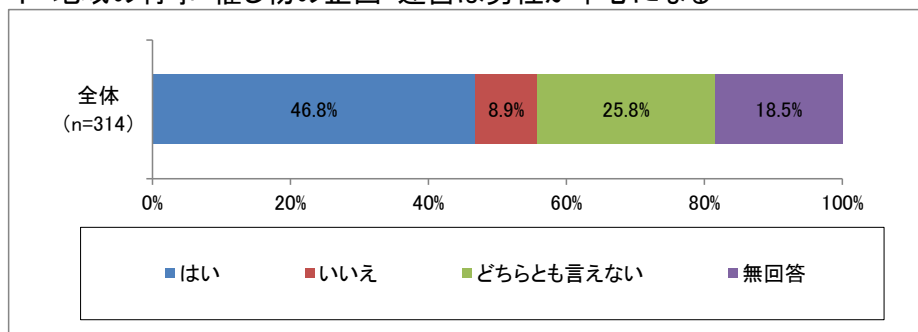
・男女別



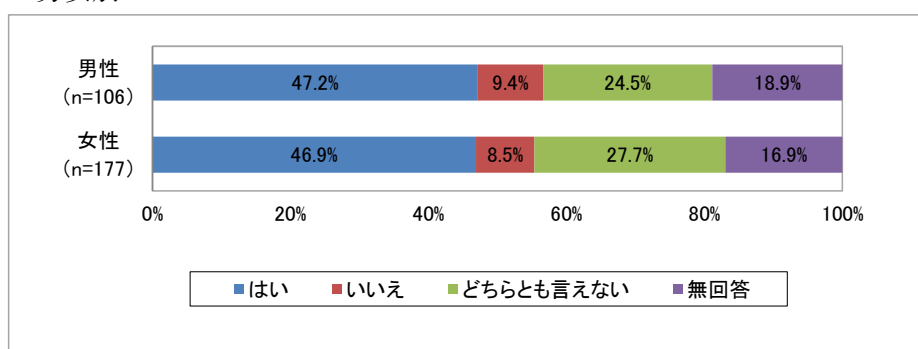
・男女・年齢別



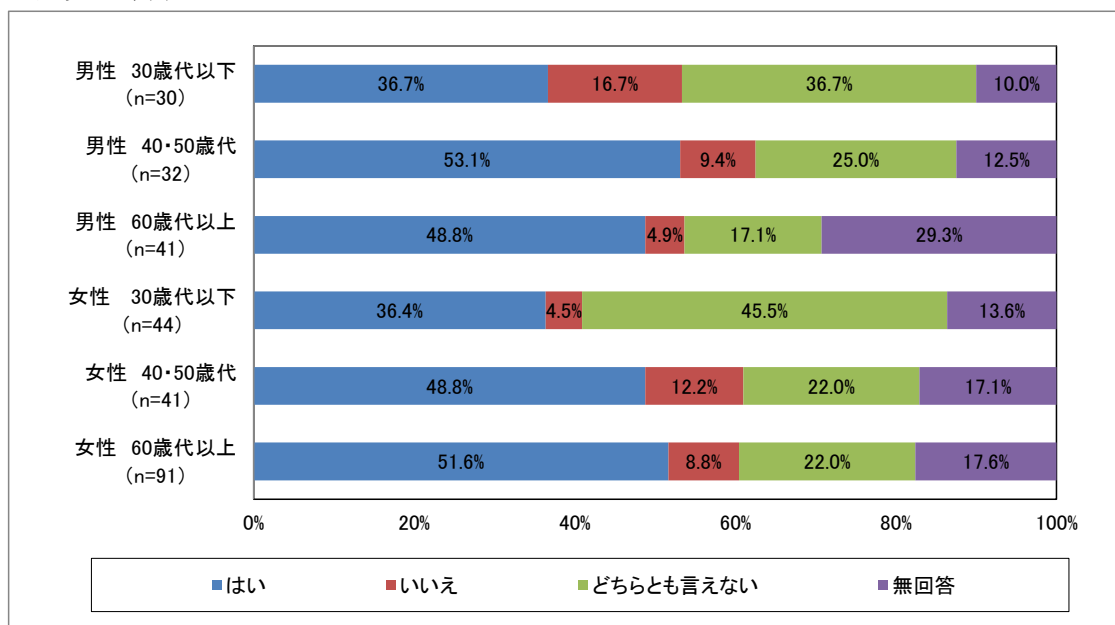
イ 地域の行事・催し物の企画・運営は男性が中心になる



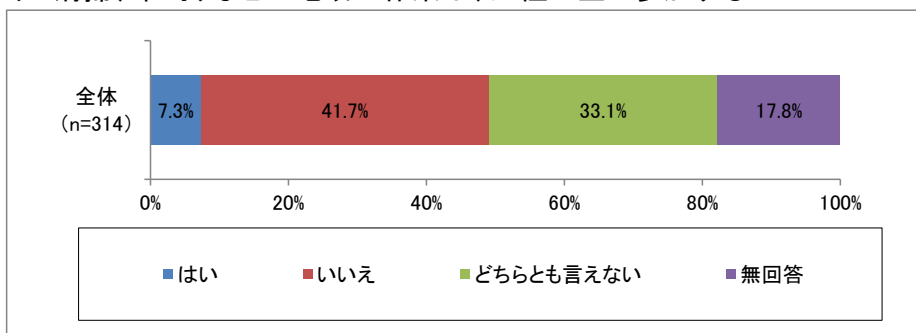
・男女別



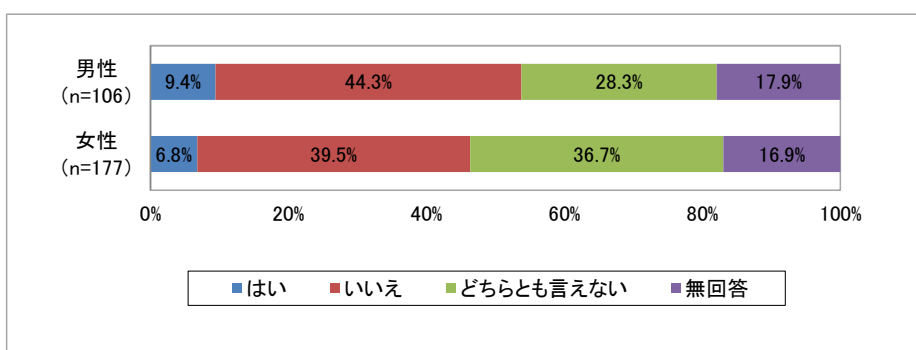
・男女・年齢別



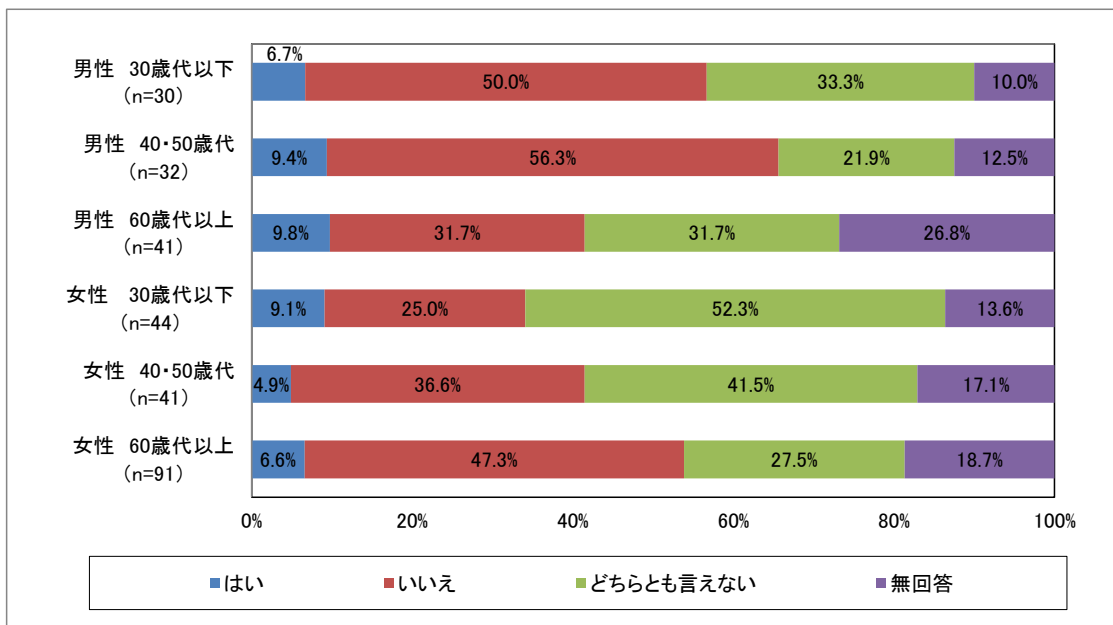
ウ 清掃、草刈りなどの地域の作業は、女性が主に参加する



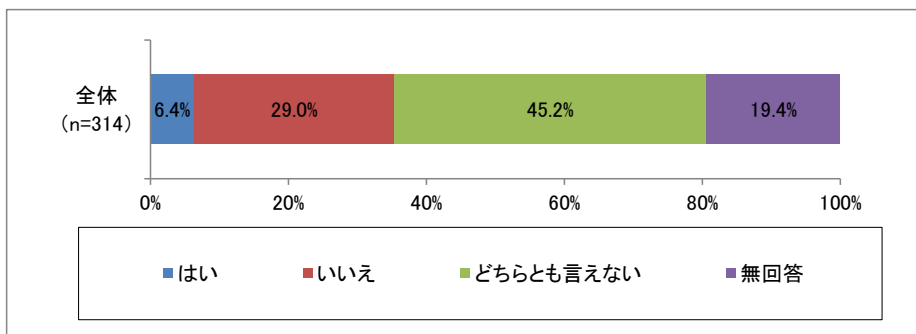
・男女別



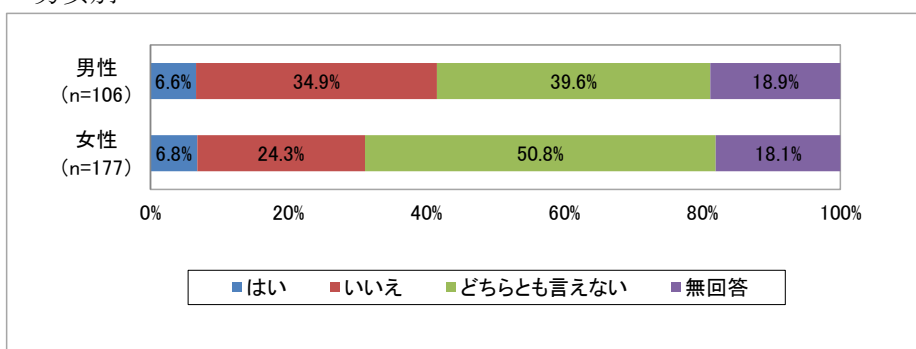
・男女・年齢別



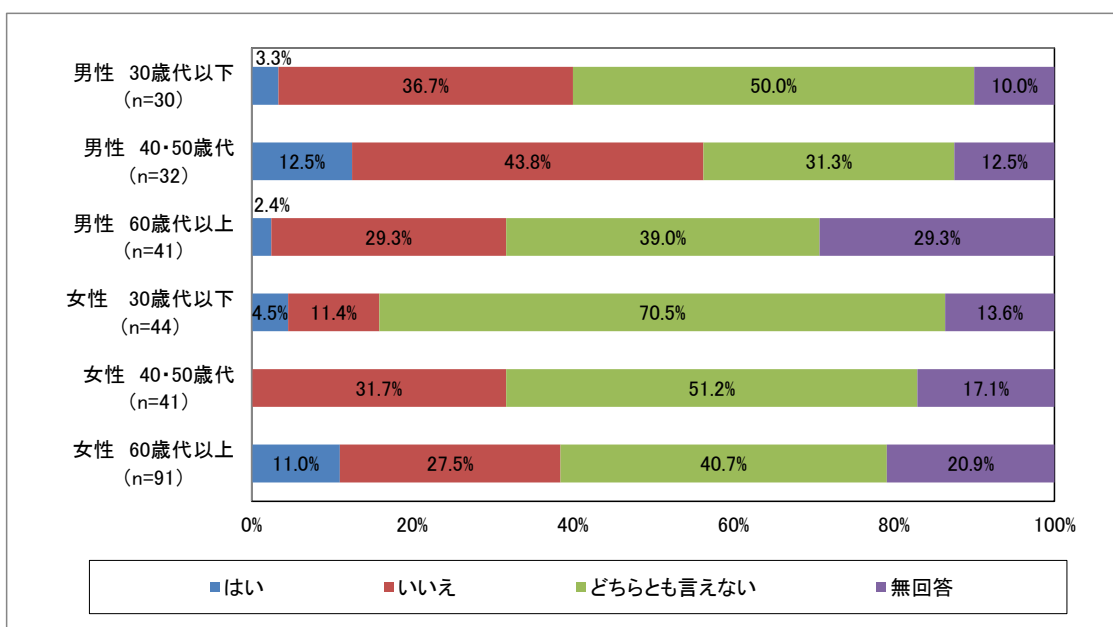
エ 防災・防犯・交通事故防止など安全安心活動は女性が主に参加する



・男女別



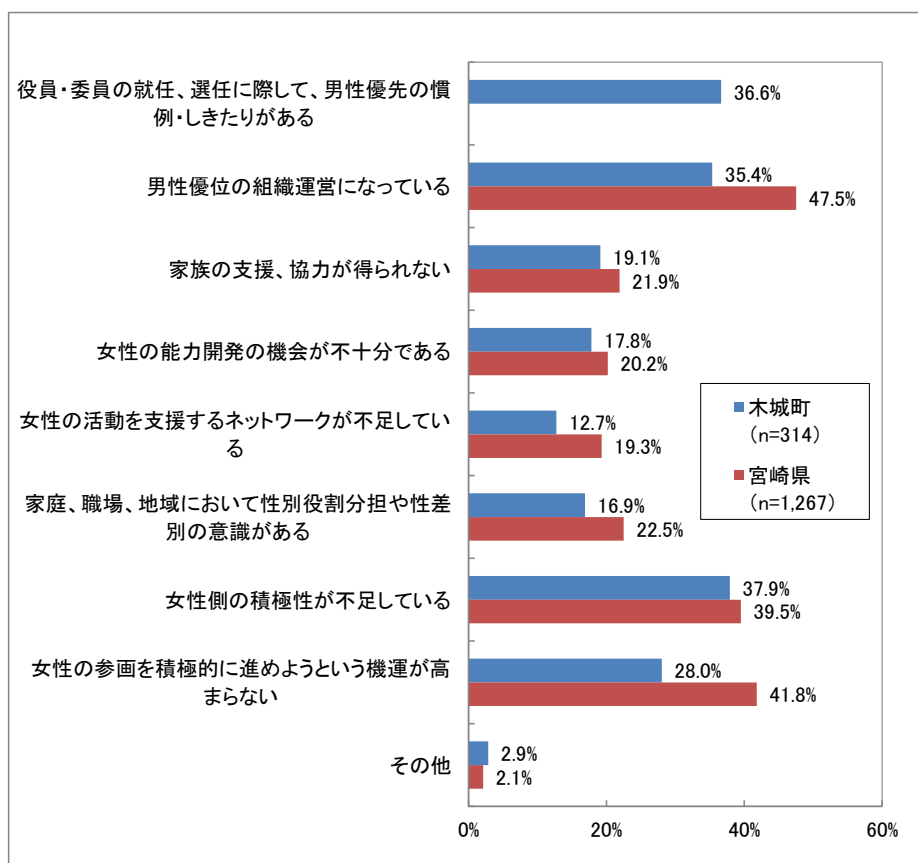
・男女・年齢別



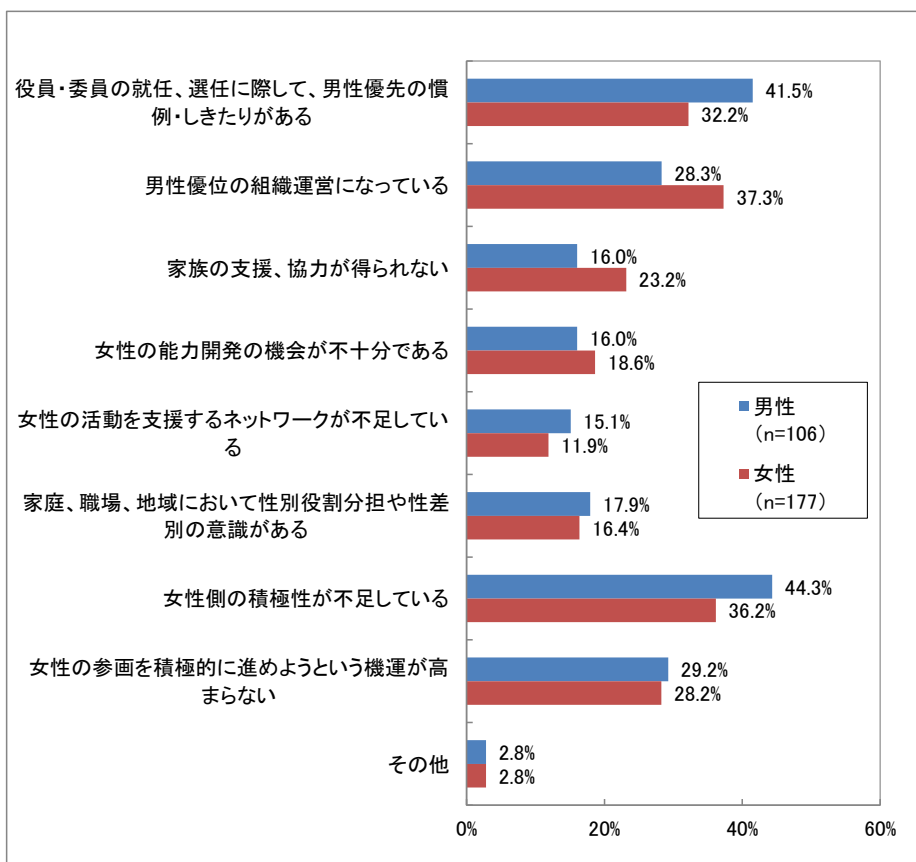
5. 政策決定への参画 ～女性の参画が少ない理由～(問17)

- ・「女性側の積極性が不足している」(37.9%)の割合が最も高く、次いで「役員・委員の就任、選任に際して、男性優先の慣例・しきたりがある」(36.6%)となっている。
- ・県とほぼ同じ傾向を示しているが、その中で「女性の参画を積極的に進めようという機運が高まらない」が県(41.8%)を13.8ポイント下回っている。

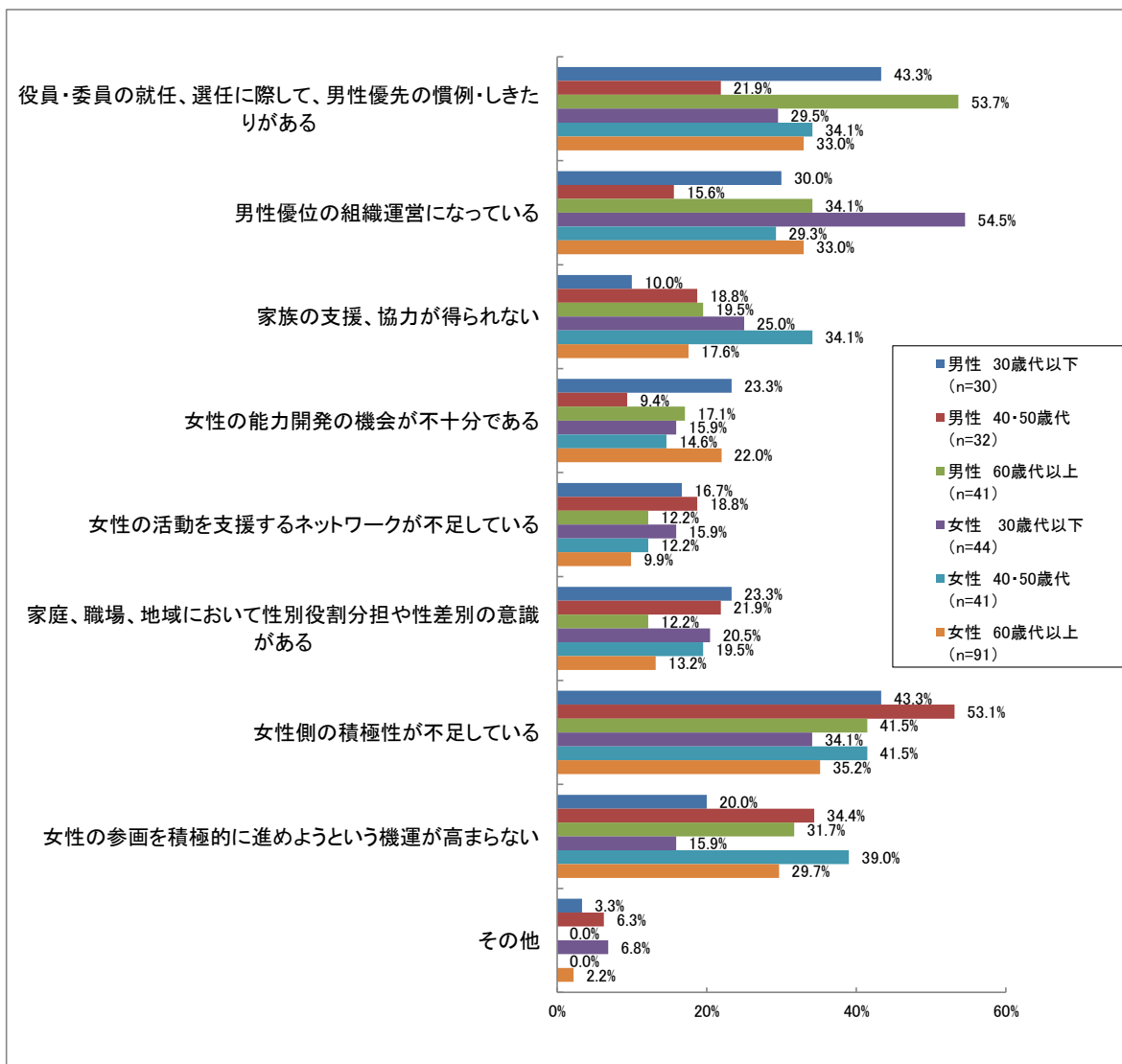
問17. 近年、女性の社会進出は進みつつあるものの、町議会議員、町の審議会委員、自治公民館の役員、団体等の役員にはまだ女性は少ないのが現状です。政策の企画や方針決定の過程に女性が少ない理由は何だと思いますか。



・男女別



・男女・年齢別



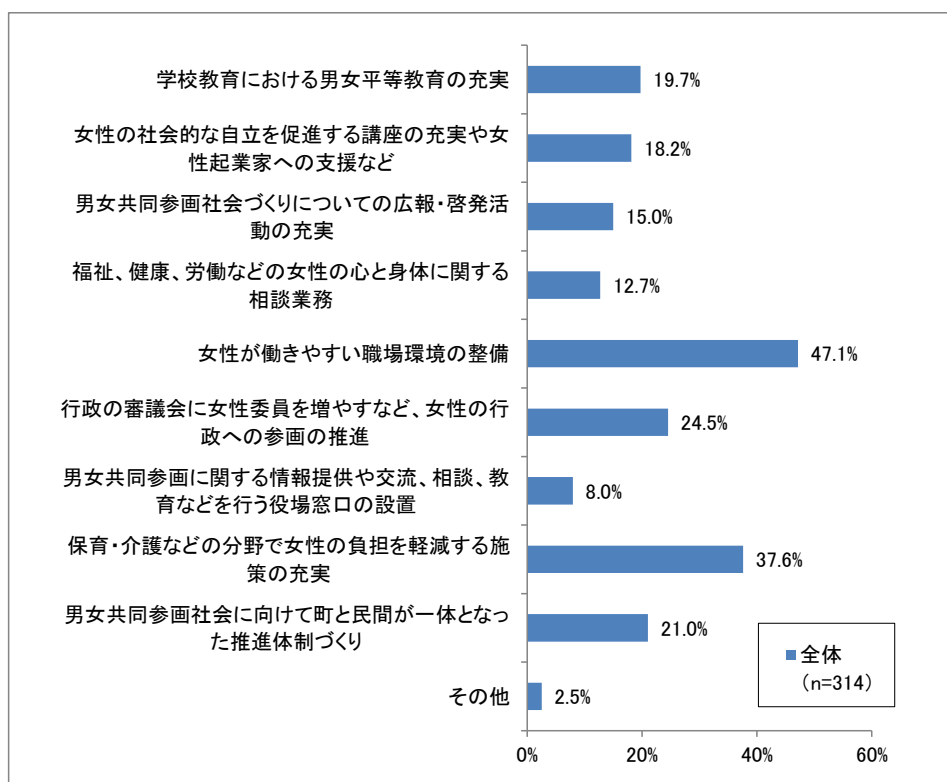
各項目の第1位

- ・役員・委員の就任、選任に際して、男性優先の慣例・しきたりがある…60歳以上の男性
- ・男性優位の組織運営になっている…30歳以下の女性
- ・家族の支援、協力が得られない…40・50歳代の女性
- ・女性の能力開発の機会が不十分である… 30歳以下の男性、60歳以上の女性
- ・女性の活動を支援するネットワークが不足している…40・50歳代の男性
- ・家庭、職場、地域において性別役割分担や性差別の意識がある…30歳以下の男性
- ・女性側の積極性が不足している…40・50歳代の男性
- ・女性の参画を積極的に進めようという機運が高まらない…40・50歳代の女性

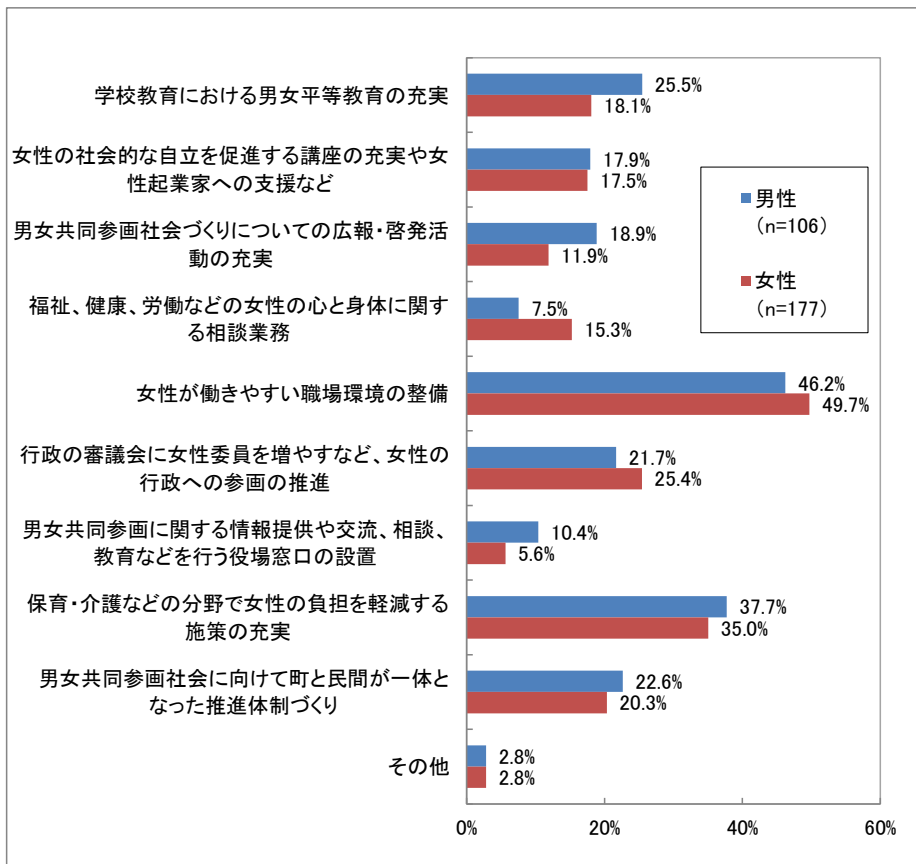
6. 男女共同参画社会を形成するために必要な施策(問18)

- ・第1位は「女性が働きやすい職場環境の整備」(47.1%)、第2位「保育・介護などの分野で女性の負担を軽減する施策の充実」(37.6%)となっている。これは、男女ともほぼ同じ割合となっている。

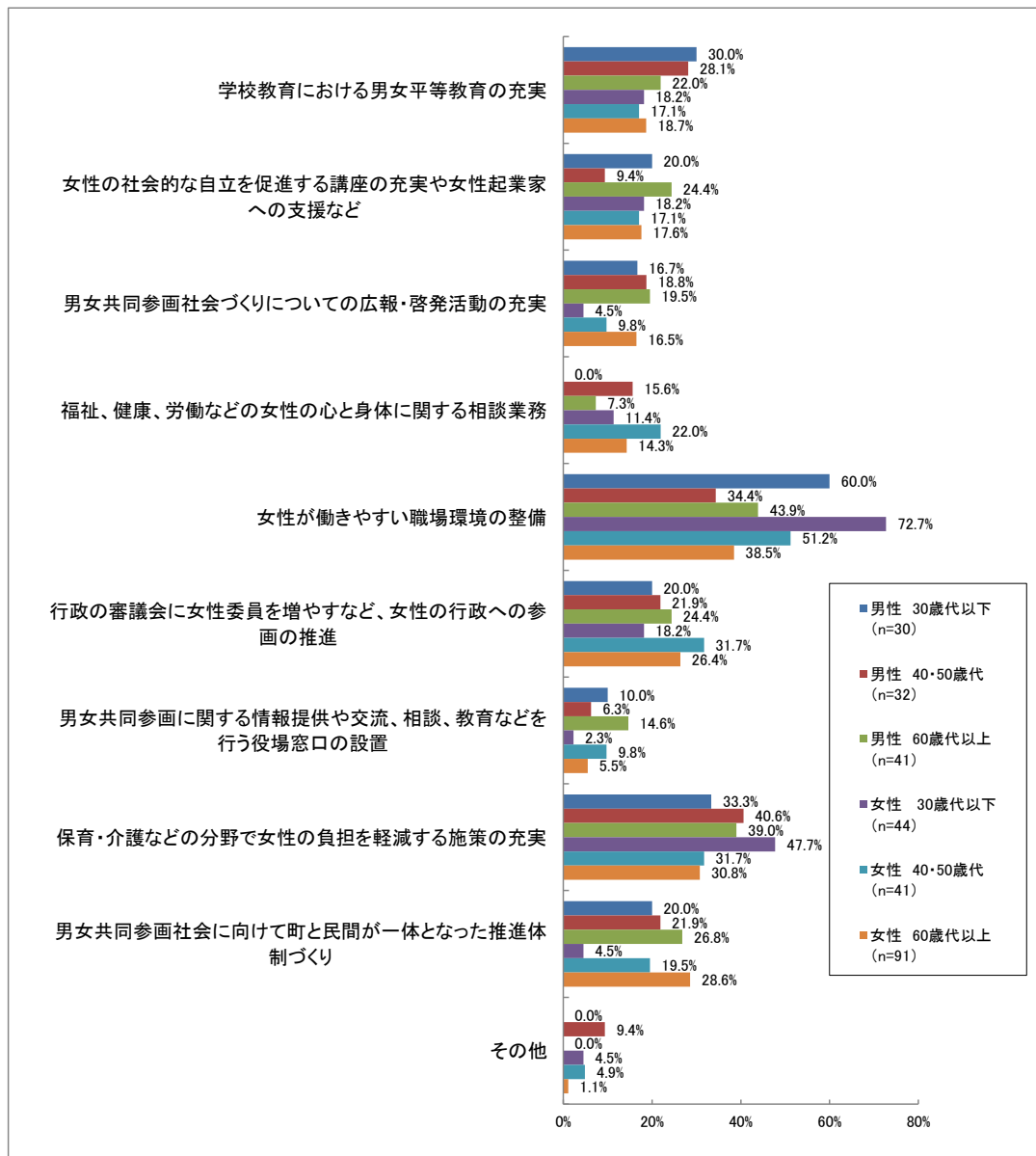
問18. 「男女共同参画社会」を形成するために、町(役場)は今後どのような施策に力を入れれば良いと思いますか。



・男女別



・男女・年齢別



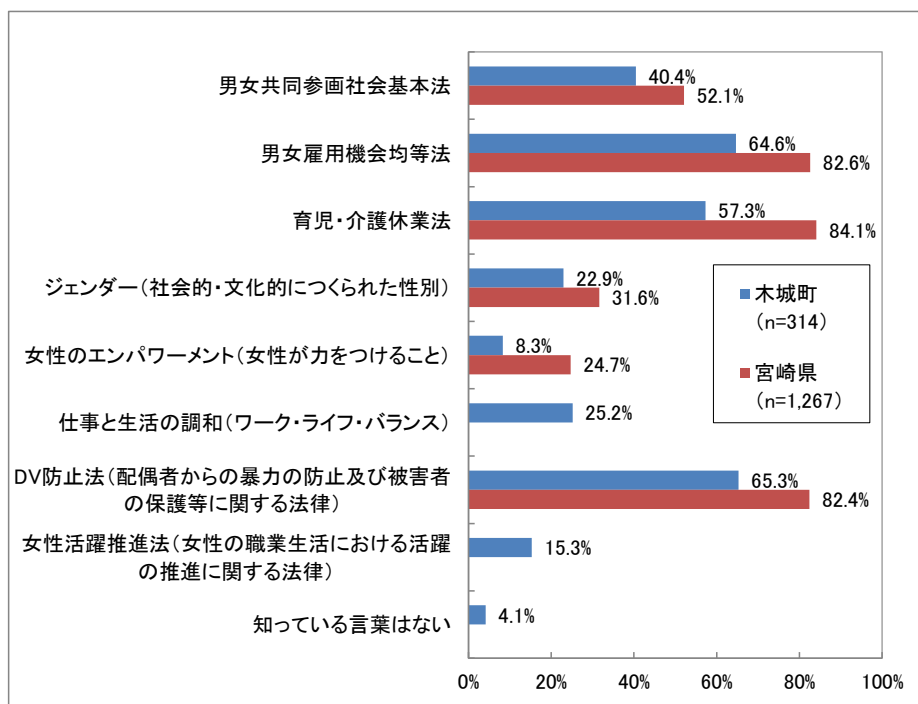
各項目の第1位

- ・学校教育における男女平等教育の充実…30歳以下の男性
- ・女性の社会的な自立を促進する講座の充実や女性起業家への支援など…60歳以上の男性
- ・男女共同参画社会づくりについての広報・啓発活動の充実…60歳以上の男性
- ・福祉、健康、労働などの女性の心と身体に関する相談業務…40・50歳の女性
- ・女性が働きやすい職場環境の整備…30歳以下の女性
- ・行政の審議会に女性委員を増やすなど、女性の行政への参画の推進…40・50歳の女性
- ・男女共同参画に関する情報提供や交流、相談、教育などを行う役場窓口の設置…60歳以上の男性
- ・保育・介護などの分野で女性の負担を軽減する施策の充実…30歳以下の女性
- ・男女共同参画社会に向けて町と民間が一体となった推進体制づくり…60歳以上の女性

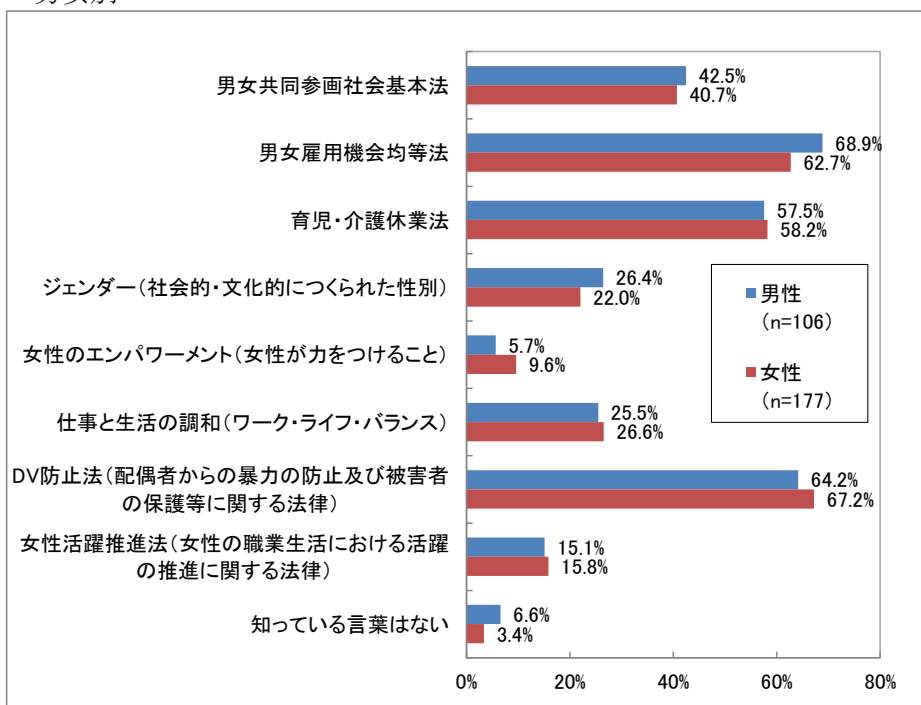
7. 男女共同参画に関する言葉の認知状況(問19)

- ・男女共同参画に関する言葉の認知状況は県と比べて全体的に低くなっている。
- ・「男女共同参画社会基本法」については、他の法律(「男女雇用機会均等法」「育児・介護休業法」「DV 防止法」)よりも認知度が低くなっている。また、「女性活躍推進法」は15.3%となっている。
- ・言葉の認知状況については、男女ともほぼ同じとなっている。

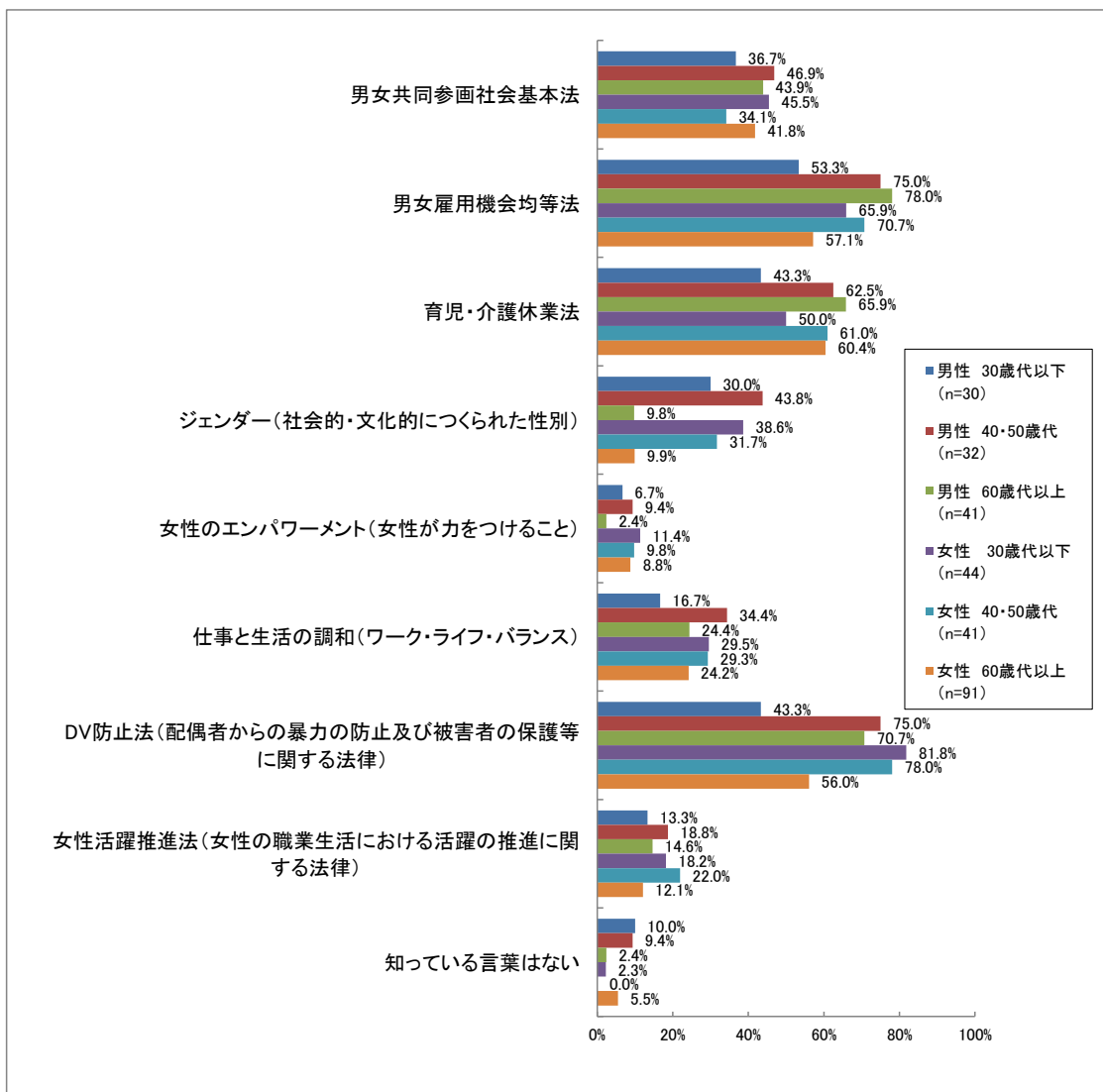
問19. 男女共同参画に関する言葉には下記のようなものがあります。この中で、あなたが見たり、聞いたりしたことがある言葉を教えてください。



・男女別



・男女・年齢別



8. DV 防止・人権への配慮について

(1)DV についての認識状況(問20)(P98)

ア. 大声で怒鳴る(P98)

「暴力にあたるとは思わない」の割合が 14.3%となっている。

「どんな場合も暴力にあたると思う」の割合は、男性(28.3%)が女性(16.4%)を上回っている。

イ. 「誰のおかげで生活できるんだ」「甲斐性なし」などと言う(P99)

男女とも半数以上が「どんな場合も暴力にあたると思う」と回答している。

ウ. 交友関係や電話・メールを細かく監視する(P100)

男女とも 4 割が「どんな場合も暴力にあたると思う」と回答している。

エ. 生活費を渡さない(P101)

「どんな場合も暴力にあたると思う」が 65.3%となっており、男女とも同様の傾向となっている。

オ. 何でも勝手に決め、命令する(P102)

「どんな場合も暴力にあたると思う」が半数を超えている。

カ. 何を言っても無視し続ける(P103)

「どんな場合も暴力にあたると思う」が半数を超えている。

キ. 見たくないのにポルノビデオやポルノ雑誌を見せる(P104)

「どんな場合も暴力にあたると思う」の割合が 6 割を超えている。

ク. いやがっているのに性的行為を強要する(P105)

「暴力の場合と、そうでない場合がある」(13.7%)と「暴力にあたらぬ」(4.1%)をあわせると 17.8%となる。

ケ. 医師の治療が必要とまらない程度の暴行をする(P106)

男性は「暴力の場合と、そうでない場合がある」(9.2%)と「暴力にあたらぬ」(2.2%)をあわせると 11.4%になる。

(2)DV の経験の有無(問21)(P107)

・「ない」が 78.0%で県の 56.3%を上回っている。

・男女別では、女性の 22.0%が「ある」と回答している。女性はいずれの年代も「ある」が 2 割程度となっている。

(3)DV の内容(問22)(P108)

・第 1 位は「大声で怒鳴られた」(57.1%)となっている。

・女性は「医師の治療が必要とまらない程度の暴力を受けた」が第 2 位で 43.6%となっている。

(4) 相談の有無(問23) (P111)

- ・「どこ(誰)にも相談しなかった」が 38.8%となっている。
- ・相談した人の相手は「友人・知人」(34.7%)が第1位となっている。

(5) 相談しなかった理由(問24) (P114)

- ・第1位は「恥ずかしくて誰にも言えなかったから」「自分さえ我慢すれば、このままなんとかやっていけると思ったから」「他人を巻き込みたくなかったから」(ともに 42.1%)となっている。

(6) 配偶者等への暴力の経験～加害者の立場～(問25) (P116)

- ・男性の 15.1%が「ある」と回答している。

↓

暴力の内容(問26) (P117)

- 第1位は「大声で怒鳴った」(70.0%)となっている。

(7) メディアにおける性・暴力表現(問27) (P119)

- ・「そのような表現を望まない人や子どもの目に触れないように配慮が足りない」の割合が高く、41.4%となっている。

(8) 女性が生涯にわたり健康であるために大事なこと(問28) (P121)

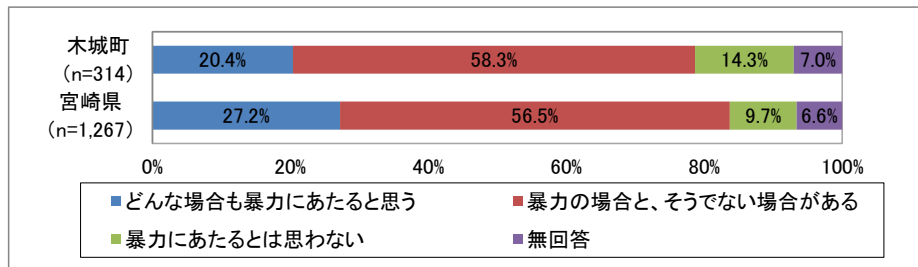
- ・第1位は「女性の医師が診察を行う「女性専用外来」を充実させる」で、44.9%となっている。

(9) 性別により権利を侵害する言葉の認知度(問29) (P123)

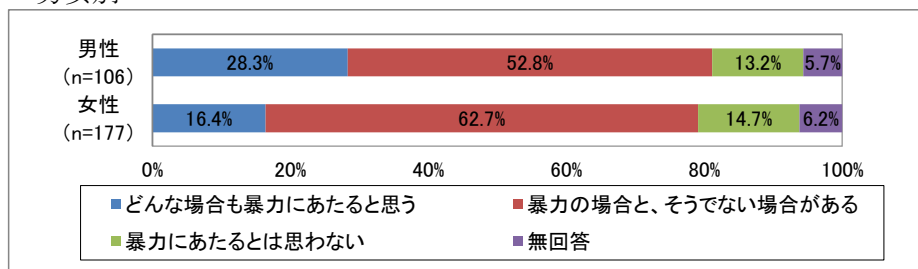
- ・全体的に認知度は高いものの、「マタニティ・ハラスメント(マタハラ)」は 74.8%であり、他の言葉よりも割合が低い。

問20. あなたは、あなたの夫や妻、または恋人が、次のようなことをした場合、それを暴力だと思えますか。

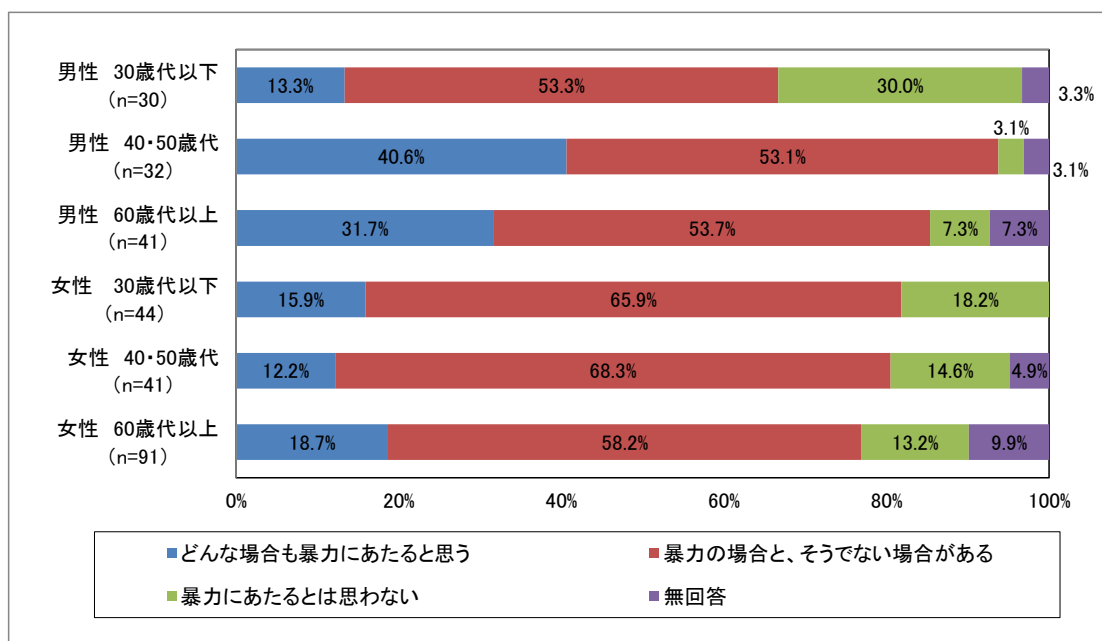
ア 大声で怒鳴る



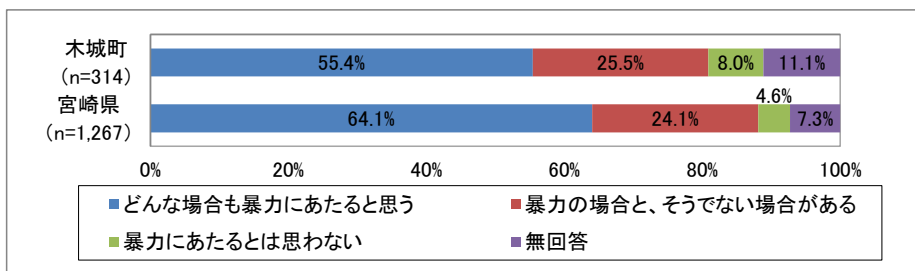
・男女別



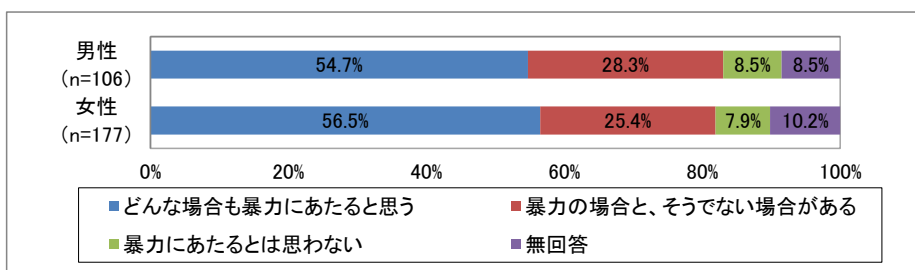
・男女・年齢別



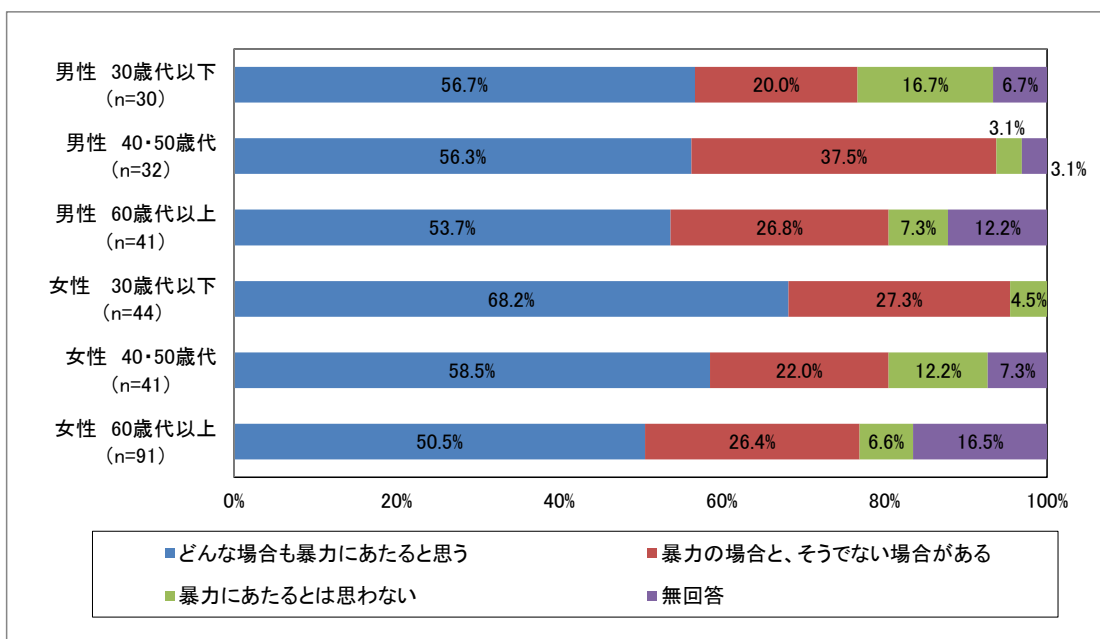
イ 「誰のおかげで生活できるんだ」「甲斐性なし」などと言う



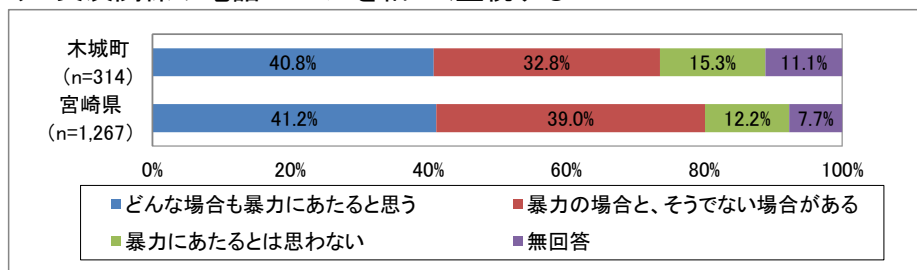
・男女別



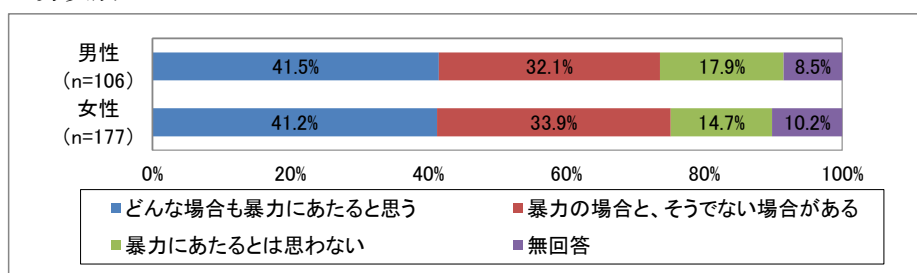
・男女・年齢別



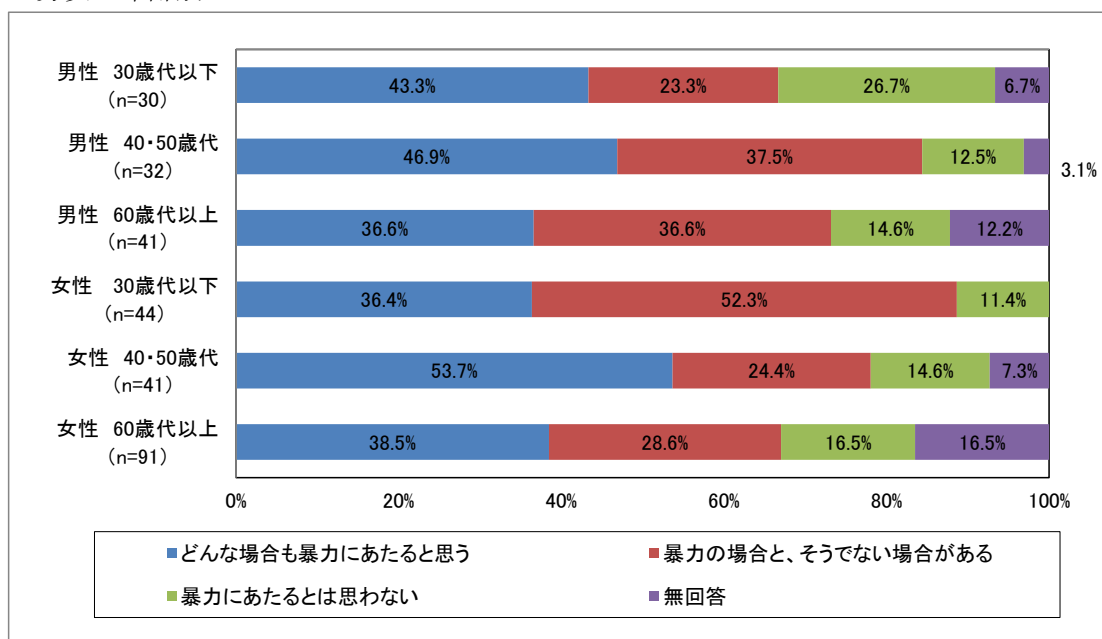
ウ 交友関係や電話・メールを細かく監視する



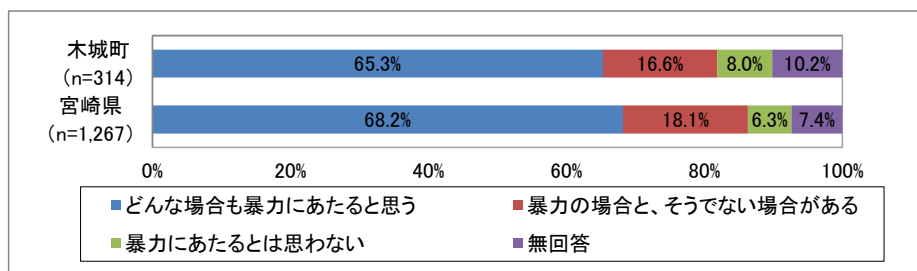
・男女別



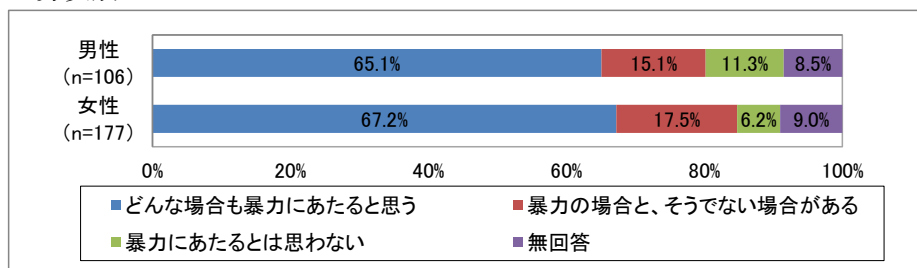
・男女・年齢別



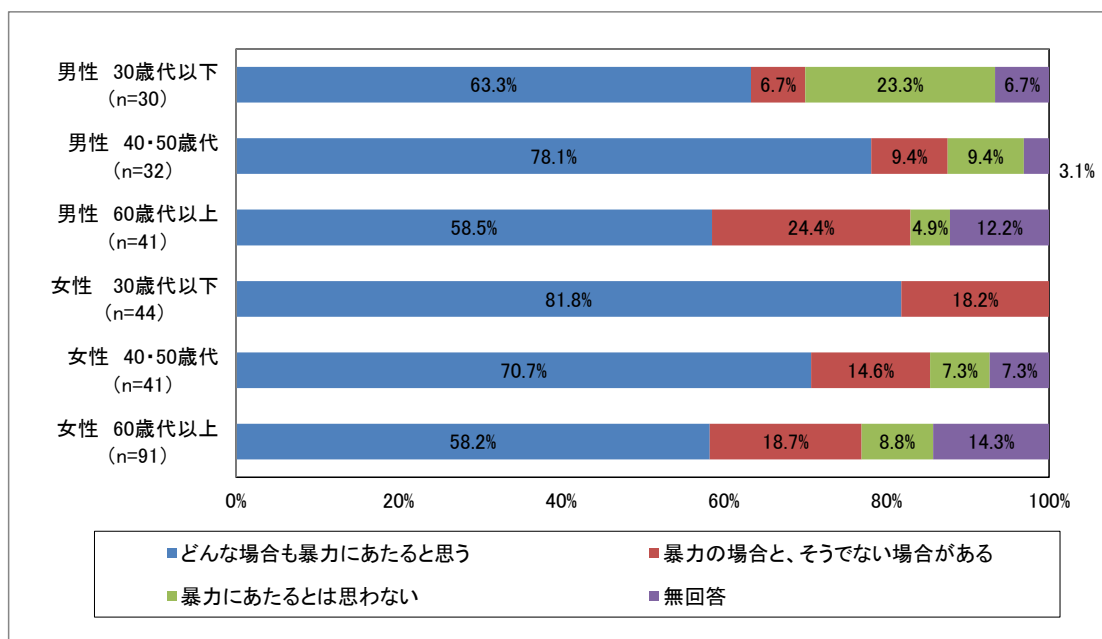
エ 生活費を渡さない



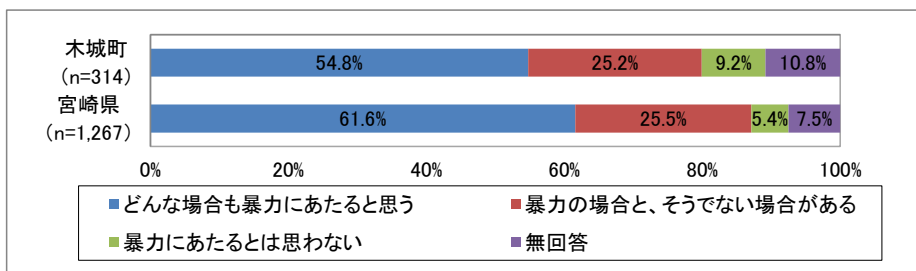
・男女別



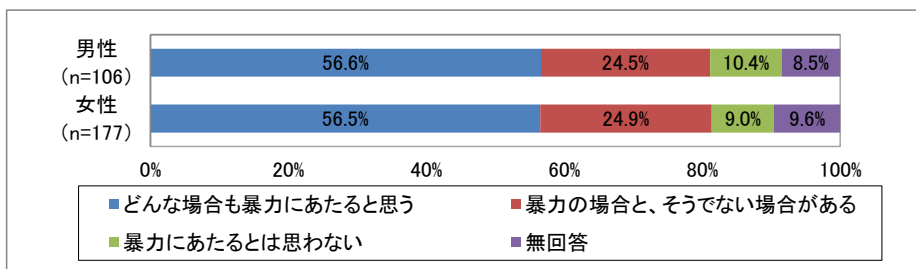
・男女・年齢別



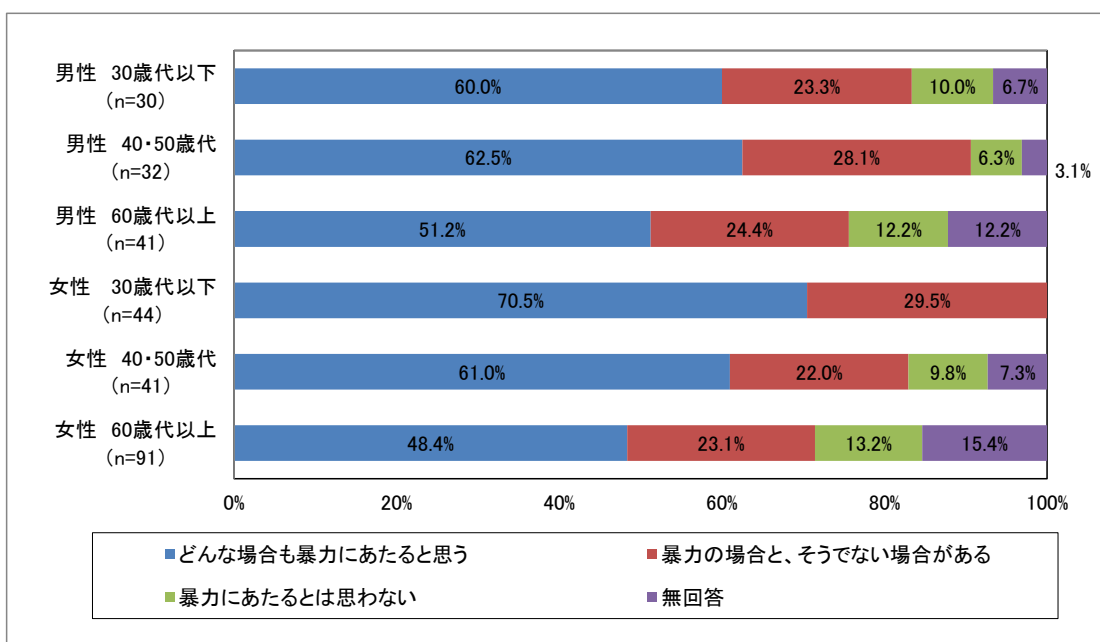
オ 何でも勝手に決め、命令する



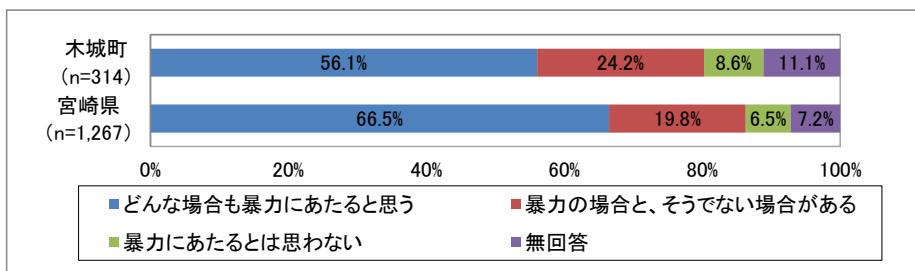
・男女別



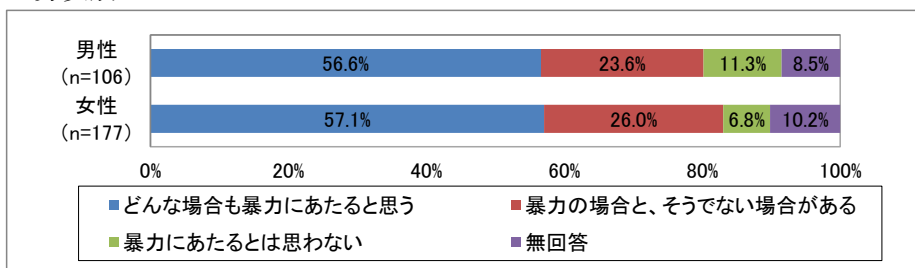
・男女・年齢別



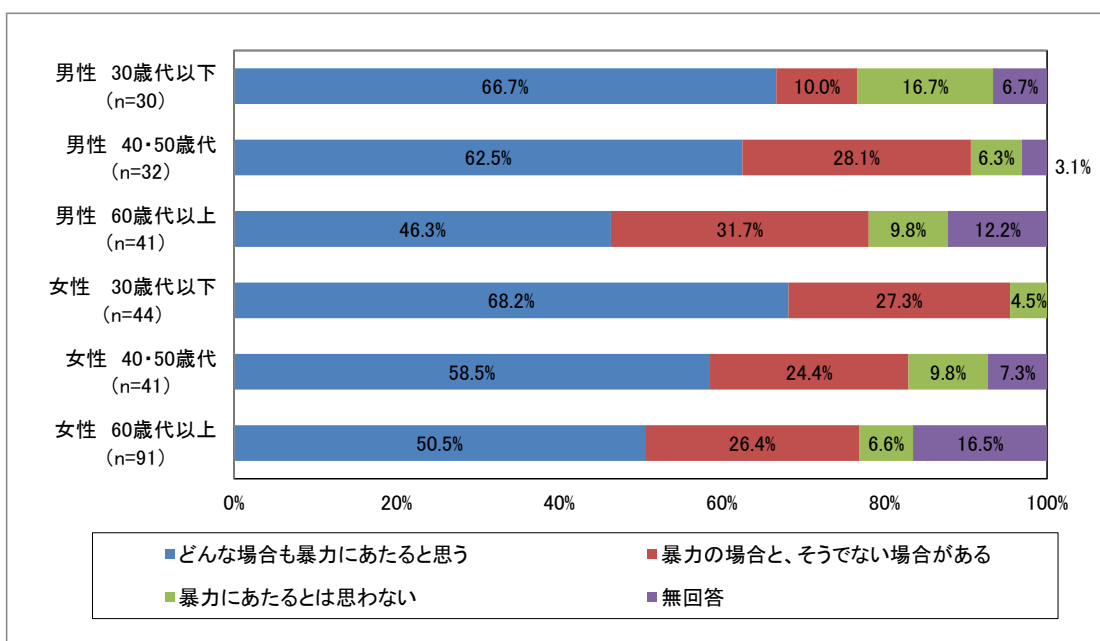
カ 何を言っても無視し続ける



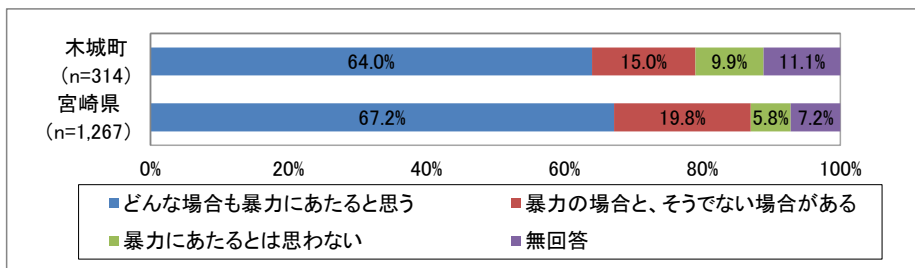
・男女別



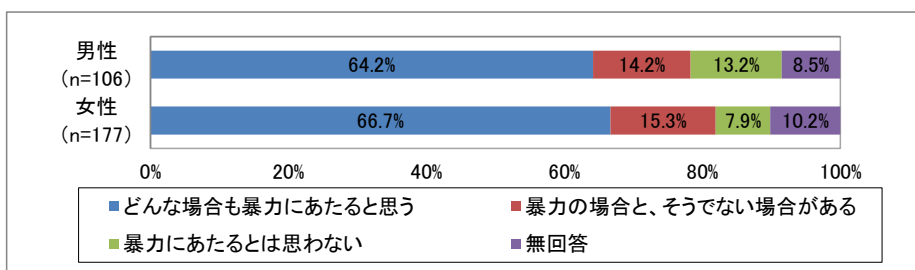
・男女・年齢別



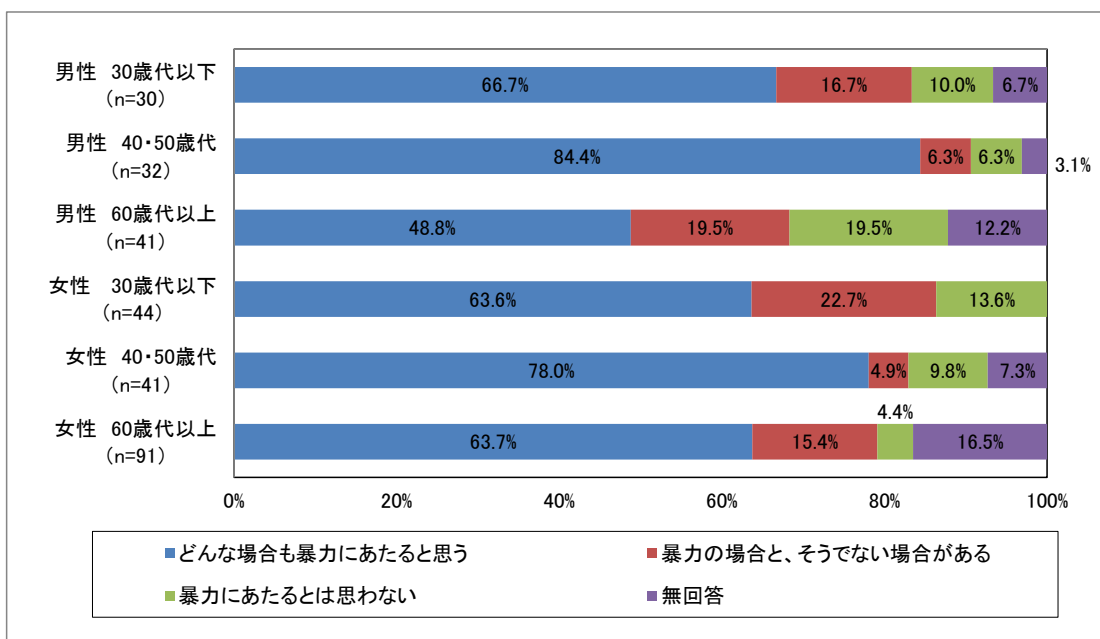
キ 見たくないのにポルノビデオやポルノ雑誌を見せる



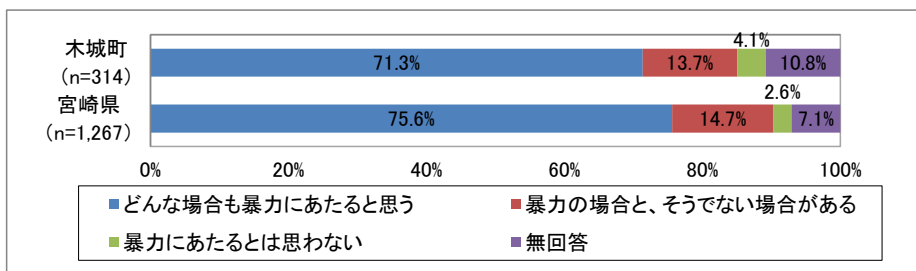
・男女別



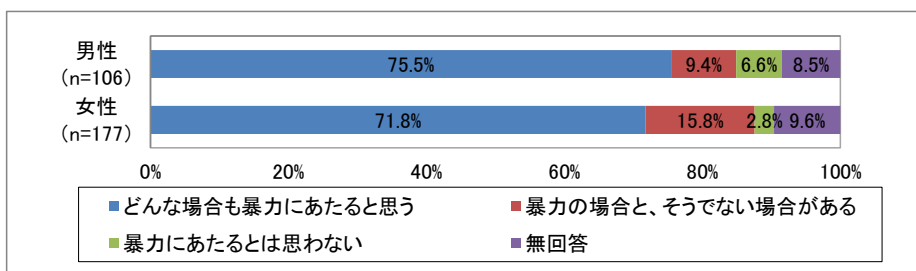
・男女・年齢別



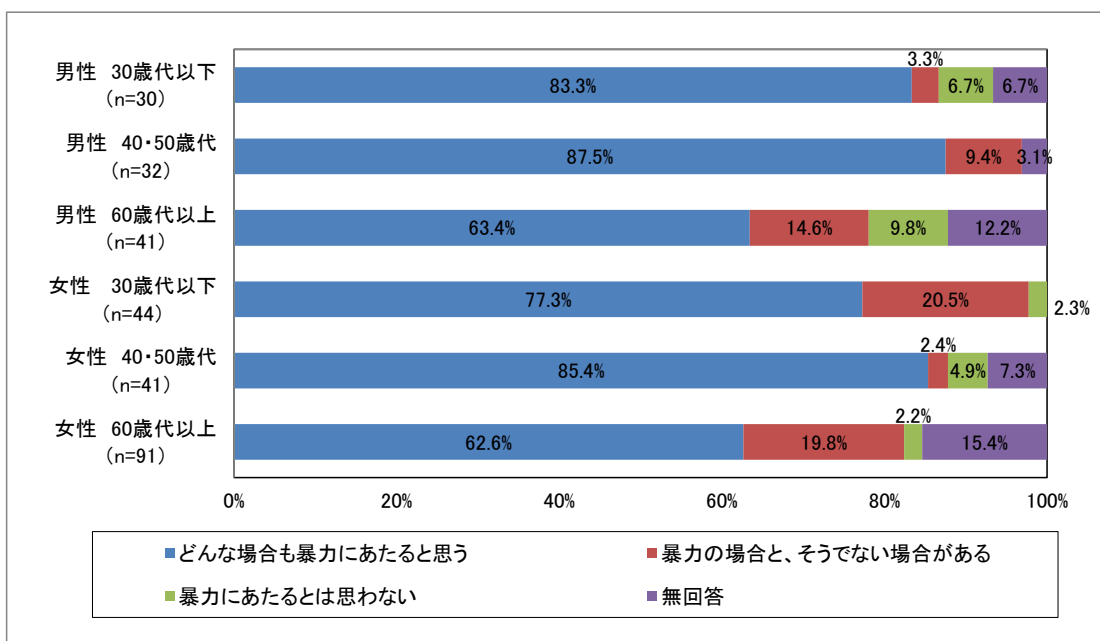
ク いやがっているのに性的行為を強要する



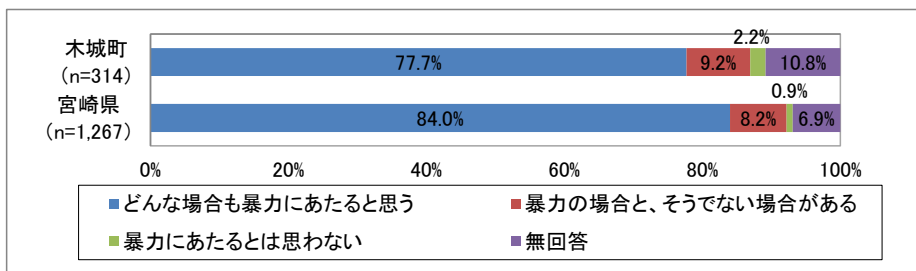
・男女別



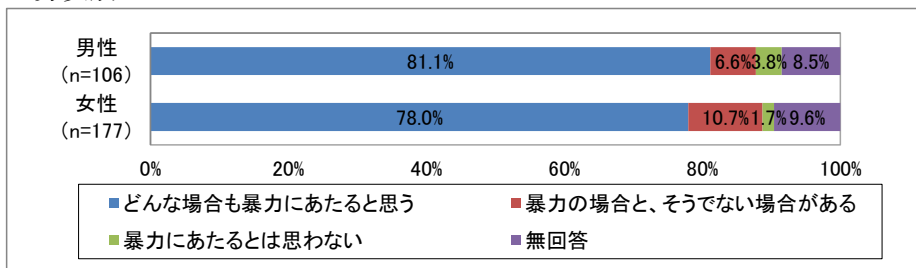
・男女・年齢別



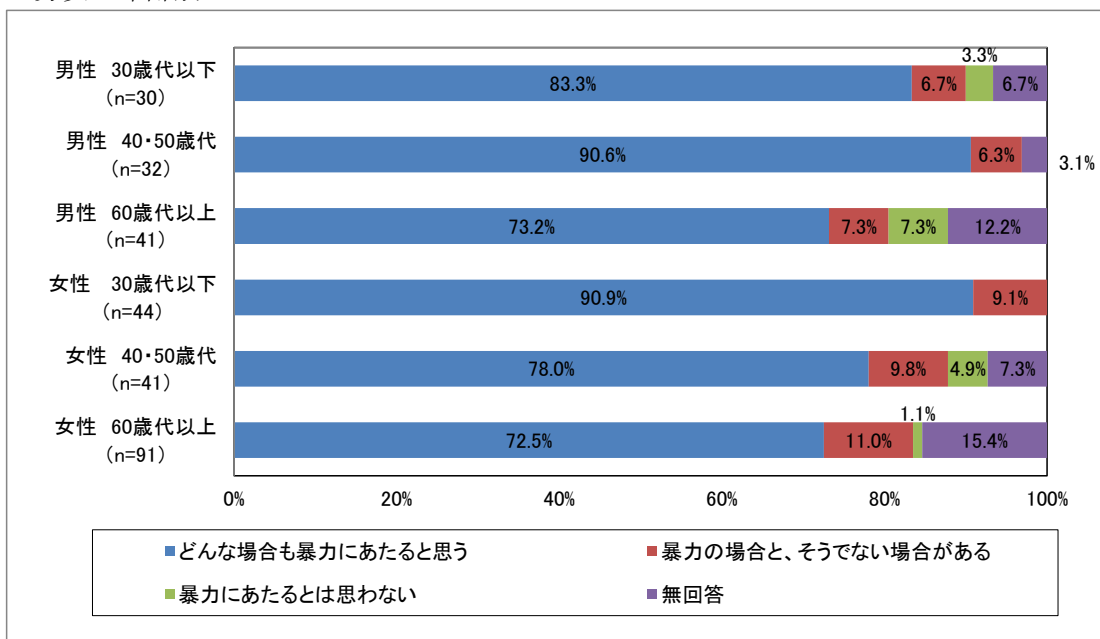
ケ 医師の治療が必要とならない程度の暴力をする



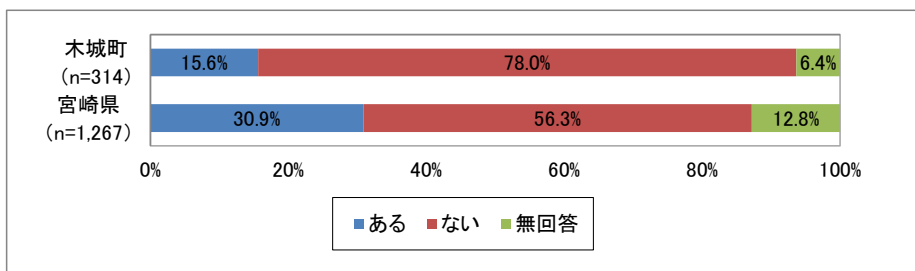
・男女別



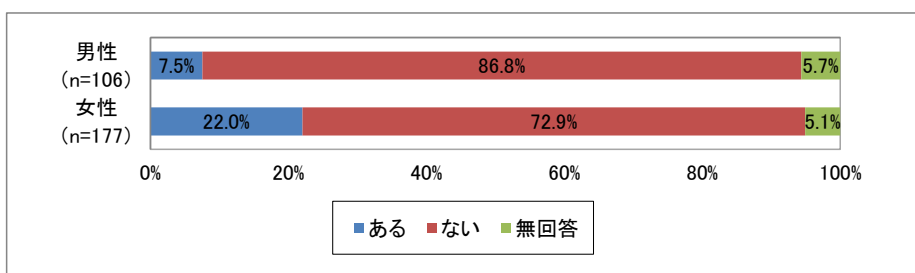
・男女・年齢別



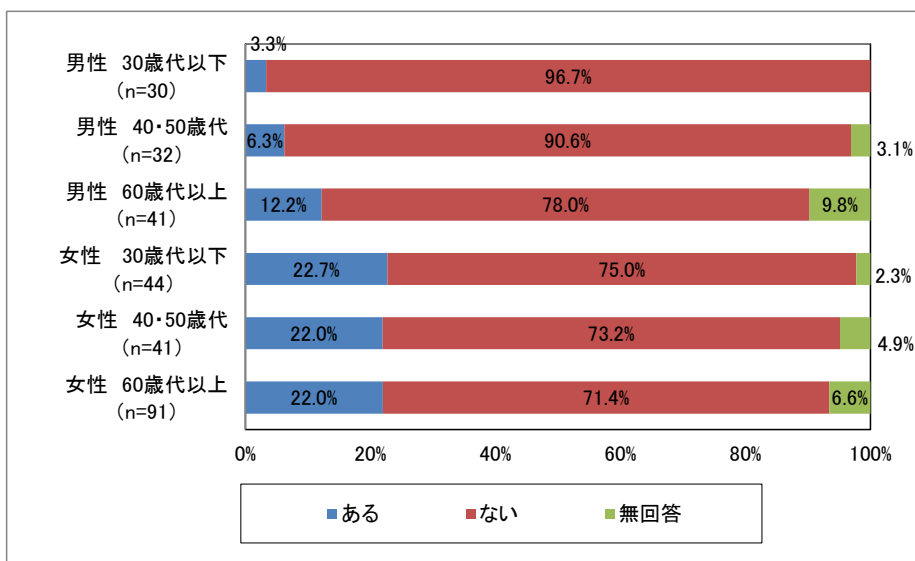
問21. あなたは、あなたの夫や妻、または恋人から暴力を受けた経験はありますか。



・男女別

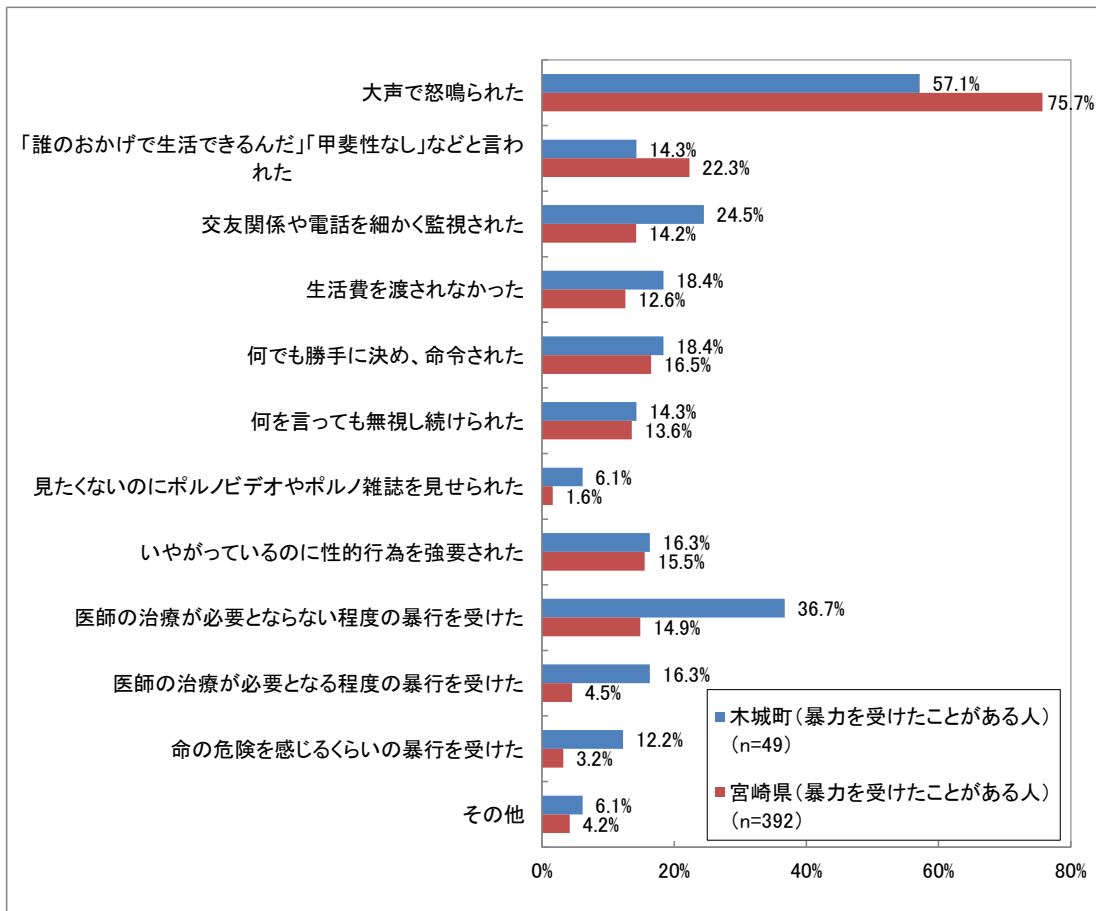


・男女・年齢別

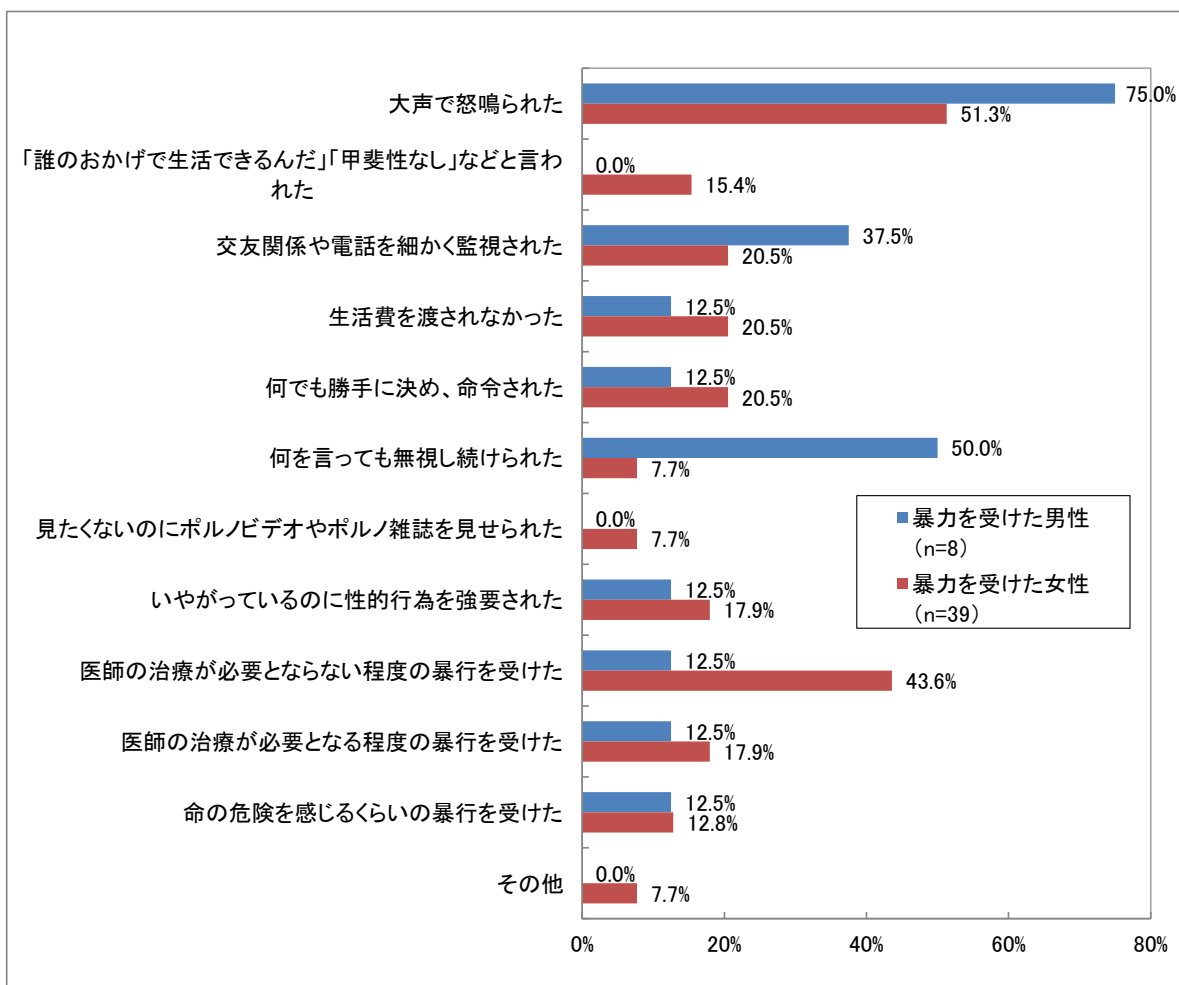


<暴力を受けたことがある人におたずねします>

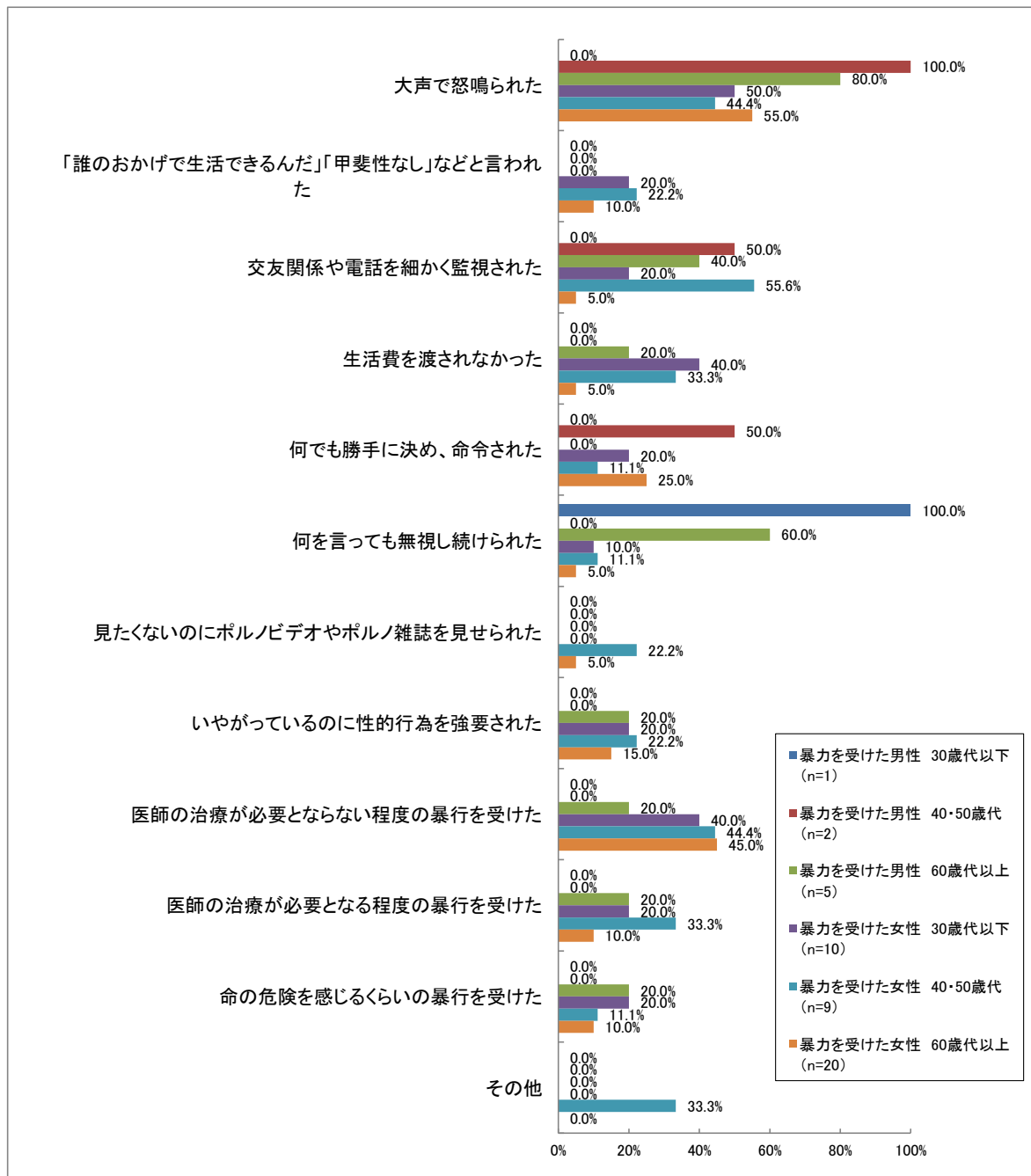
問22. 受けた暴力の内容を教えてください。



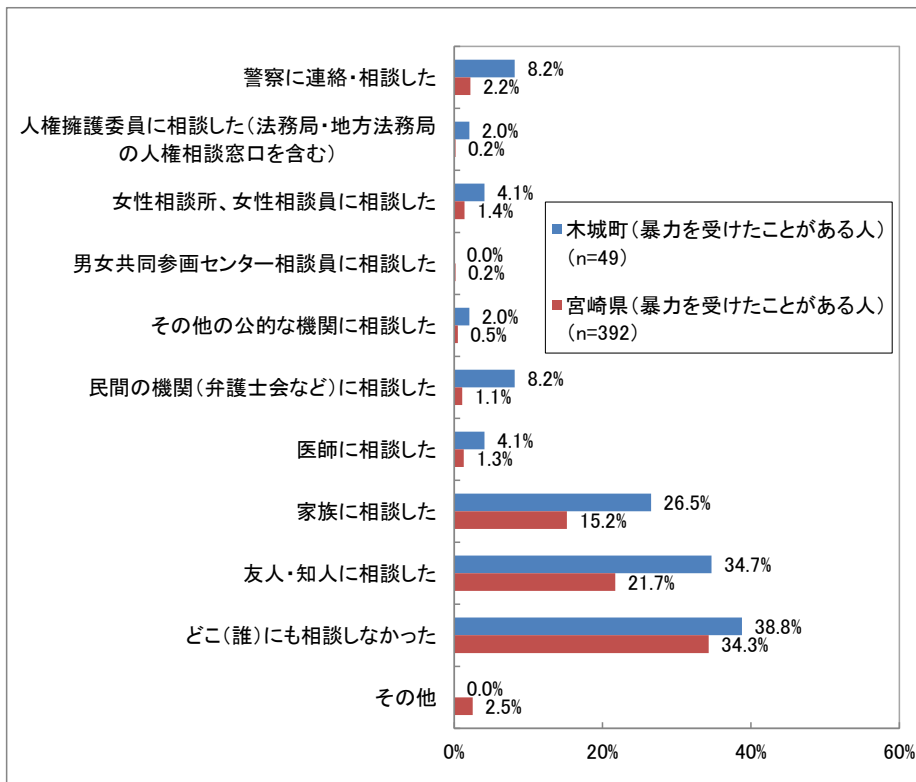
・男女別



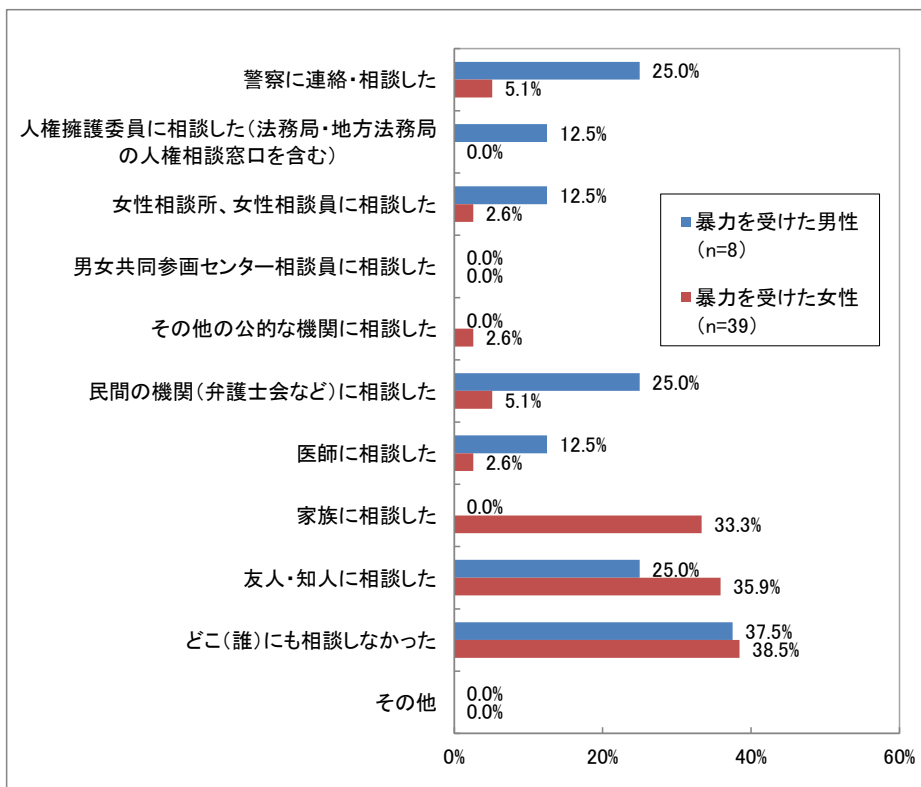
・男女・年齢別



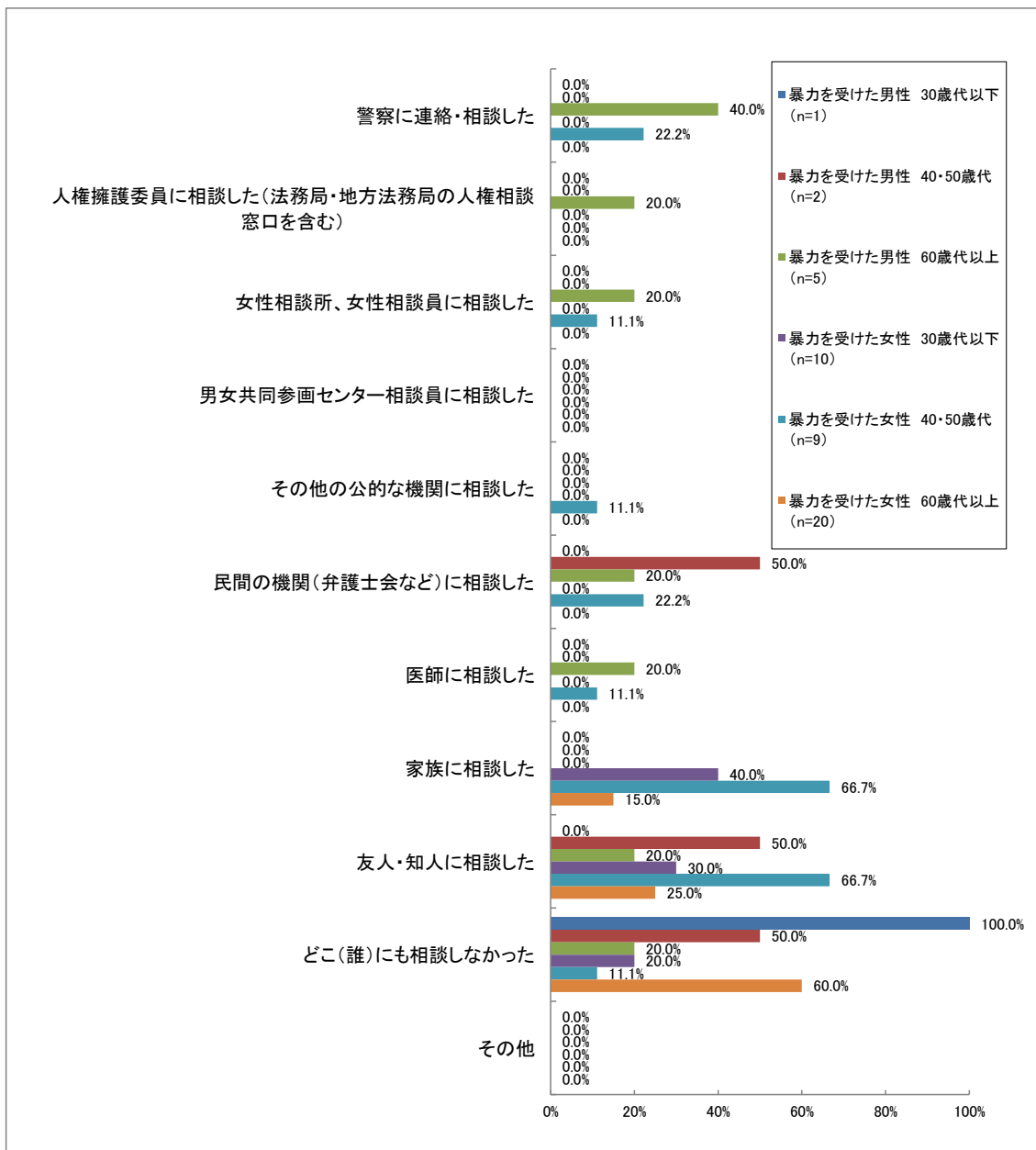
問23. あなたは、夫や妻、または恋人から暴力を受けた際、誰かに打ちあけたり、相談しましたか。



・男女別

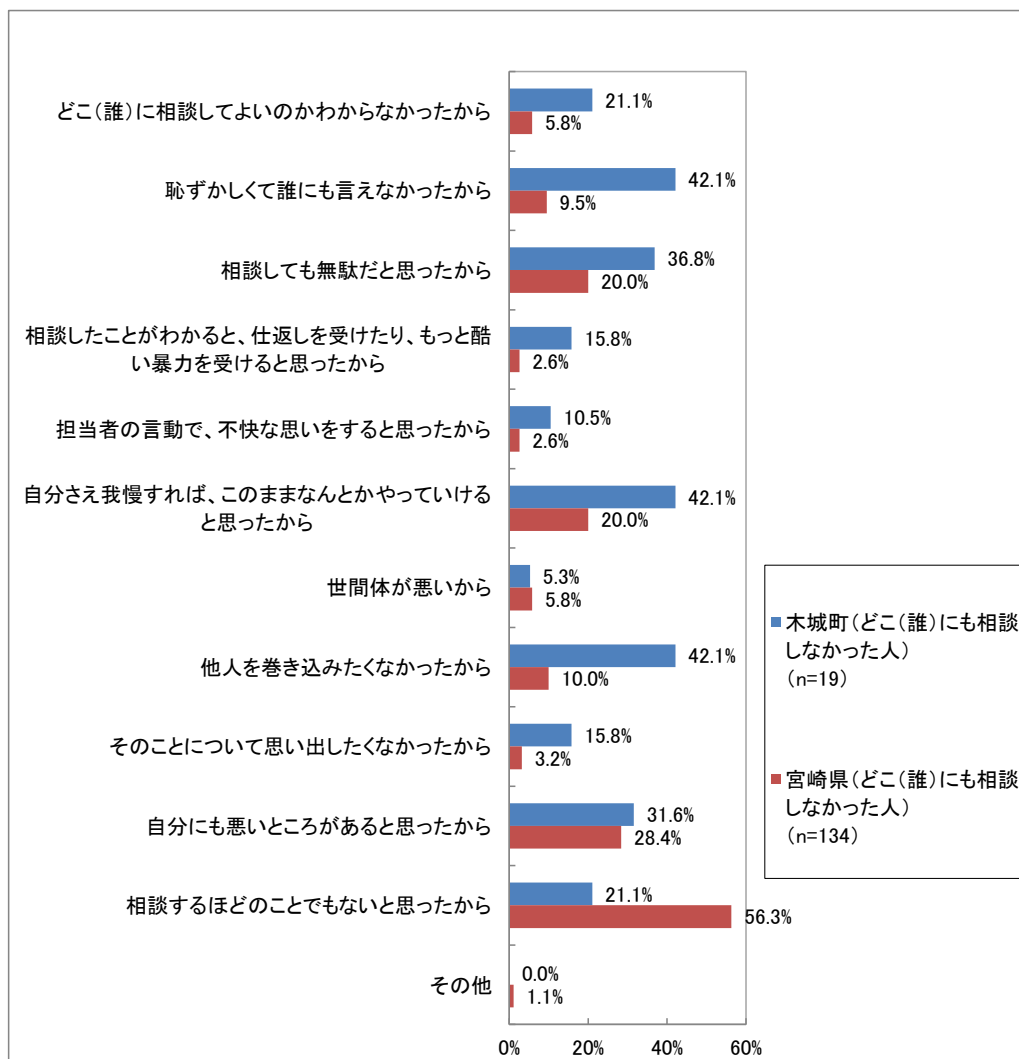


・男女・年齢別

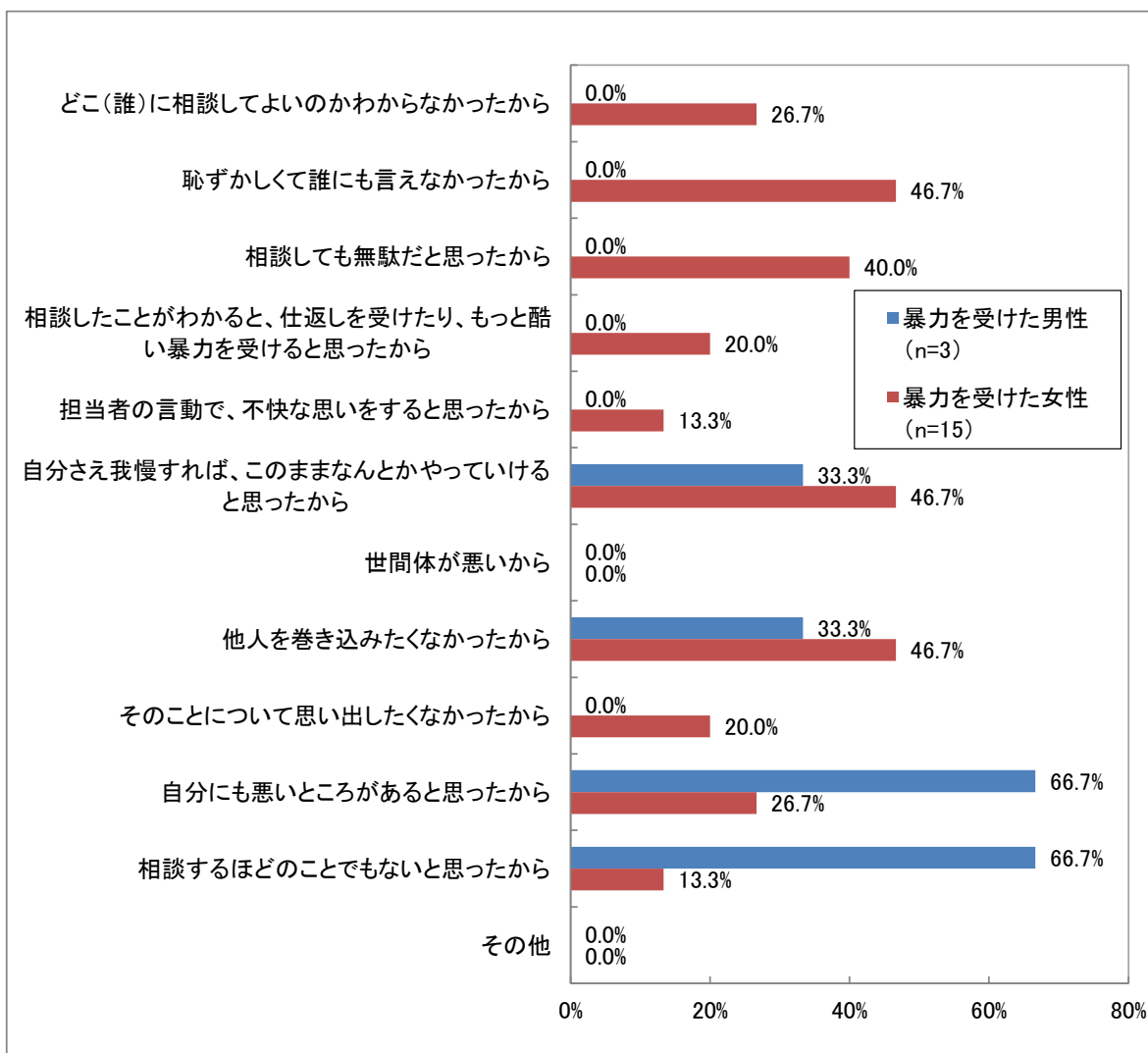


<問23で「10. どこ(誰)にも相談しなかった」と回答した人にお尋ねします。>

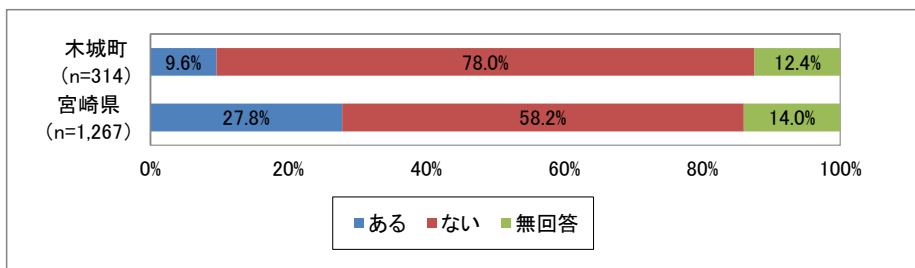
問24. どこ(誰)にも相談しなかった理由を教えてください。



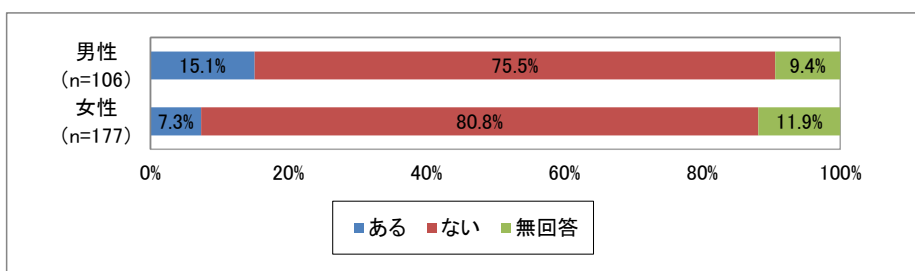
・男女別



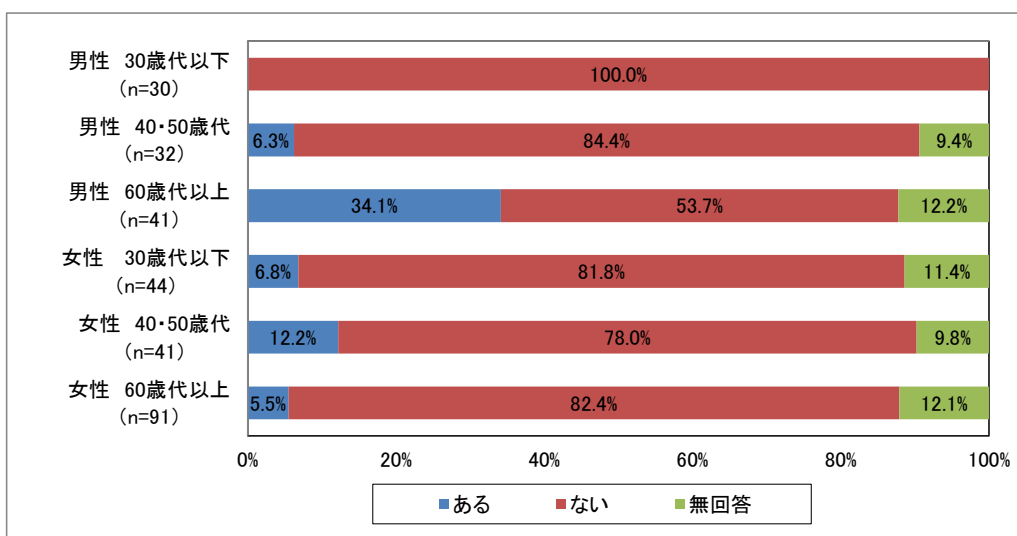
問25. あなたは、あなたの夫や妻、または恋人に暴力をふるったことがありますか。



・男女別

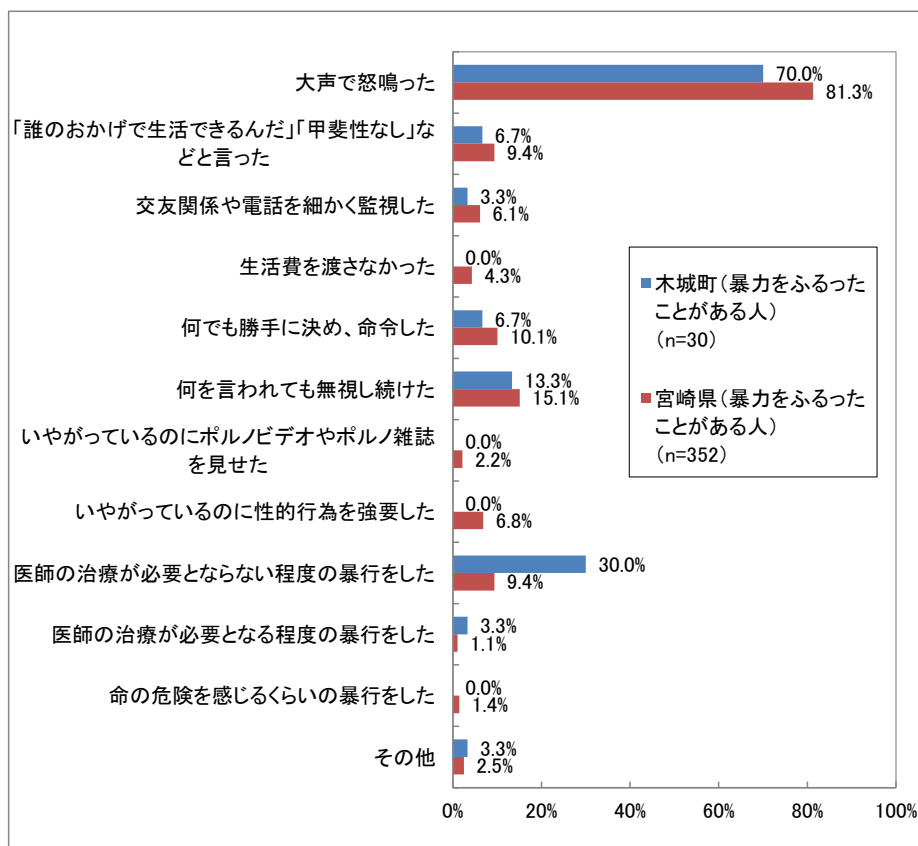


・男女・年齢別

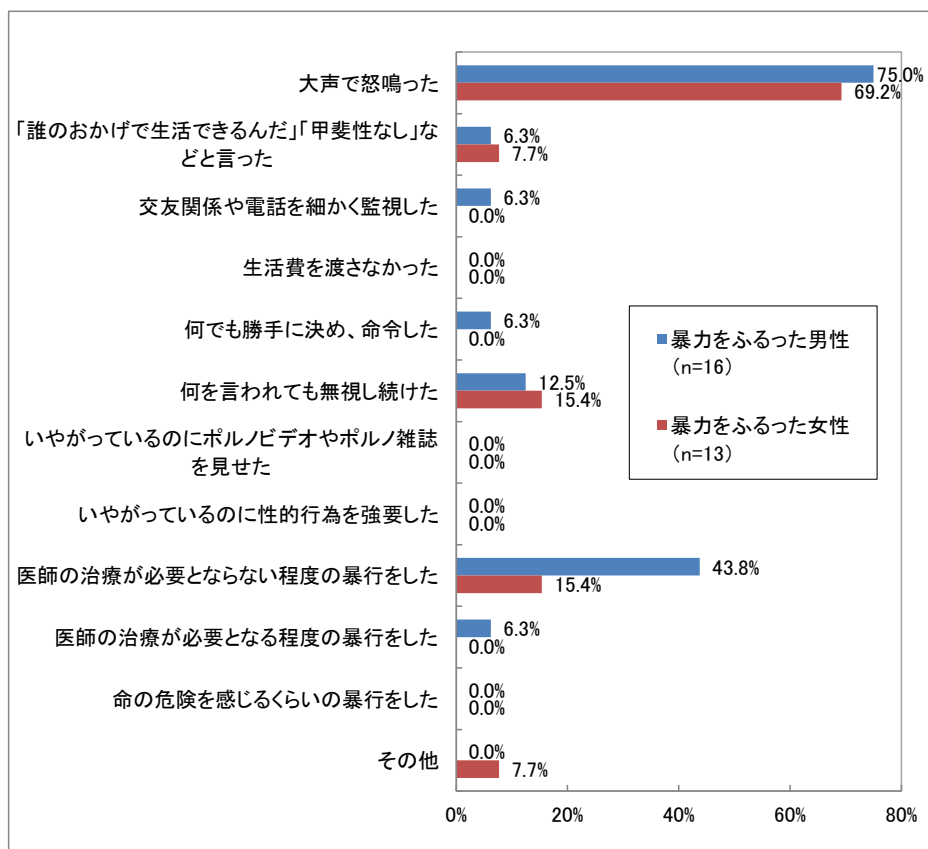


＜暴力をふるったことがある人におたずねします(問25で「1. ある」と回答した人)＞

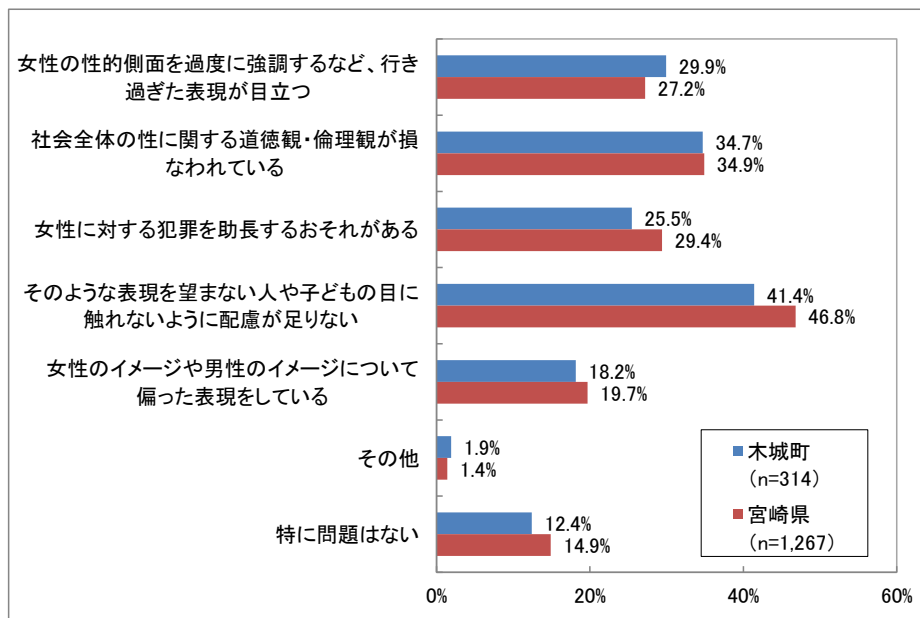
問26. ふるった暴力の内容を教えてください。



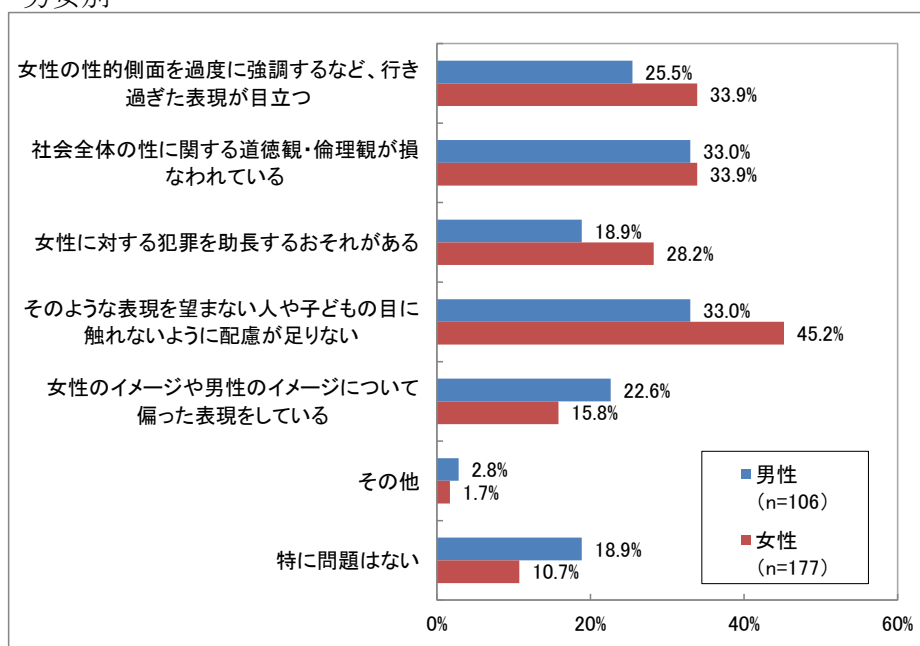
・男女別



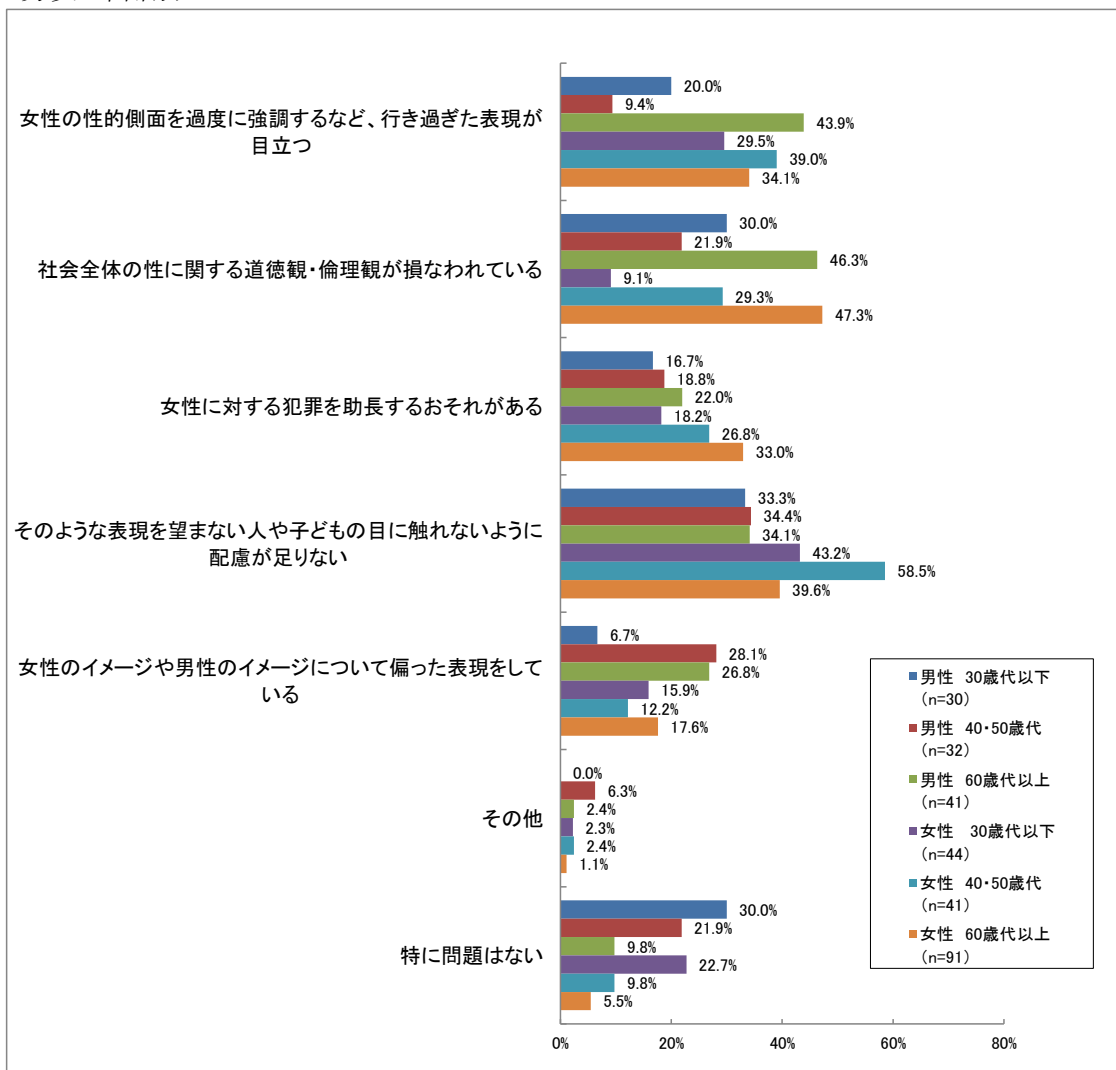
問27. あなたは、テレビ、新聞、雑誌等のメディアにおける性・暴力表現について、どのように考えていますか。



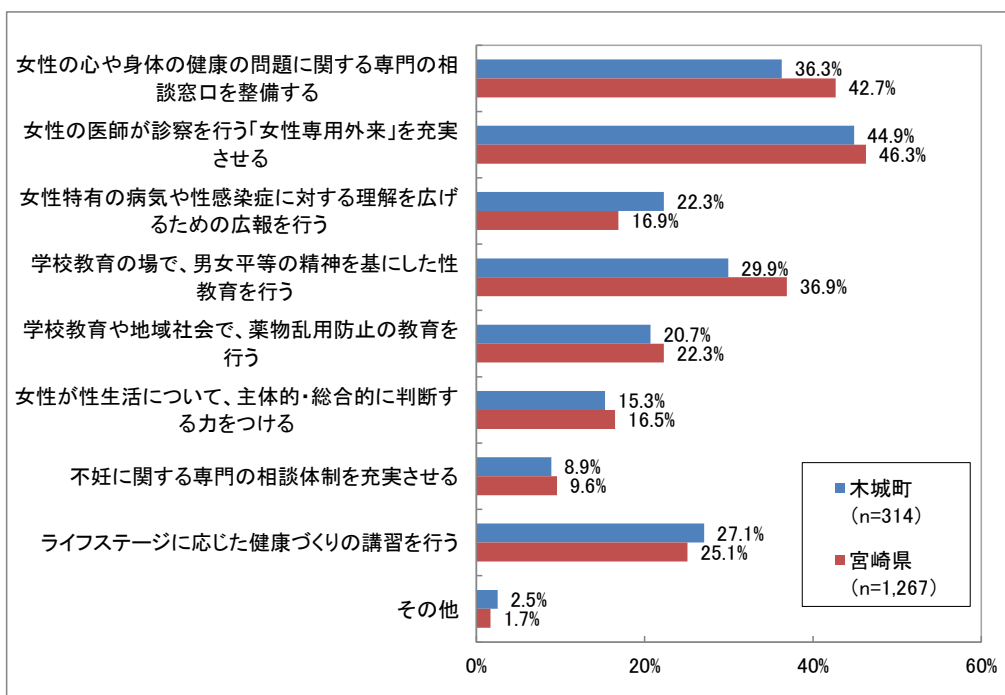
・男女別



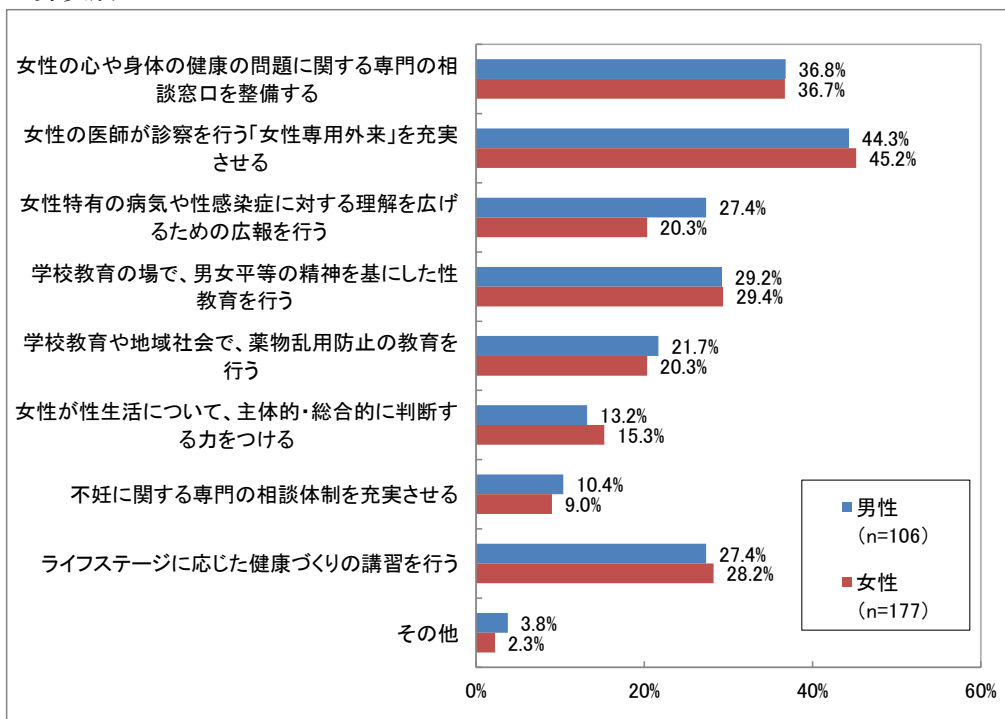
・男女・年齢別



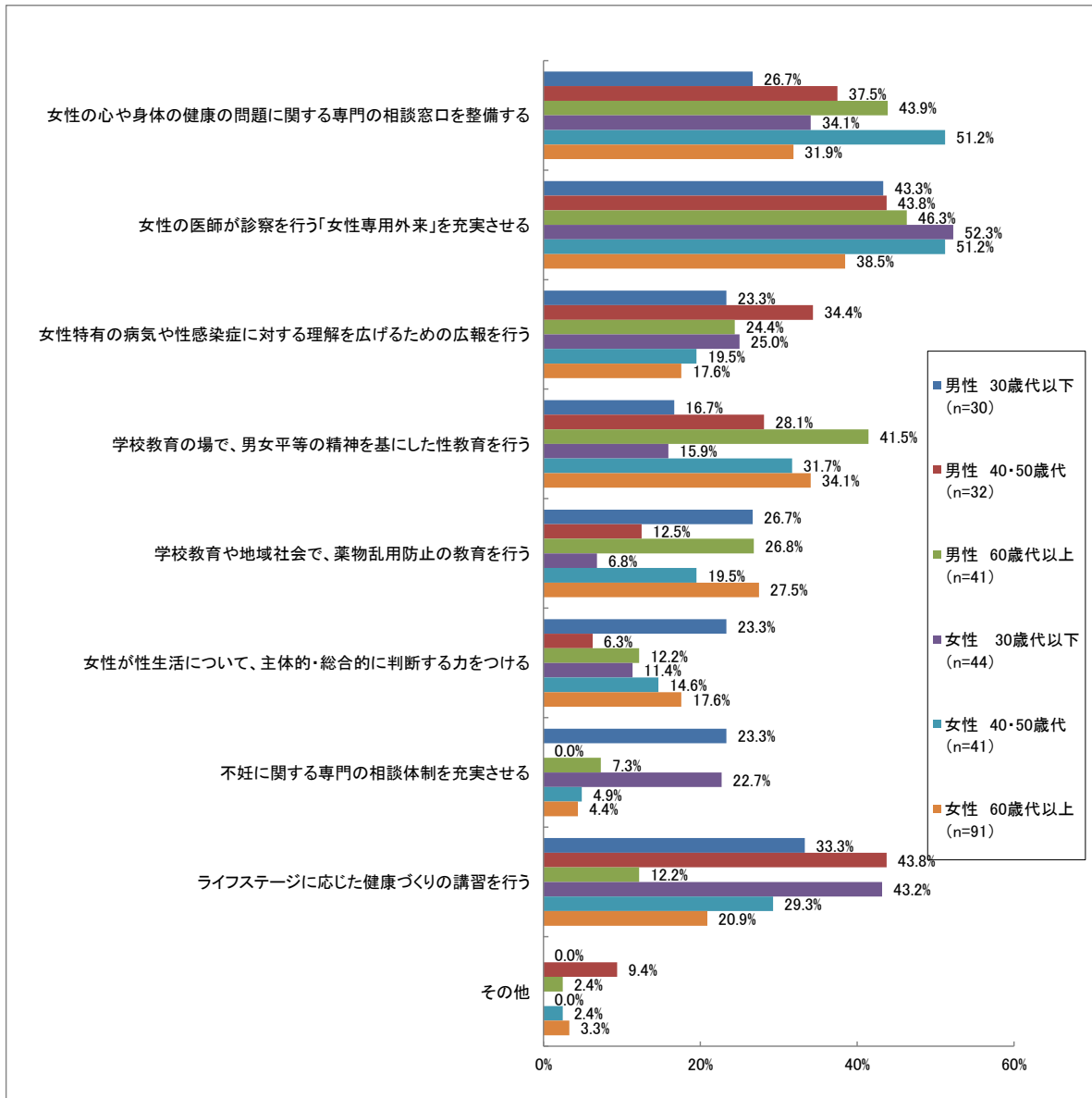
問28. あなたは、女性が生涯にわたり健康であるために、特にどのようなことが大事だと思いますか。



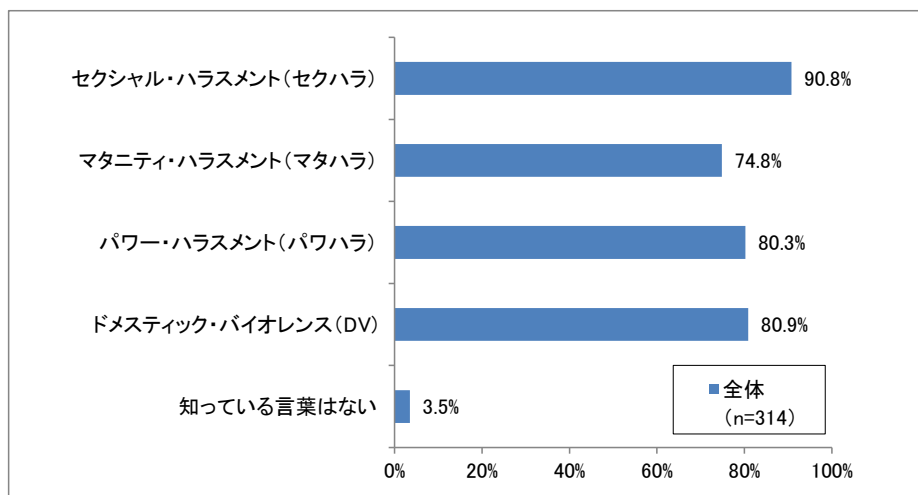
・男女別



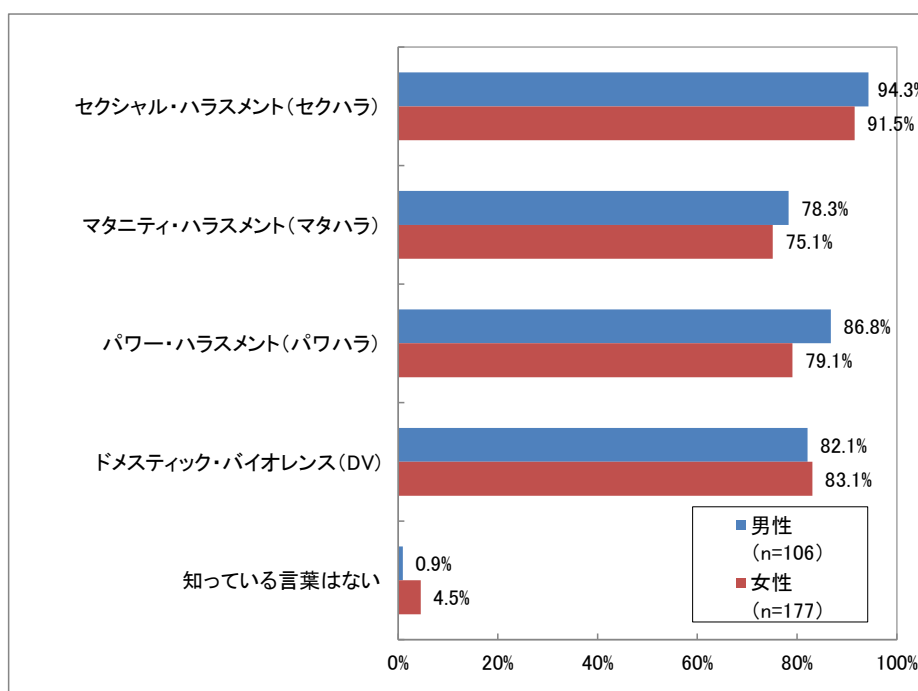
・男女・年齢別



問29. 性別により権利を侵害する言葉には、次のようなものがあります。この中で、あなたが
見たり、聞いたりしたことがある言葉を教えてください。



・ 男女別



・男女・年齢別

